

高齢者の健康づくり等に関する実態調査 結果報告書

令和8年3月

枚 方 市

目 次

I 調査の概要.....	1
II 調査結果.....	3
1. 家族構成とお住まいについて.....	3
2. 健康状態などについて.....	8
3. 仕事や生きがいについて.....	35
4. 地域とのかかわり等について.....	46
5. 認知症について.....	57
6. 今後の生活について.....	68
7. 保健・福祉サービスや介護に対するお考えについて.....	75
8. 看取り（みとり）について.....	84

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、高齢者の介護予防や健康づくり、地域への関わりや社会参加の状況等について聴取することで、各圏域にどのような課題やニーズがあるかを把握・分析し、今後の介護保険制度及び高齢者保健福祉施策の適正な運営に活用することを目的としています。

2 調査対象

令和7年10月31日時点で、介護保険の第1号被保険者（65歳以上）であり、要支援・要介護認定を受けていない市内在住者 1,950 名
※本市の日常生活圏域 13 圏域ごとに 150 名ずつ無作為抽出・無記名調査

3 調査期間

令和8年1月～令和8年2月

4 調査方法

郵送による配布、郵送・WEB 併用回収

5 回収状況

配布数	有効回収数	有効回収率
1,950件	1,154件	59.2%

6 回答者の主な属性

性別	女性 52.3%、男性47.7%	
年齢	65～69歳 23.9%、70～74歳 24.4%、75～79歳 27.2% 80～84歳 17.3%、85～89歳 5.4%、90歳以上 1.7%	
日常生活圏域	第1圏域（樟葉北、樟葉、樟葉南小学校区）	7.5%
	第2圏域（樟葉西、牧野小学校区）	8.1%
	第3圏域（船橋、招提、平野、殿山第二小学校区）	7.7%
	第4圏域（小倉、西牧野、殿山第一、磯島小学校区）	7.3%
	第5圏域（交北、山田、山田東、禁野小学校区）	7.2%
	第6圏域（桜丘、桜丘北、中宮、明倫小学校区）	7.4%
	第7圏域（蹠だ、蹠だ西、蹠だ東、伊加賀小学校区）	7.4%
	第8圏域（山之上、枚方、枚方第二小学校区）	7.8%
	第9圏域（香陽、香里、開成、五常小学校区）	8.9%
	第10圏域（春日、川越、東香里小学校区）	6.8%
	第11圏域（菅原、西長尾、長尾小学校区）	8.3%
	第12圏域（田口山、藤阪、菅原東小学校区）	8.4%
	第13圏域（津田、津田南、氷室小学校区）	7.3%

7 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

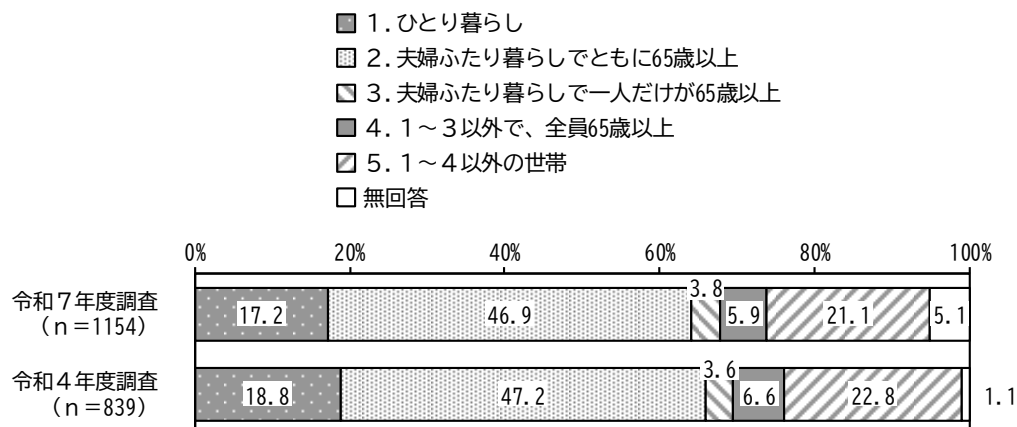
Ⅱ 調査結果

1. 家族構成とお住まいについて

問1 あなたの家族構成について、あてはまるものはどれですか。
(あてはまるもの1つに○)

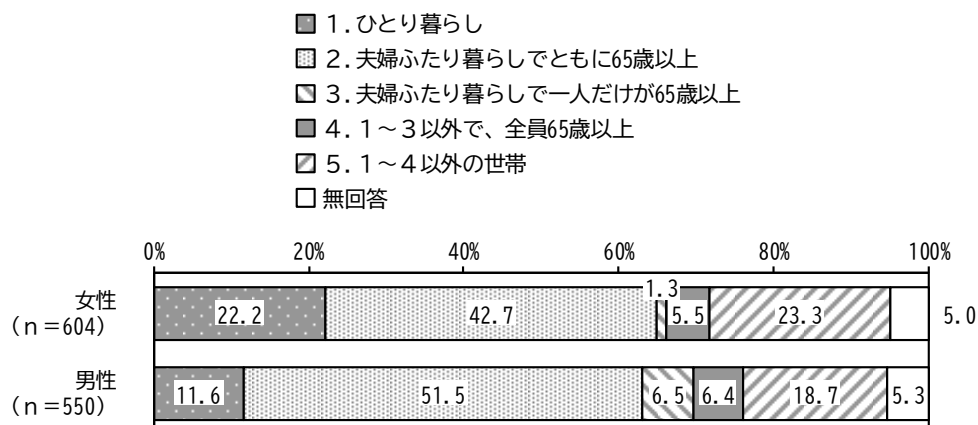
「夫婦ふたり暮らしでともに65歳以上」の割合が46.9%と最も高く、次いで「1～4以外の世帯」の割合が21.1%、「ひとり暮らし」の割合が17.2%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



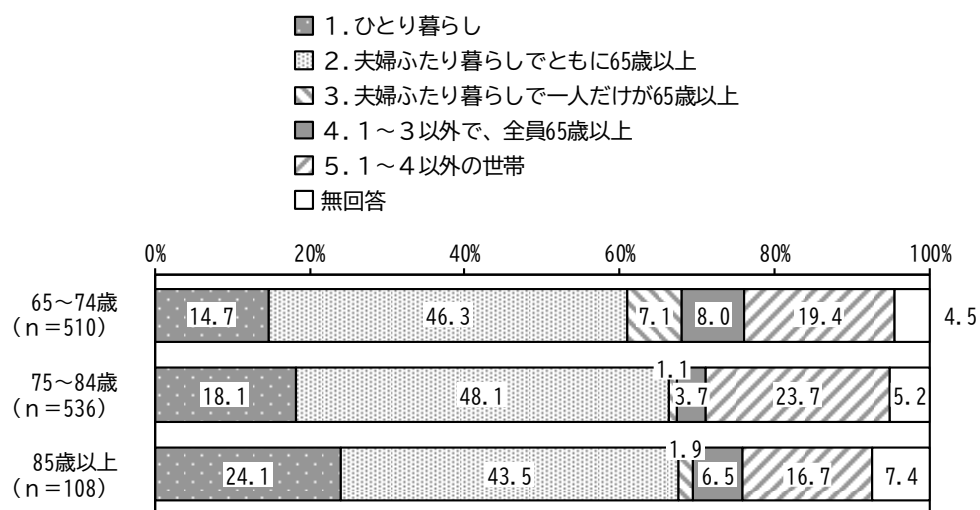
【性別】

性別にみると、女性で「ひとり暮らし」の割合が高く、男性で「夫婦ふたり暮らしでともに65歳以上」「夫婦ふたり暮らしで一人だけが65歳以上」の割合が高くなっています。



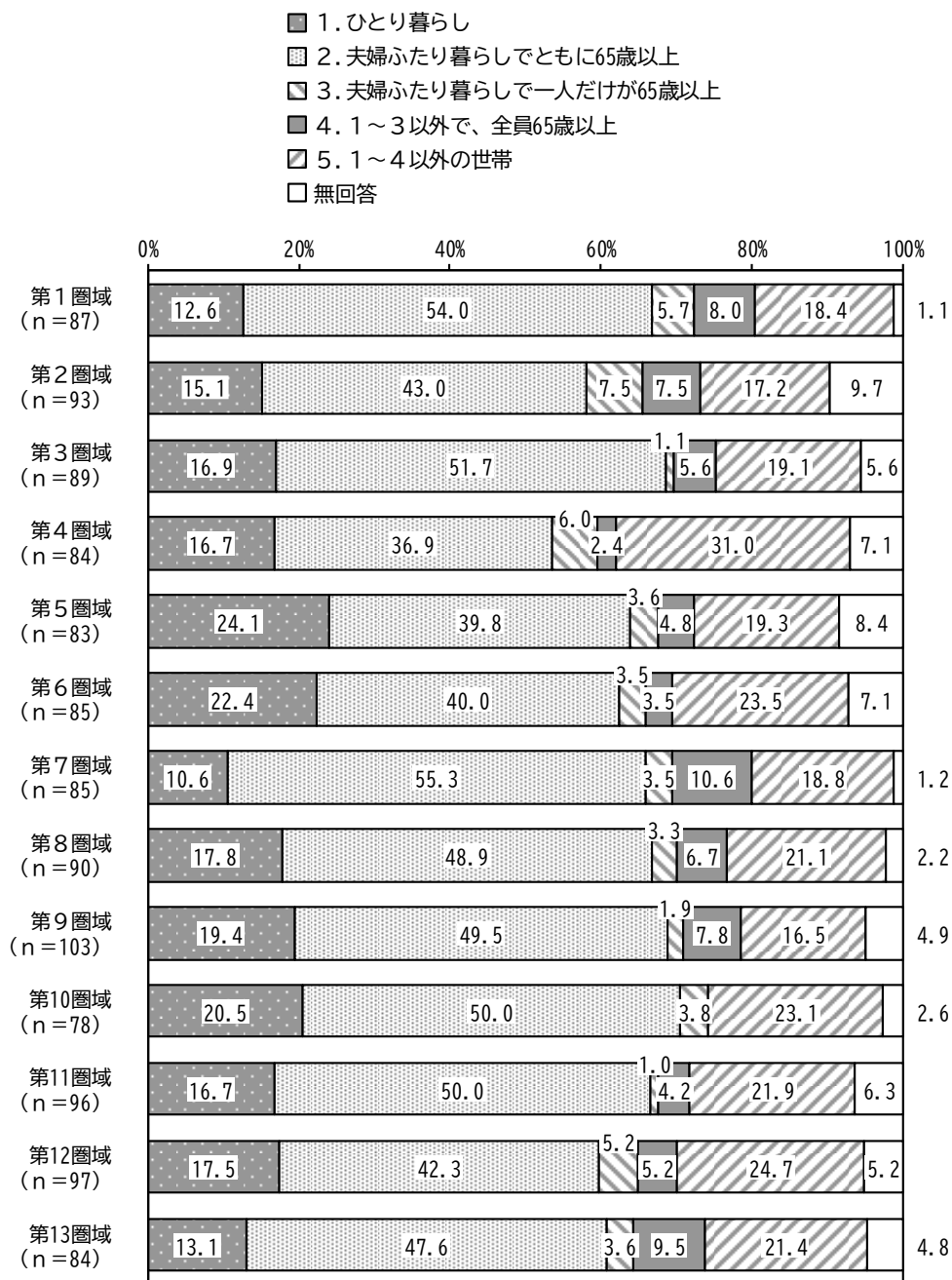
【年代別】

年代別にみると、年代が上がるほど「ひとり暮らし」の割合が高くなっています。



【圏域別】

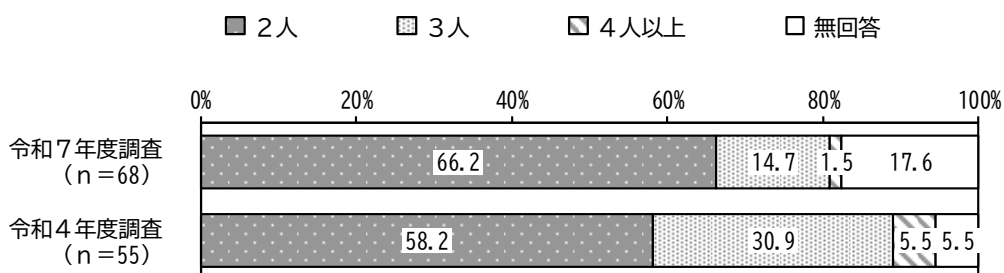
圏域別にみると、第5圏域、第6圏域で「ひとり暮らし」、第1圏域、第7圏域で「夫婦ふたり暮らしとともに65歳以上」、第4圏域で「1～4以外の世帯」の割合が高くなっています。



1～3以外で、全員 65 歳以上の人数（あなたを含めて）

「2人」の割合が 66.2%、「3人」の割合が 14.7%、「4人以上」の割合が 1.5%となっています。

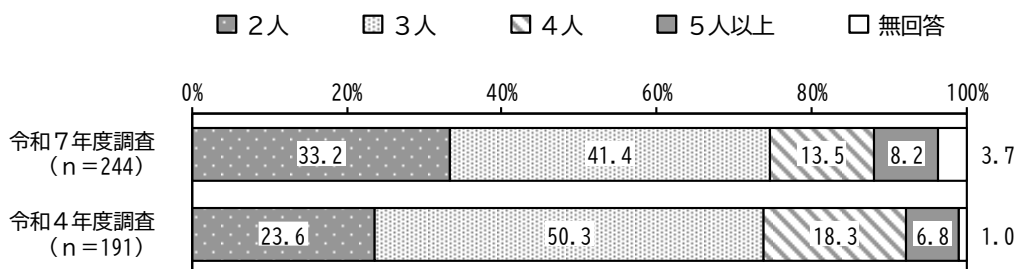
令和4年度調査と比較すると、「2人」の割合が増加しています。一方、「3人」の割合が減少しています。



1～4以外の世帯の人数（あなたを含めて）

「3人」の割合が 41.4%と最も高く、次いで「2人」の割合が 33.2%、「4人」の割合が 13.5%となっています。

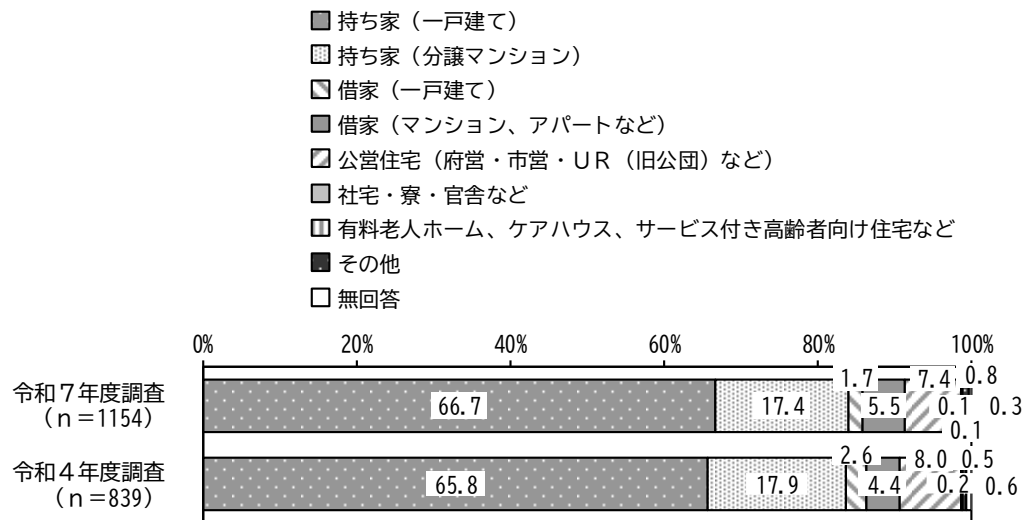
令和4年度調査と比較すると、「2人」の割合が増加しています。一方、「3人」の割合が減少しています。



問2 あなたのお住まいの状況について、あてはまるものはどれですか。
(あてはまるもの1つに○)

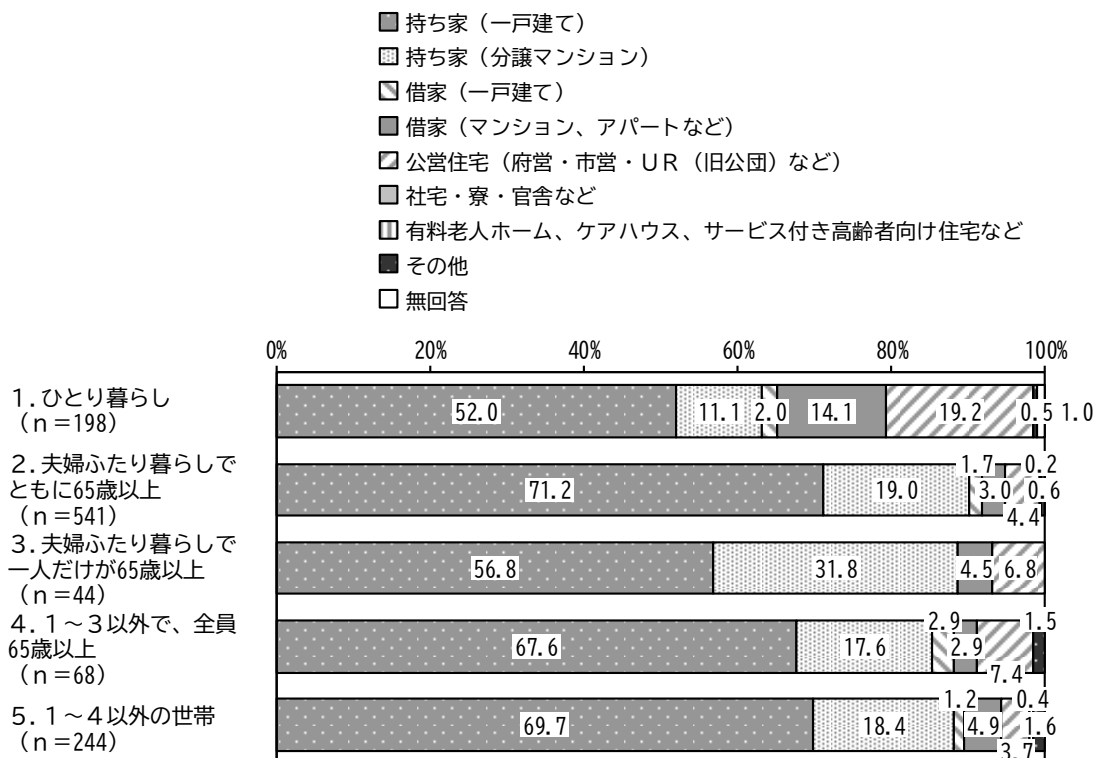
「持ち家（一戸建て）」の割合が 66.7%と最も高く、次いで「持ち家（分譲マンション）」の割合が 17.4%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【家族構成別】

家族構成別にみると、夫婦ふたり暮らしで一人だけが65歳以上で「持ち家（分譲マンション）」の割合が高く、ひとり暮らしで「公営住宅（府営・市営・UR（旧公団）など）」の割合が高く、ひとり暮らしで「持ち家（一戸建て）」の割合が低くなっています。

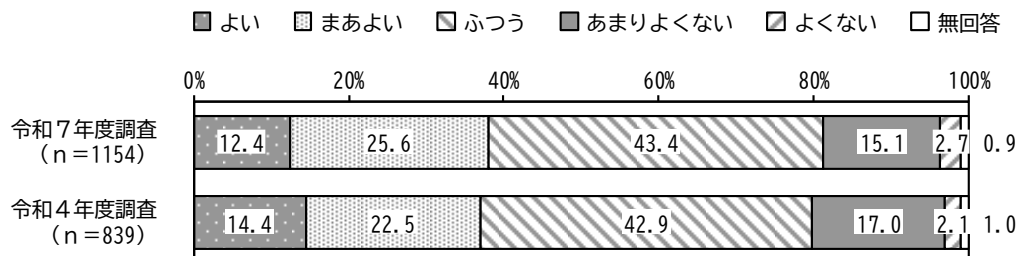


2. 健康状態などについて

問3 あなたは、自分の健康状態をどう思いますか。(あてはまるもの1つに○)

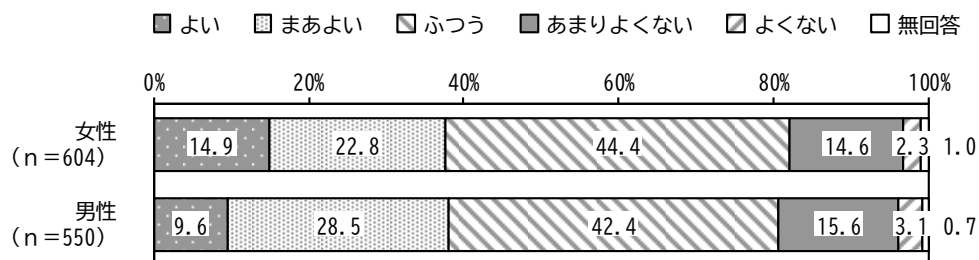
「ふつう」の割合が43.4%と最も高く、次いで「まあよい」の割合が25.6%、「あまりよくない」の割合が15.1%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



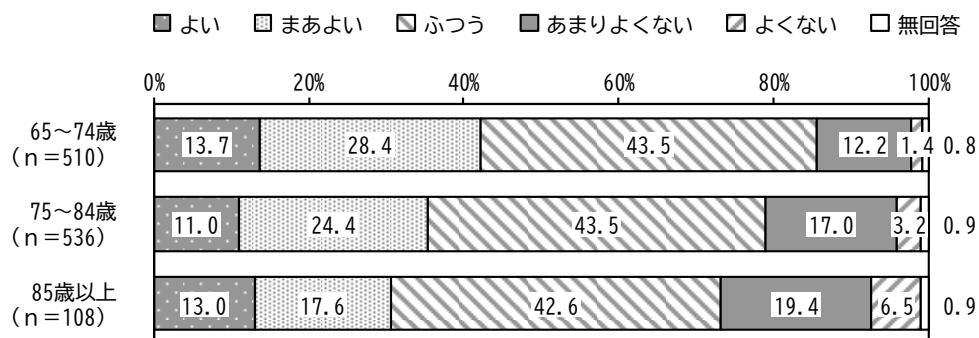
【性別】

性別にみると、女性で「よい」の割合が高く、男性で「まあよい」の割合が高くなっています。



【年代別】

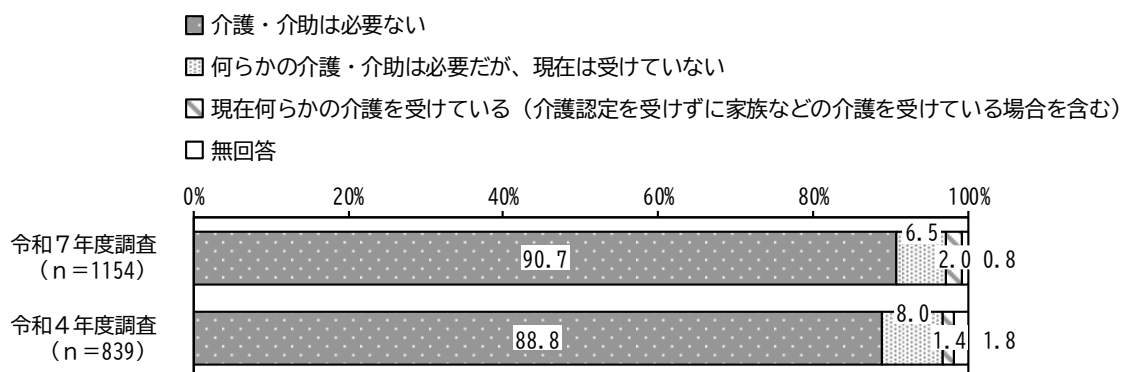
年代別にみると、年代が上がるほど「あまりよくない」の割合が高く、「まあよい」の割合が低くなっています。



問4 あなたは、普段の生活でどなたかによる介護・介助が必要ですか。
(あてはまるもの1つに○)

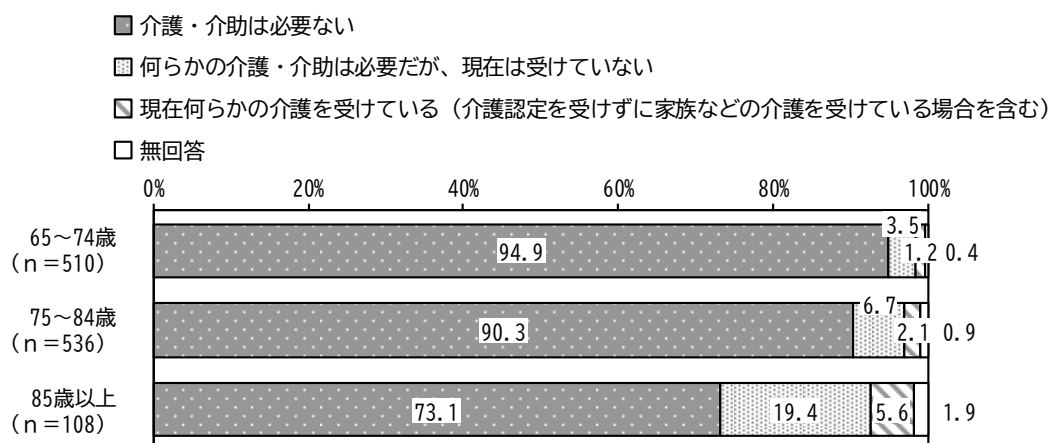
「介護・介助は必要ない」の割合が90.7%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合が6.5%、「現在何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合を含む）」の割合が2.0%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【年代別】

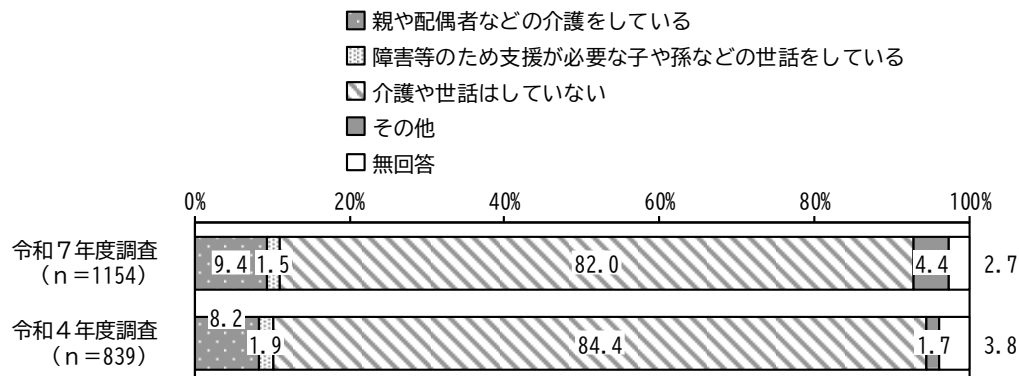
年代別にみると、年代が上がるほど「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合が高く、「介護・介助は必要ない」の割合が低くなっています。



問5 あなたは、普段の生活でどなたかの介護や世話をしていますか。
(あてはまるもの1つに○)

「親や配偶者などの介護をしている」の割合が9.4%、「障害等のため支援が必要な子や孫などの世話をしている」の割合が1.5%、「介護や世話はしていない」の割合が82.0%となっています。

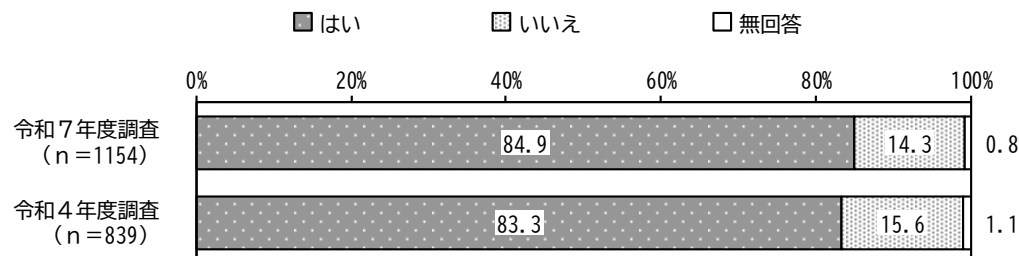
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問6 現在、病院・医院（診療所・クリニック）に通院していますか。（いずれかに○）

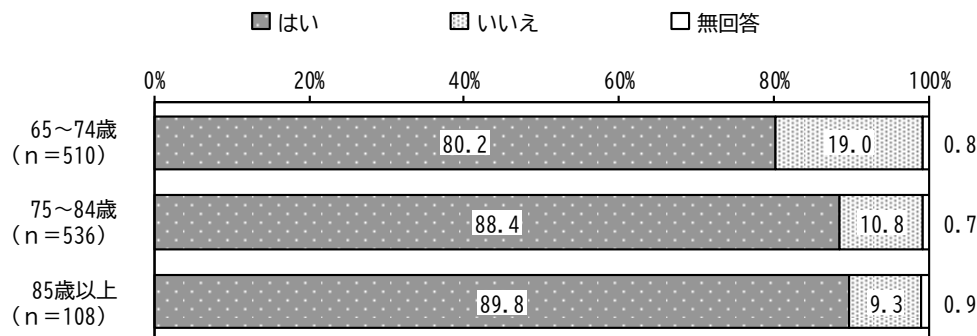
「はい」の割合が84.9%、「いいえ」の割合が14.3%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【年代別】

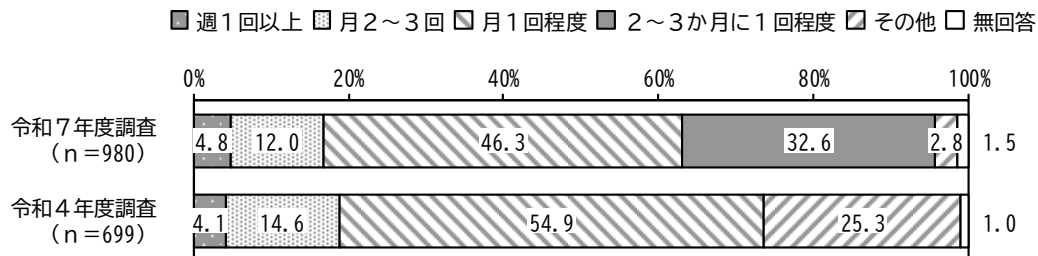
年代別にみると、年代が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。



問6-1 前問で「はい」と回答された方におたずねします。どのぐらいの頻度で通院していますか。(あてはまるもの1つに○)

「月1回程度」の割合が46.3%と最も高く、次いで「2～3か月に1回程度」の割合が32.6%、「月2～3回」の割合が12.0%となっています。

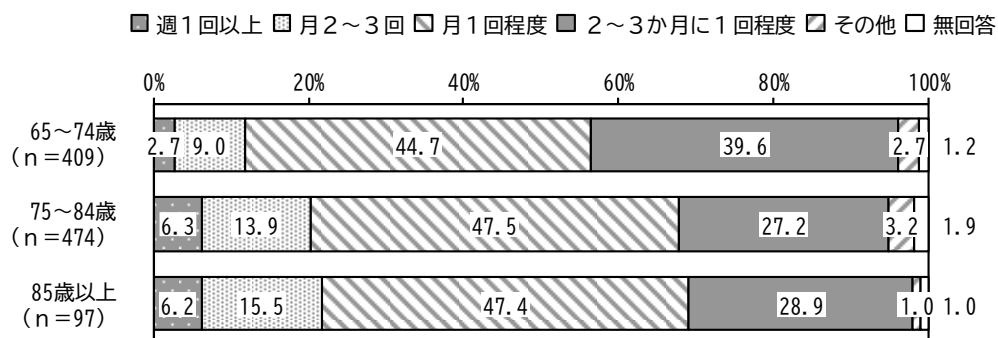
令和4年度調査と比較すると、「月1回程度」の割合が減少しています。



※令和4年度調査では、「2～3か月に1回程度」の選択肢はありませんでした。

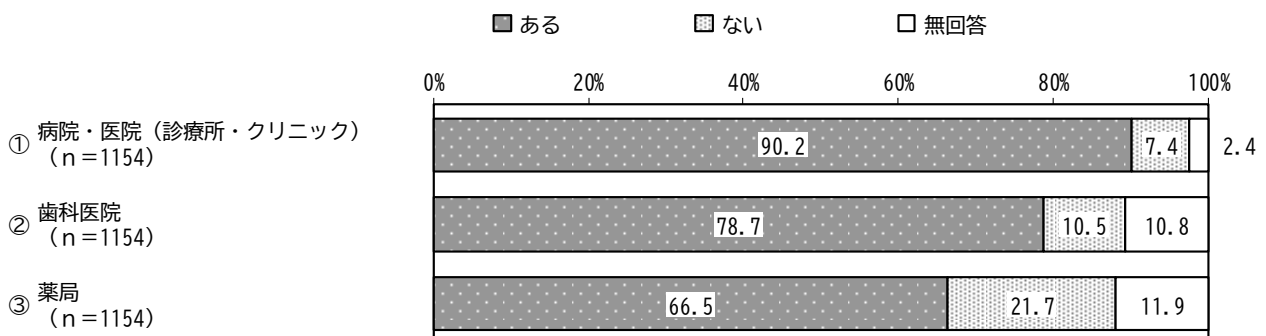
【年代別】

年代別にみると、年代が上がるほど「月2～3回」の割合が高くなっています。



問7 あなたには、かかりつけの病院・医院（診療所・クリニック）・かかりつけの歯科医院・かかりつけ薬局がありますか。（それぞれいづれかに○）

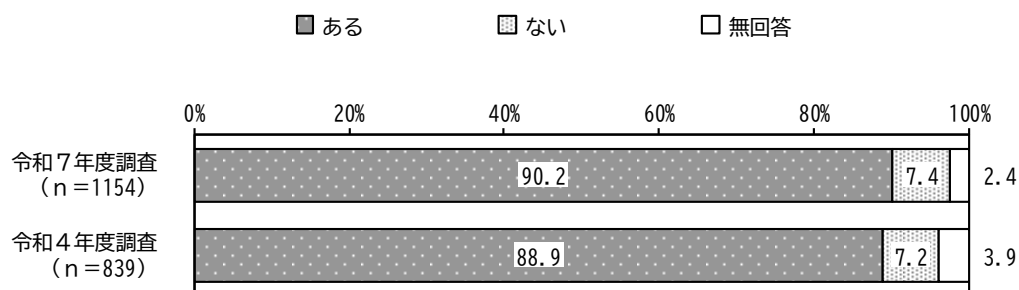
『① 病院・医院（診療所・クリニック）』で「ある」が、『③ 薬局』で「ない」が高くなっています。



① 病院・医院（診療所・クリニック）

【経年比較】

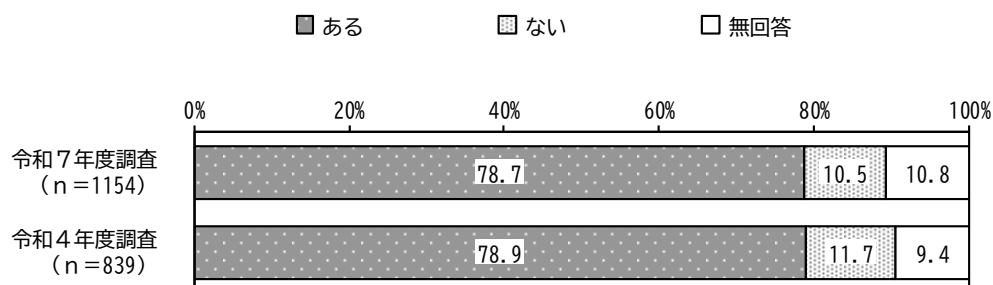
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



② 歯科医院

【経年比較】

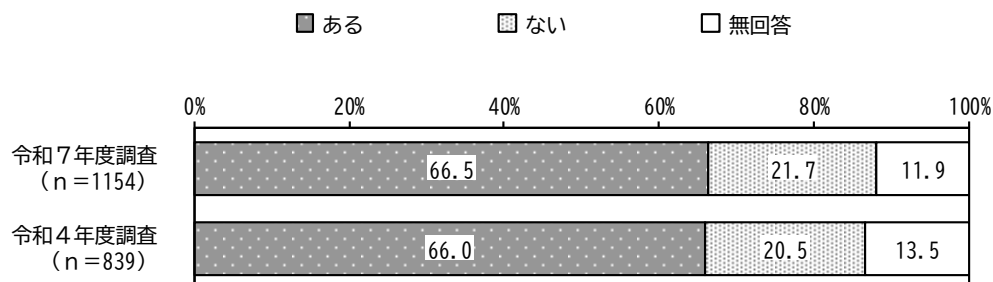
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



③ 薬局

【経年比較】

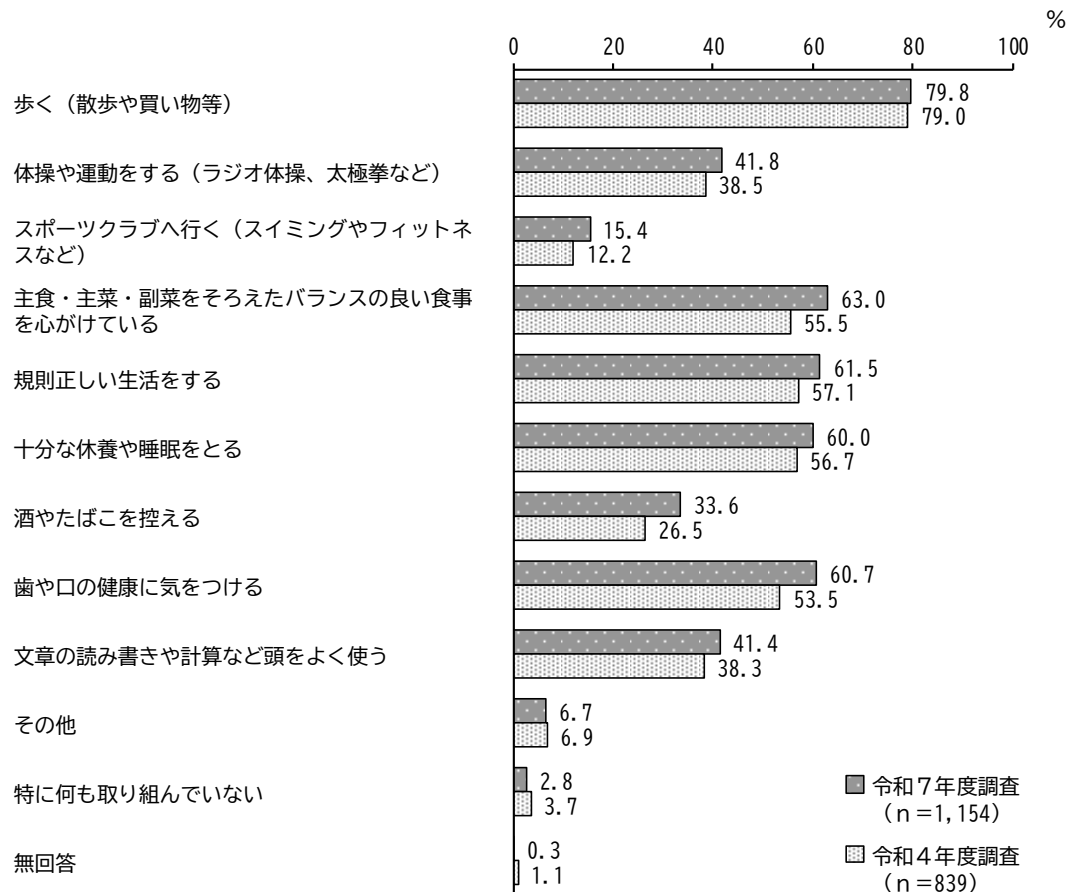
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問8 健康保持・増進のために、日常生活の中で取り組んでいることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

「歩く（散歩や買い物等）」の割合が79.8%と最も高く、次いで「主食・主菜・副菜をそろえたバランスの良い食事を心がけている」の割合が63.0%、「規則正しい生活をする」の割合が61.5%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「主食・主菜・副菜をそろえたバランスの良い食事を心がけている」「酒やたばこを控える」「歯や口の健康に気をつける」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、女性で「体操や運動をする（ラジオ体操、太極拳など）」「主食・主菜・副菜をそろえたバランスの良い食事を心がけている」「歯や口の健康に気をつける」の割合が高く、男性で「酒やたばこを控える」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	歩く（散歩や買い物等）	体操や運動をする（ラジオ体操、太極拳など）	スポーツクラブへ行く（スイミングやフィットネスなど）	主食・主菜・副菜をそろえたバランスの良い食事を心がけている	規則正しい生活をする	十分な休養や睡眠をとる	酒やたばこを控える	歯や口の健康に気をつける	文章の読み書きや計算など頭をよく使う	その他	特に何も取り組んでいない	無回答
全 体	1,154	79.8	41.8	15.4	63.0	61.5	60.0	33.6	60.7	41.4	6.7	2.8	0.3
女性	604	81.6	47.0	18.7	71.0	64.6	62.3	30.0	65.6	45.9	7.0	1.7	0.5
男性	550	77.8	36.0	11.8	54.2	58.2	57.5	37.6	55.5	36.5	6.4	4.0	0.0

【年代別】

年代別にみると、年代が上がるほど「十分な休養や睡眠をとる」「文章の読み書きや計算など頭をよく使う」の割合が高く、「スポーツクラブへ行く（スイミングやフィットネスなど）」「酒やたばこを控える」の割合が低くなっています。

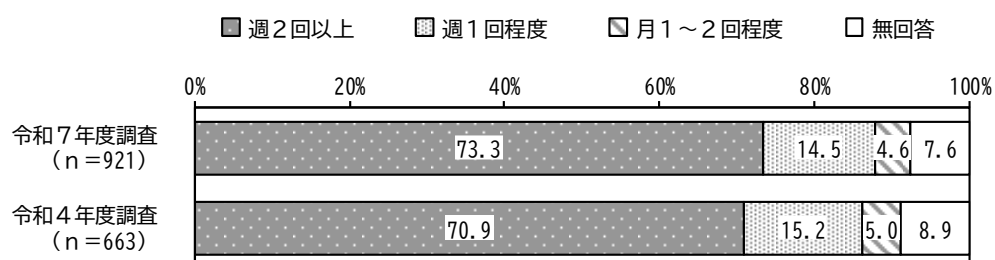
単位：％

区分	回答者数（件）	歩く（散歩や買い物等）	体操や運動をする（ラジオ体操、太極拳など）	スポーツクラブへ行く（スイミングやフィットネスなど）	主食・主菜・副菜をそろえたバランスの良い食事を心がけている	規則正しい生活をする	十分な休養や睡眠をとる	酒やたばこを控える	歯や口の健康に気をつける	文章の読み書きや計算など頭をよく使う	その他	特に何も取り組んでいない	無回答
全 体	1,154	79.8	41.8	15.4	63.0	61.5	60.0	33.6	60.7	41.4	6.7	2.8	0.3
65～74歳	510	79.2	41.8	18.6	60.2	59.6	57.5	34.5	59.0	36.3	4.3	2.9	0.2
75～84歳	536	80.2	42.5	13.2	65.3	64.6	61.9	33.6	63.4	45.3	8.0	2.6	0.2
85歳以上	108	80.6	38.0	11.1	64.8	55.6	62.0	29.6	55.6	46.3	11.1	2.8	0.9

歩く（散歩や買い物等）の頻度

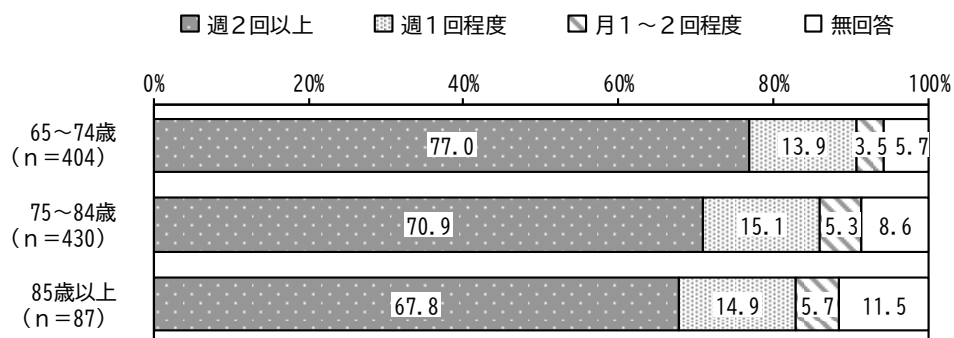
「週2回以上」の割合が73.3%、「週1回程度」の割合が14.5%、「月1～2回程度」の割合が4.6%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【年代別】

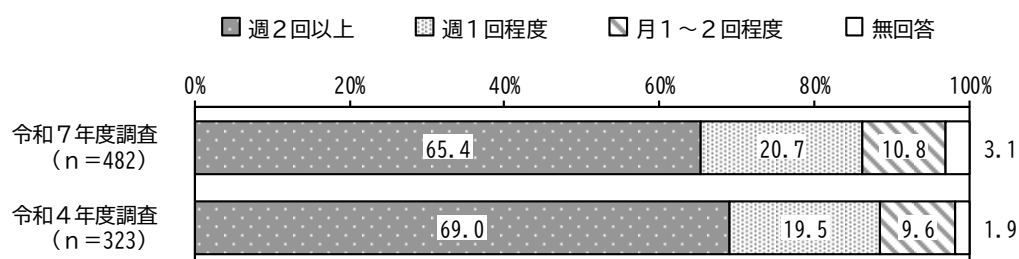
年代別にみると、年代が下がるほど「週2回以上」の割合が高くなっています。



体操や運動をする（ラジオ体操、太極拳など）の頻度

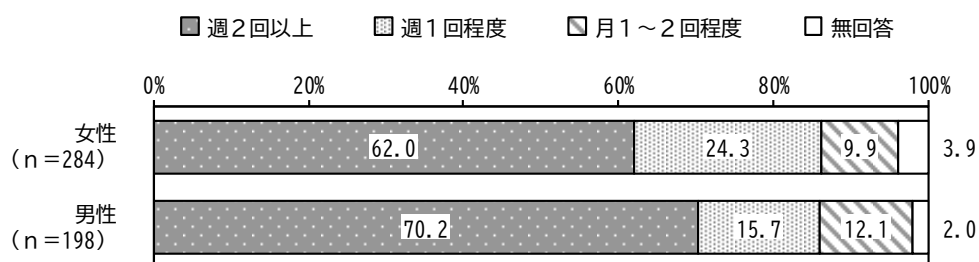
「週2回以上」の割合が65.4%、「週1回程度」の割合が20.7%、「月1～2回程度」の割合が10.8%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



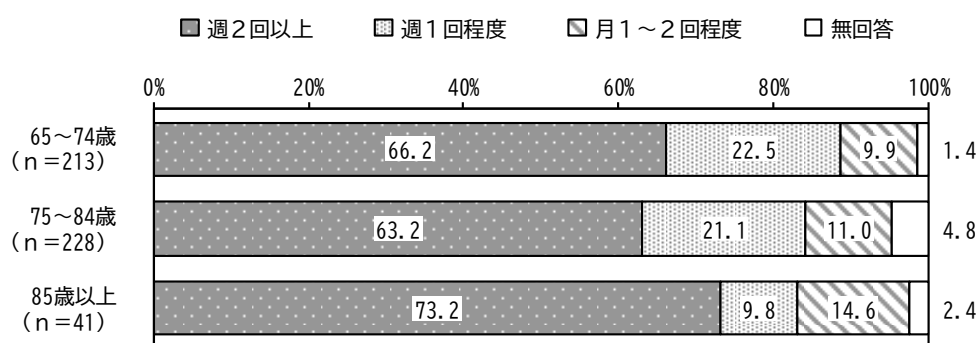
【性別】

性別にみると、女性で「週1回程度」の割合が高く、男性で「週2回以上」の割合が高くなっています。



【年代別】

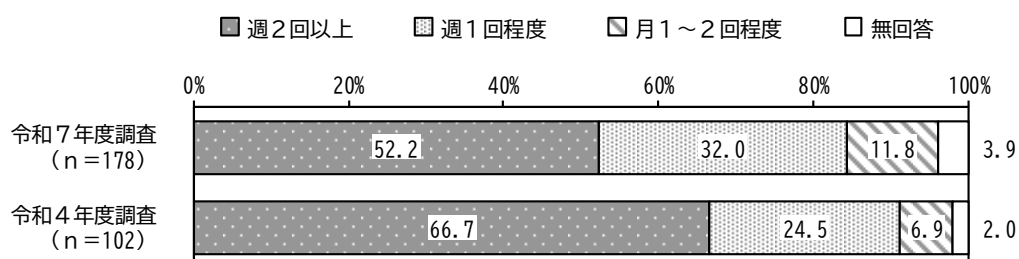
年代別にみると、年代が上がるほど「月1～2回程度」の割合が高く、「週1回程度」の割合が低くなっています。



スポーツクラブへ行く（スイミングやフィットネスなど）の頻度

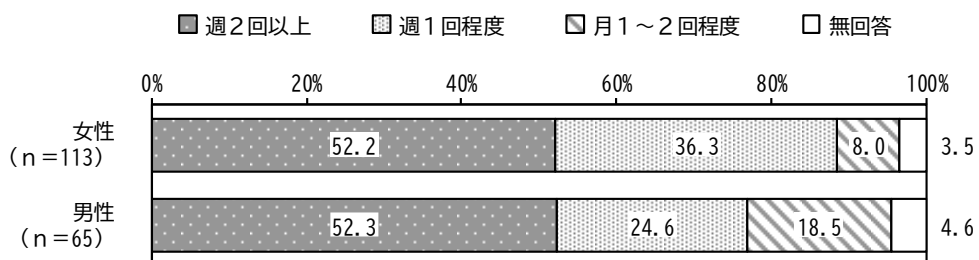
「週2回以上」の割合が52.2%、「週1回程度」の割合が32.0%、「月1～2回程度」の割合が11.8%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「週1回程度」の割合が増加しています。一方、「週2回以上」の割合が減少しています。



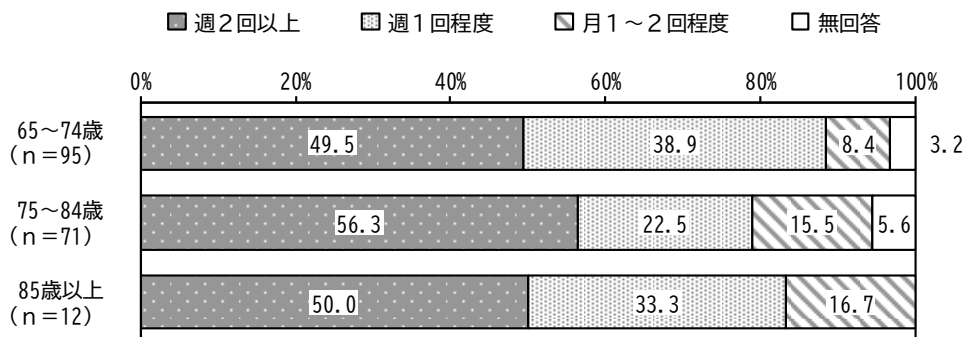
【性別】

性別にみると、女性で「週1回程度」の割合が高く、男性で「月1～2回程度」の割合が高くなっています。



【年代別】

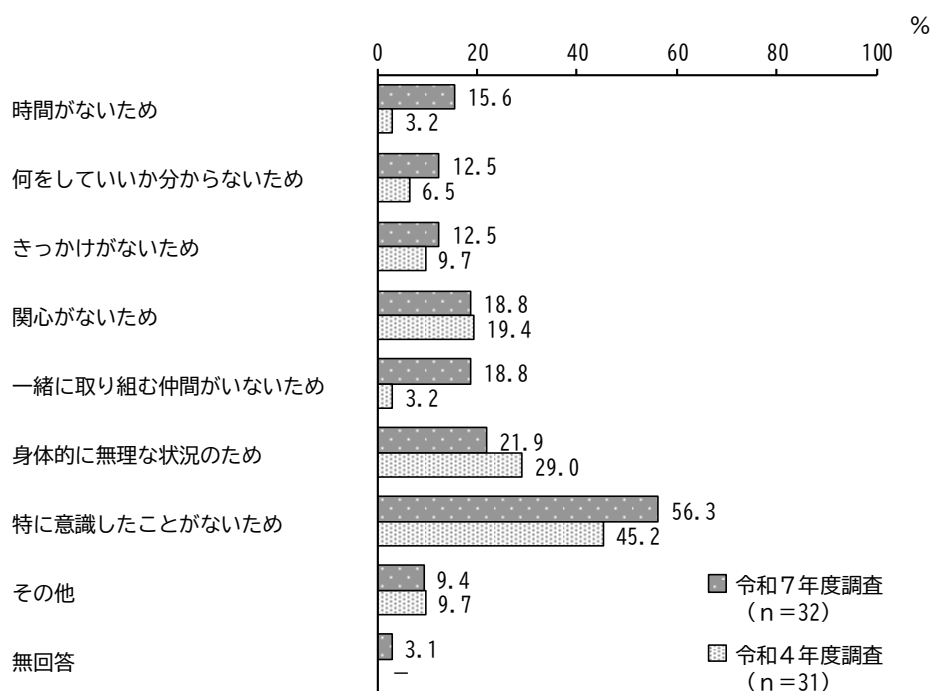
年代別にみると、年代が上がるほど「月1～2回程度」の割合が高くなっています。



問8－1 前問で「特に何も取り組んでいない」と回答された方におたずねします。
その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「特に意識したことがないため」の割合が56.3%と最も高く、次いで「身体的に無理な状況のため」の割合が21.9%、「関心がないため」、「一緒に取り組む仲間がないため」の割合が18.8%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「時間がないため」「何をしたいかわからないため」「一緒に取り組む仲間がないため」「特に意識したことがないため」の割合が増加しています。一方、「身体的に無理な状況のため」の割合が減少しています。



【性別】

性別にみると、女性で「何をしたいかわからないため」「きっかけがないため」「身体的に無理な状況のため」「特に意識したことがないため」の割合が高く、男性で「時間がないため」「関心がないため」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	時間がないため	何をしたいかわからないため	きっかけがないため	関心がないため	一緒に取り組む仲間がないため	身体的に無理な状況のため	特に意識したことがないため	その他	無回答
全 体	32	15.6	12.5	12.5	18.8	18.8	21.9	56.3	9.4	3.1
女性	10	10.0	20.0	20.0	10.0	20.0	30.0	80.0	10.0	0.0
男性	22	18.2	9.1	9.1	22.7	18.2	18.2	45.5	9.1	4.5

【年代別】

年代別にみると、年代が上がるほど「きっかけがないため」「関心がないため」「身体的に無理な状況のため」の割合が高く、「特に意識したことがないため」の割合が低くなっています。また、65～74歳、75歳～84歳で「特に意識したことがないため」の割合が最も高くなっています。

単位：％

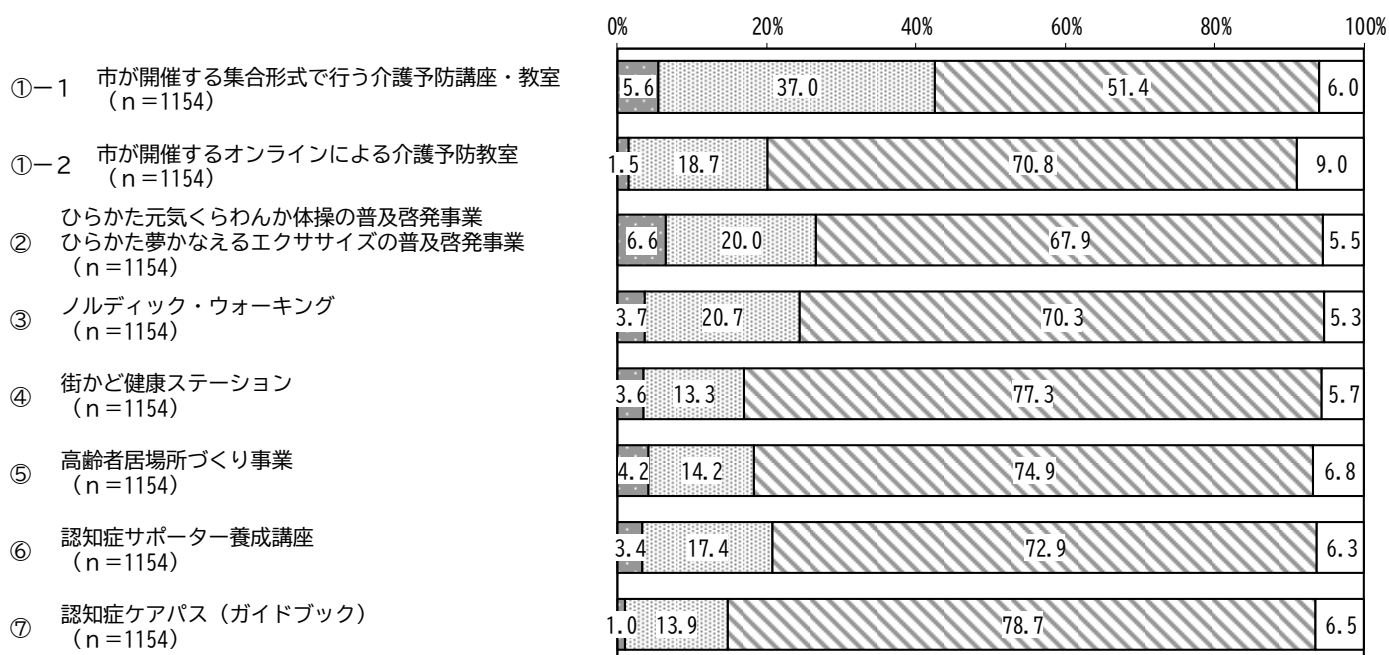
区分	回答者数 (件)	時間が ないため	何を していい か分 からない ため	め き っ か け が な い た め	関 心 が な い た め	一 緒 に 取 り 組 む 仲 間 が い な い た め	身 体 的 に 無 理 な 状 況 の た め	特 に 意 識 し た こ と が な い た め	そ の 他	無 回 答
全 体	32	15.6	12.5	12.5	18.8	18.8	21.9	56.3	9.4	3.1
65～74歳	15	33.3	13.3	6.7	13.3	20.0	0.0	60.0	6.7	6.7
75～84歳	14	0.0	7.1	14.3	21.4	14.3	28.6	57.1	14.3	0.0
85歳以上	3	0.0	33.3	33.3	33.3	33.3	100.0	33.3	0.0	0.0

問9 市では健康づくり教室の開催等、介護予防や高齢者の地域生活を支援する様々な取り組みを行っています。あなたは、次の教室等をご存じですか。また、今後利用してみたいと思いますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

これまでの利用状況

『①－1市が開催する集合形式で行う介護予防講座・教室』で「利用したことがある」「知っているが、利用したことはない」が、『②ひらかた元気くらわんか体操・ひらかた夢かなえるエクササイズ』の普及啓発事業で「利用したことがある」が、『③ノルディック・ウォーキング』で「知っているが、利用したことはない」が、『④街かど健康ステーション』『⑦認知症ケアパス（ガイドブック）』で「知らない」が高くなっています。

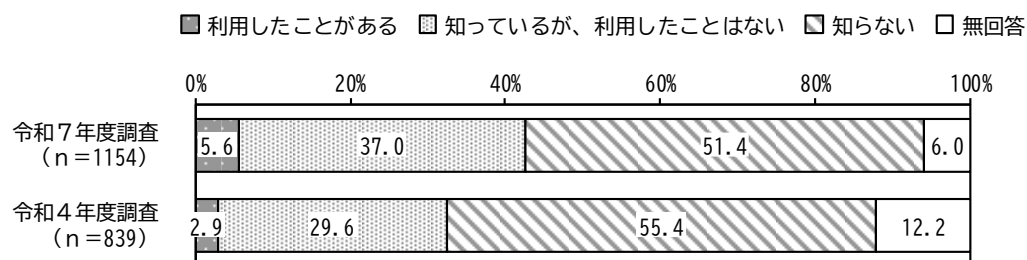
■ 利用したことがある ■ 知っているが、利用したことはない ■ 知らない □ 無回答



①－１ 市が開催する集合形式で行う（実際に集まって行う）介護予防講座・教室

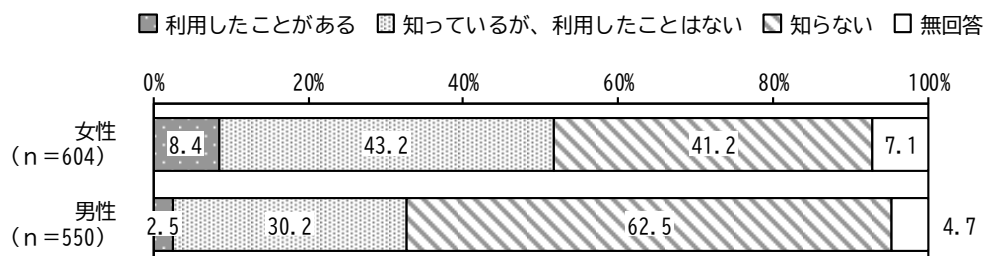
【経年比較】

令和４年度調査と比較すると、「知っているが、利用したことはない」の割合が増加しています。



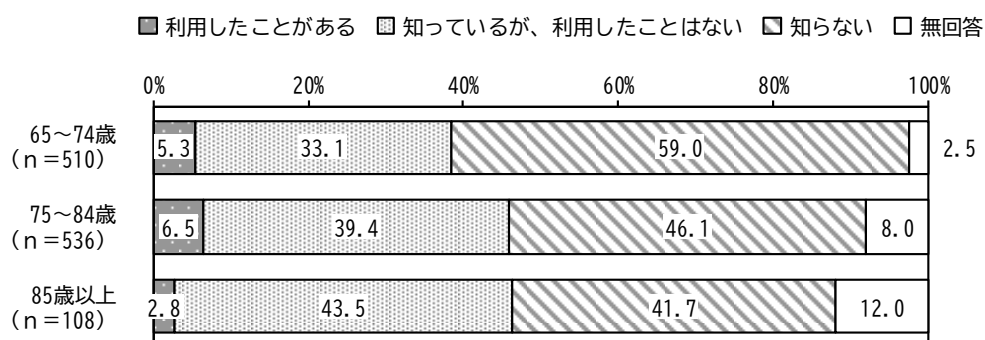
【性別】

性別にみると、女性で「利用したことがある」「知っているが、利用したことはない」の割合が高く、男性で「知らない」の割合が高くなっています。



【年代別】

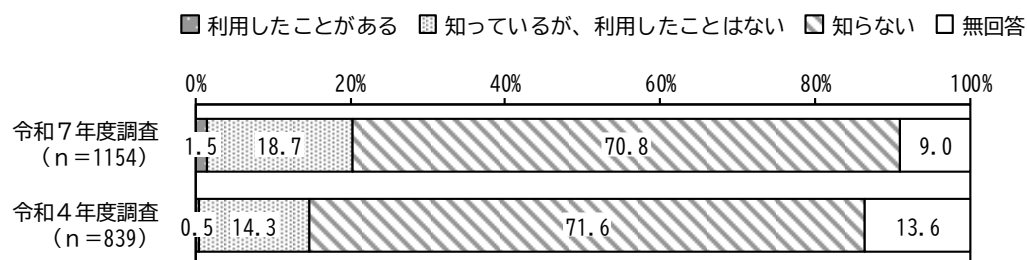
年代別にみると、年代が上がるほど「知っているが、利用したことはない」の割合が高く、「知らない」の割合が低くなっています。



①－２ 市が開催するオンラインによる介護予防教室

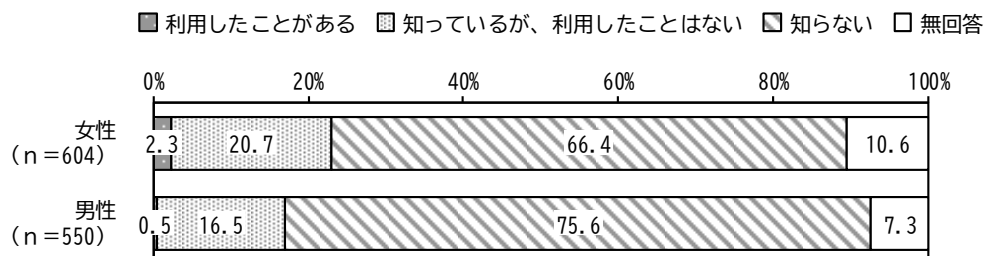
【経年比較】

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



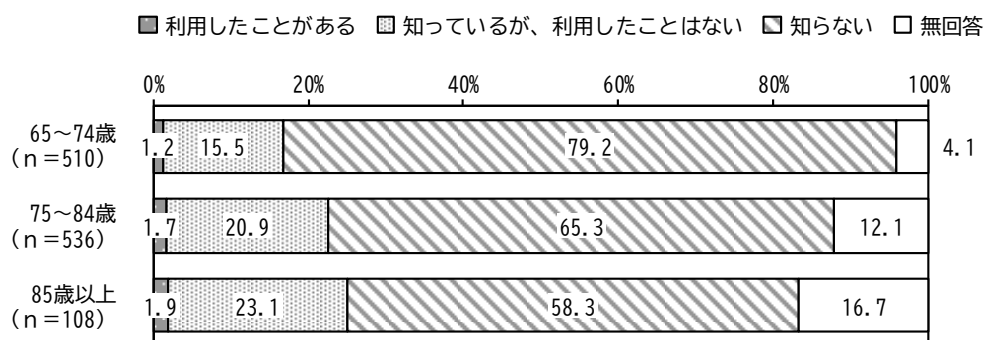
【性別】

性別にみると、男性で「知らない」の割合が高くなっています。



【年代別】

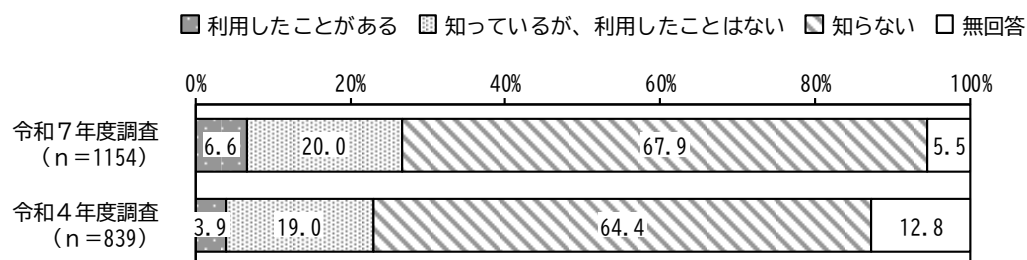
年代別にみると、年代が上がるほど「知っているが、利用したことはない」の割合が高く、「知らない」の割合が低くなっています。



② ひらかた元氣くらわんか体操の普及啓発事業、ひらかた夢かなえるエクササイズの普及啓発事業

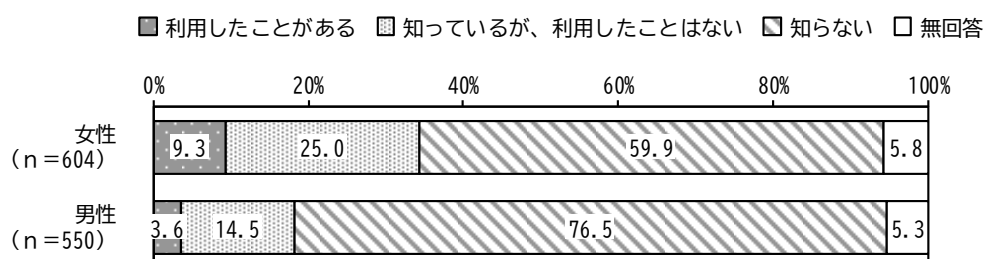
【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



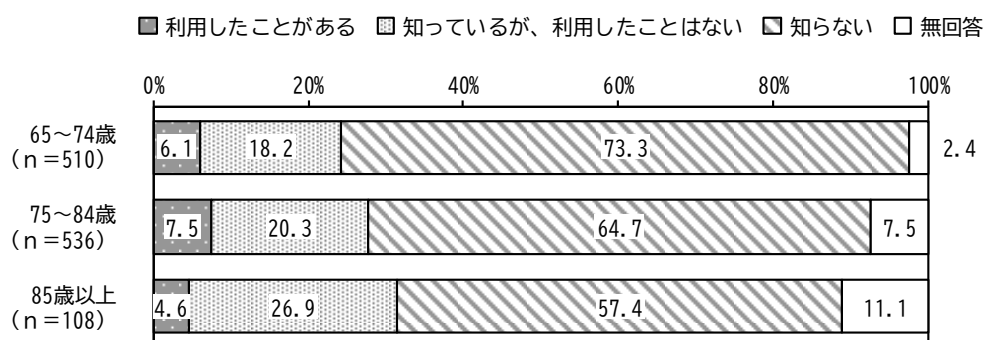
【性別】

性別にみると、女性で「利用したことがある」「知っているが、利用したことはない」の割合が高く、男性で「知らない」の割合が高くなっています。



【年代別】

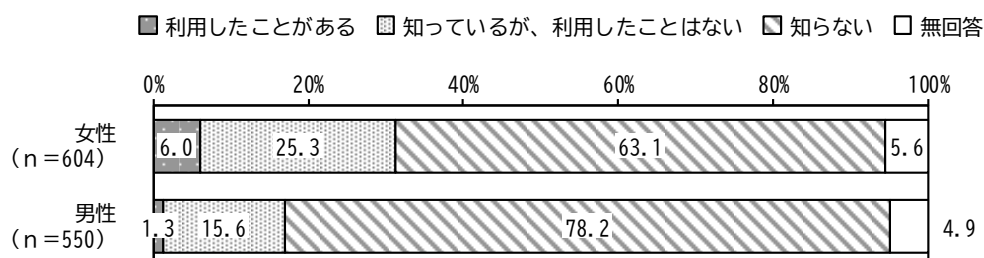
年代別にみると、年代が上がるほど「知っているが、利用したことはない」の割合が高く、「知らない」の割合が低くなっています。



③ ノルディック・ウォーキング

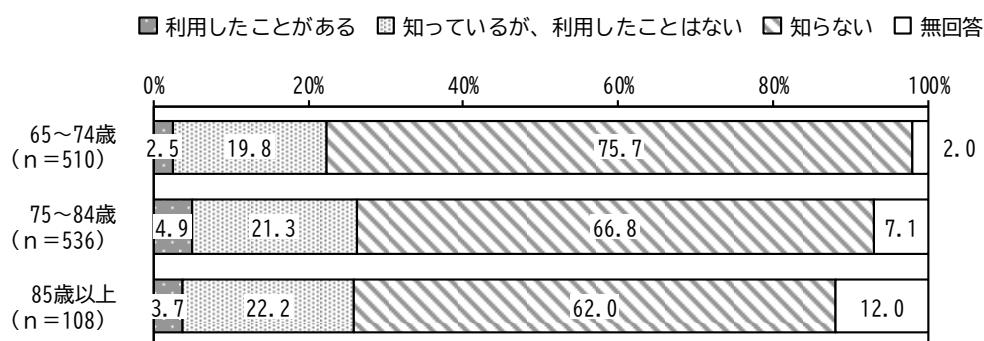
【性別】

性別にみると、女性で「知っているが、利用したことはない」の割合が高く、男性で「知らない」の割合が高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、年代が下がるほど「知らない」の割合が高くなっています。

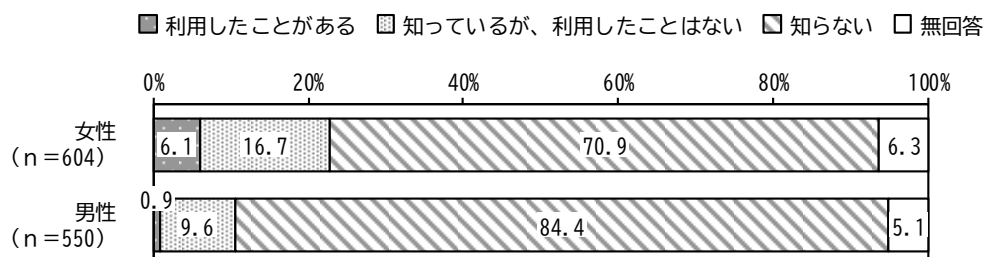


※令和4年度調査では、「③ ノルディック・ウォーキング」の設問はありませんでした。

④ 街かど健康ステーション

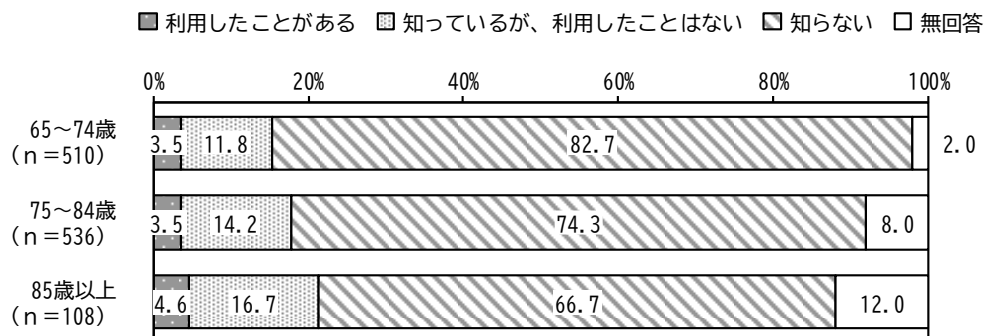
【性別】

性別にみると、女性で「利用したことがある」「知っているが、利用したことはない」の割合が高く、男性で「知らない」の割合が高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、年代が上がるほど「知っているが、利用したことはない」の割合が高く、「知らない」の割合が低くなっています。

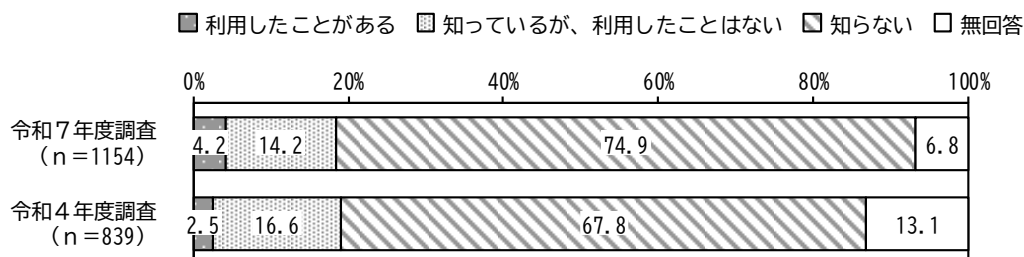


※令和4年度調査では、「④ 街かど健康ステーション」の設問はありませんでした。

⑤ 高齢者居場所づくり事業

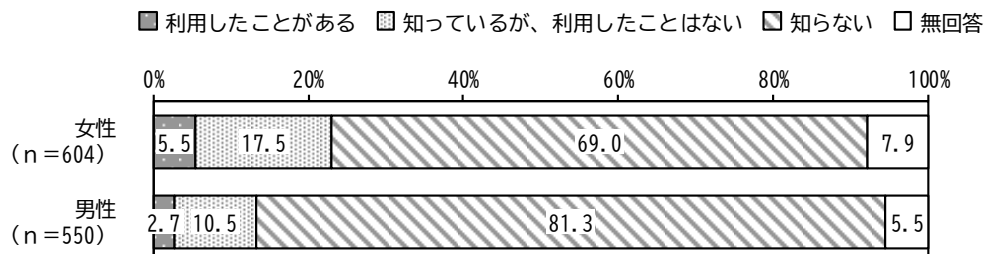
【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、「知らない」の割合が増加しています。



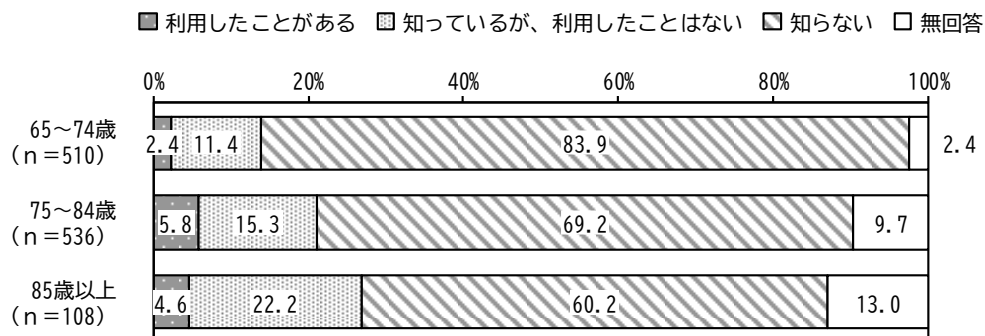
【性別】

性別にみると、女性で「知っているが、利用したことはない」の割合が高く、男性で「知らない」の割合が高くなっています。



【年代別】

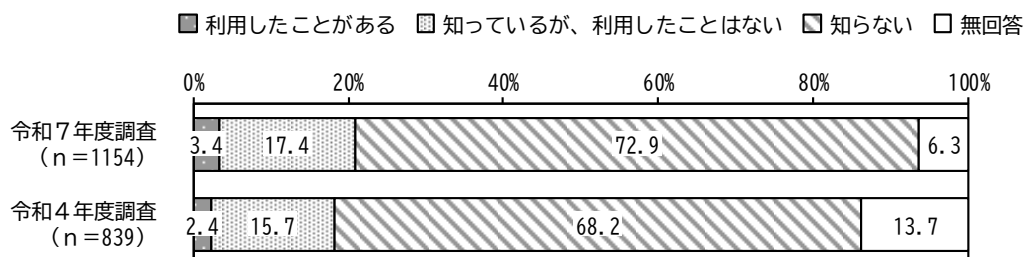
年代別にみると、年代が上がるほど「知っているが、利用したことはない」の割合が高く、「知らない」の割合が低くなっています。



⑥ 認知症サポーター養成講座

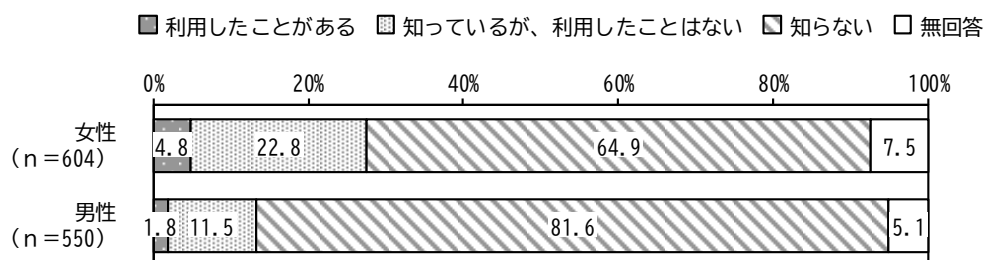
【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



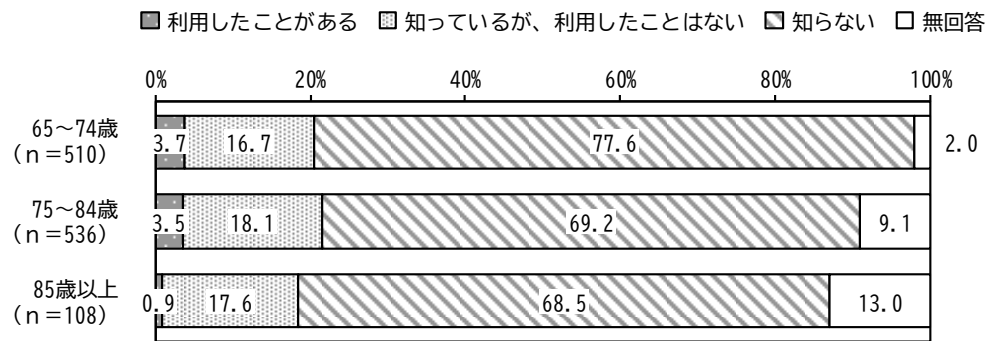
【性別】

性別にみると、女性で「知っているが、利用したことはない」の割合が高く、男性で「知らない」の割合が高くなっています。



【年代別】

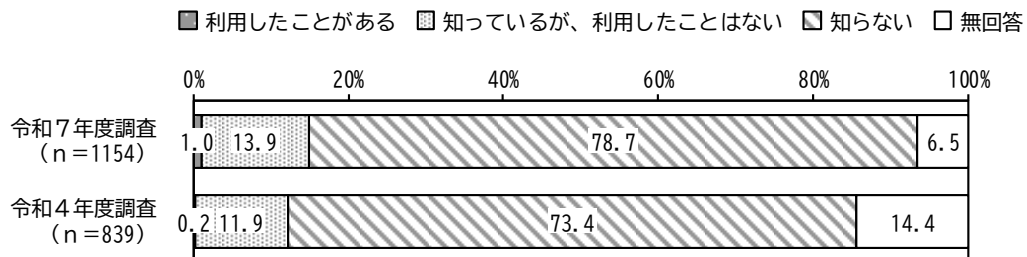
年代別にみると、年代が下がるほど「知らない」の割合が高くなっています。



⑦ 認知症ケアパス（ガイドブック）

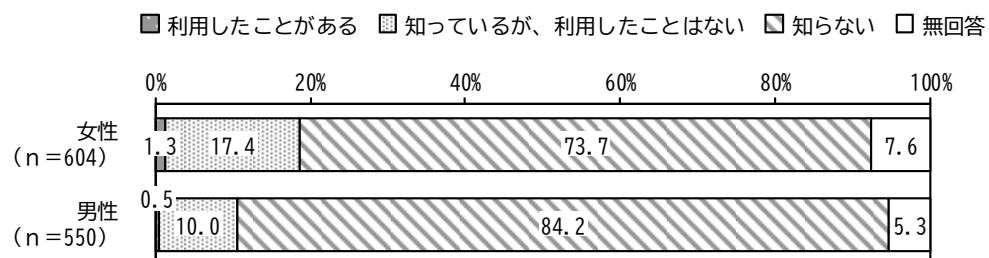
【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、「知らない」の割合が増加しています。



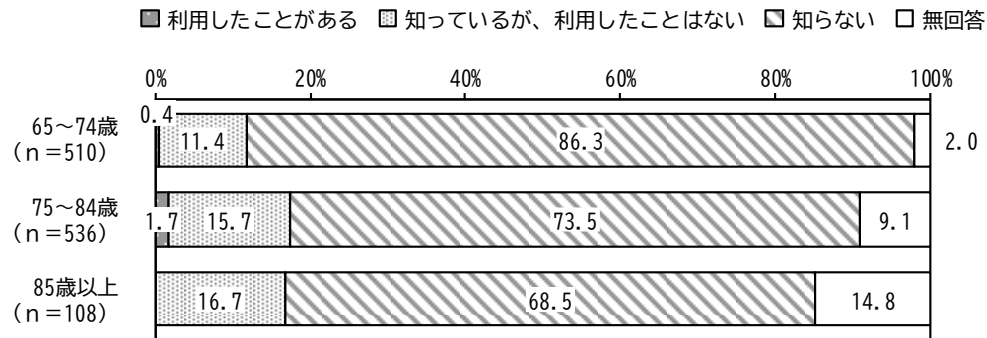
【性別】

性別にみると、女性で「知っているが、利用したことはない」の割合が高く、男性で「知らない」の割合が高くなっています。



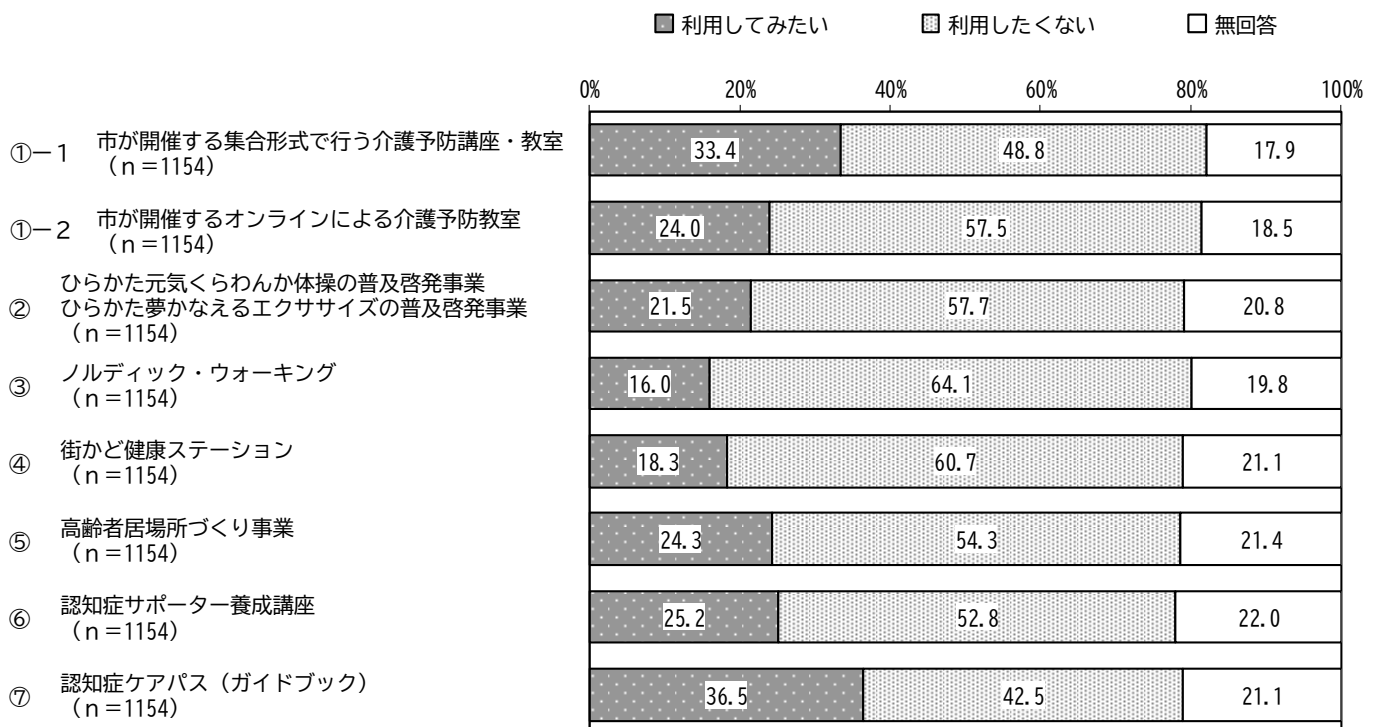
【年代別】

年代別にみると、年代が上がるほど「知っているが、利用したことはない」の割合が高く、「知らない」の割合が低くなっています。



今後の利用意向

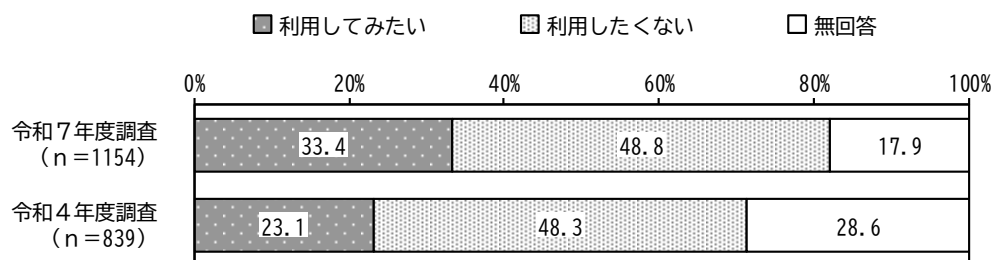
『①－１市が開催する集合形式で行う（実際に集まって行う）介護予防講座・教室』『⑦認知症ケアパス（ガイドブック）』で「利用してみたい」が高く、『③ノルディック・ウォーキング』『④街かど健康ステーション』で「利用したくない」が高くなっています。



①－１ 市が開催する集合形式で行う（実際に集まって行う）介護予防講座・教室

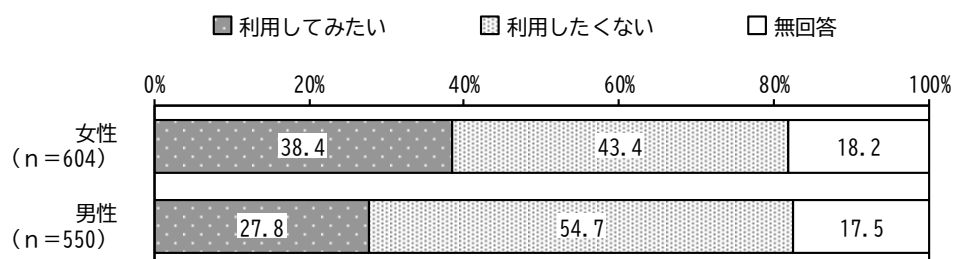
【経年比較】

令和４年度調査と比較すると、「利用してみたい」の割合が増加しています。



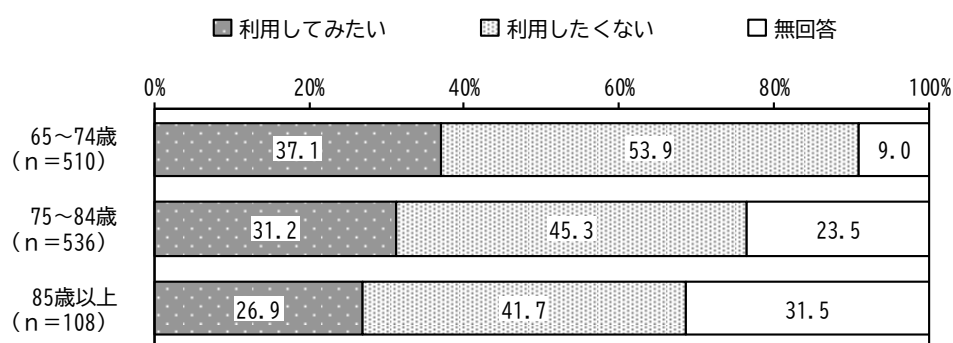
【性別】

性別にみると、男性で「利用したくない」の割合が高くなっています。



【年代別】

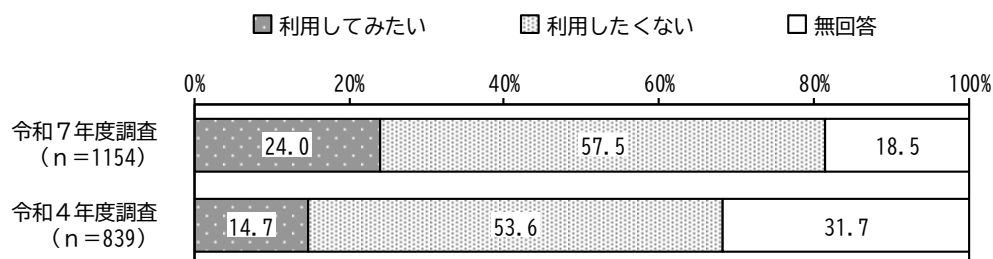
年代別にみると、年代が下がるほど「利用してみたい」の割合が高くなっています。一方で、「利用したくない」の割合も高くなっています。



①-2 市が開催するオンラインによる介護予防教室

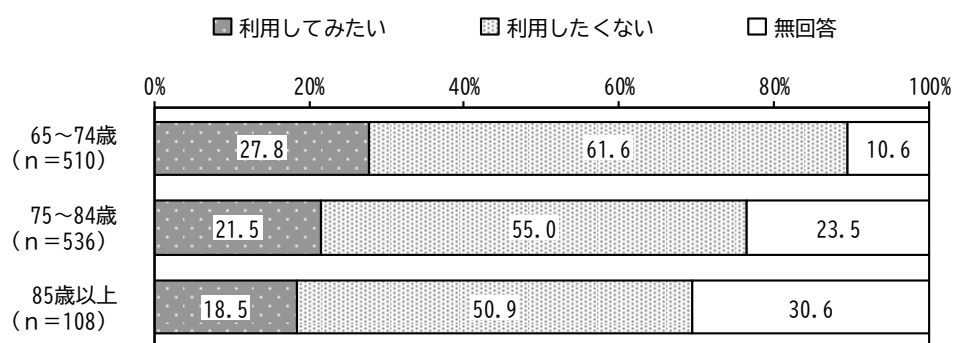
【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、「利用してみたい」の割合が増加しています。



【年代別】

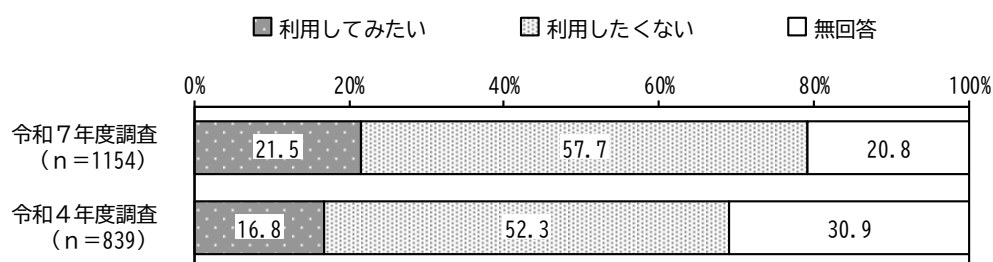
年代別にみると、年代が下がるほど「利用してみたい」の割合が高くなっています。一方で、「利用したくない」の割合も高くなっています。



② ひらかた元氣くらわんか体操の普及啓発事業、ひらかた夢かなえるエクササイズの普及啓発事業

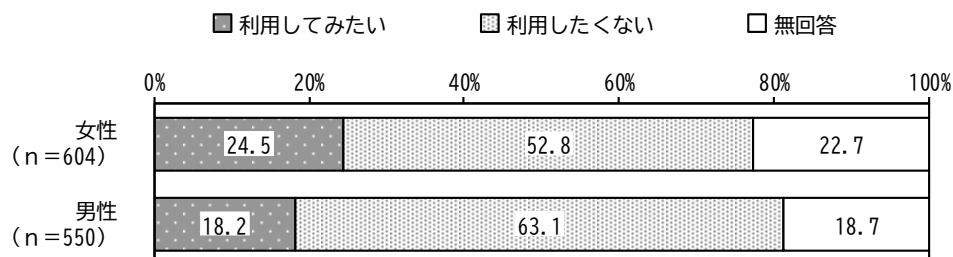
【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



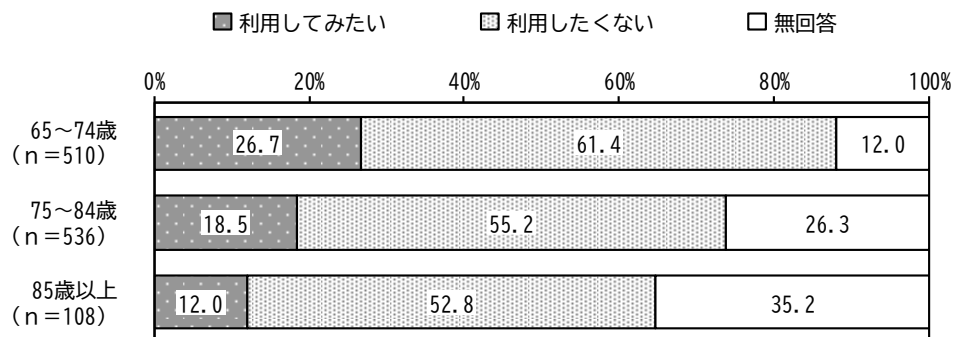
【性別】

性別にみると、男性で「利用したくない」の割合が高くなっています。



【年代別】

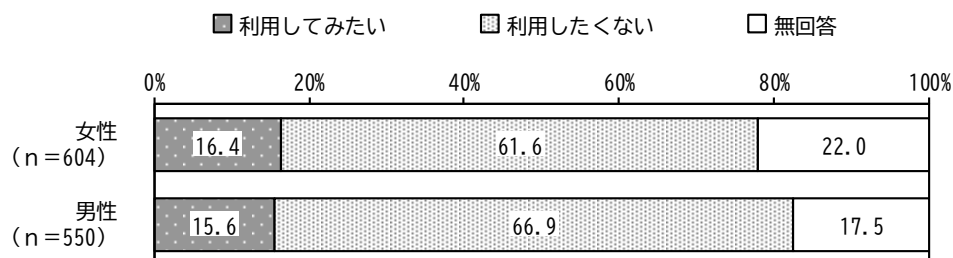
年代別にみると、年代が下がるほど「利用してみたい」の割合が高くなっています。一方で、「利用したくない」の割合も高くなっています。



③ ノルディック・ウォーキング

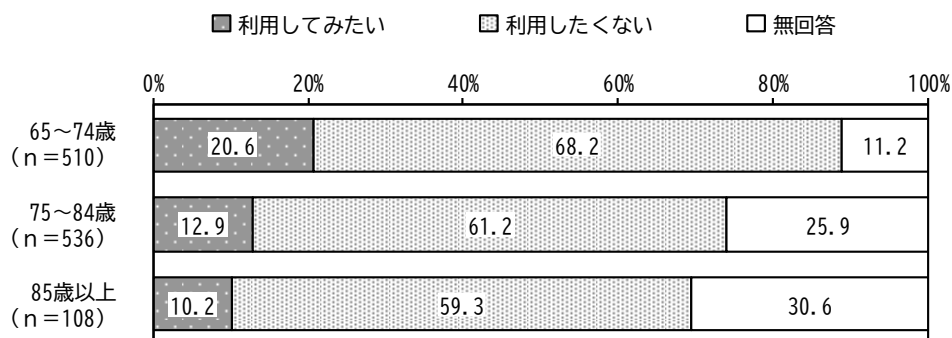
【性別】

性別にみると、男性で「利用したくない」の割合が高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、年代が下がるほど「利用してみたい」の割合が高くなっています。一方で、「利用したくない」の割合も高くなっています。

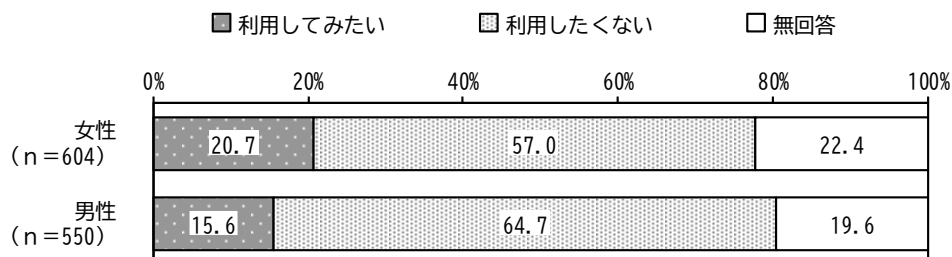


※令和4年度調査では、「③ ノルディック・ウォーキング」の設問はありませんでした。

④ 街かど健康ステーション

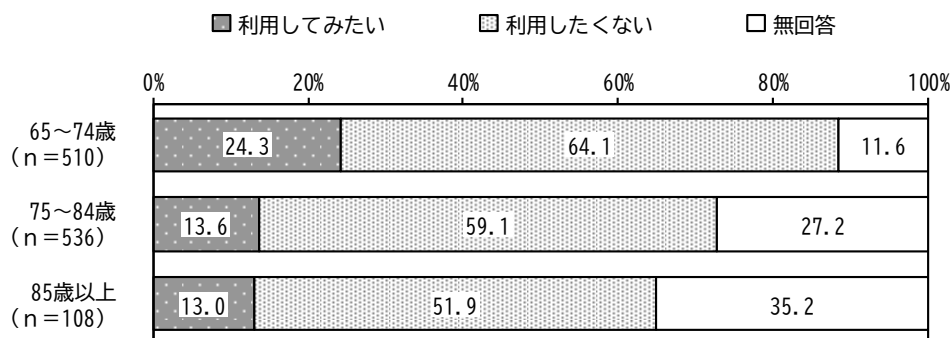
【性別】

性別にみると、男性で「利用したくない」の割合が高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、年代が下がるほど「利用してみたい」の割合が高くなっています。一方で、「利用したくない」の割合も高くなっています。

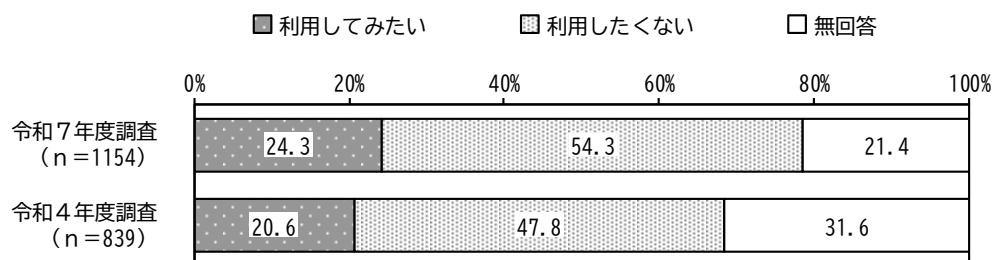


※令和4年度調査では、「④ 街かど健康ステーション」の設問はありませんでした。

⑤ 高齢者居場所づくり事業

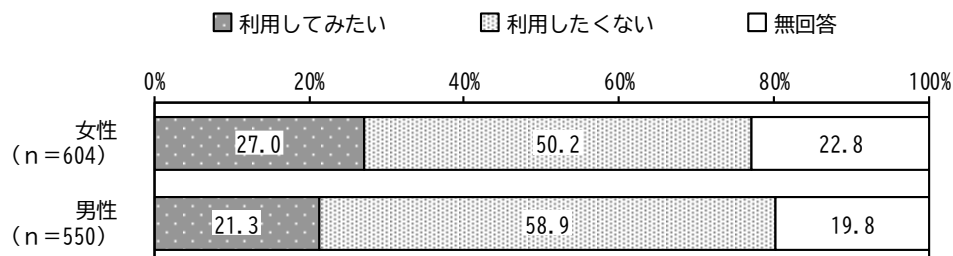
【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、「利用したくない」の割合が増加しています。



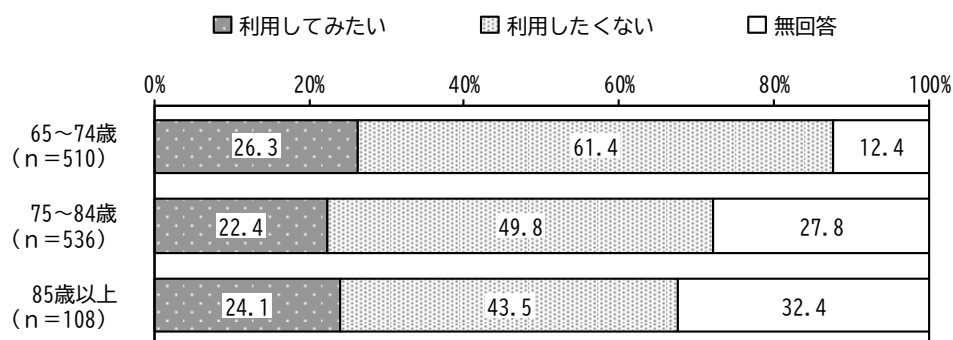
【性別】

性別にみると、男性で「利用したくない」の割合が高くなっています。



【年代別】

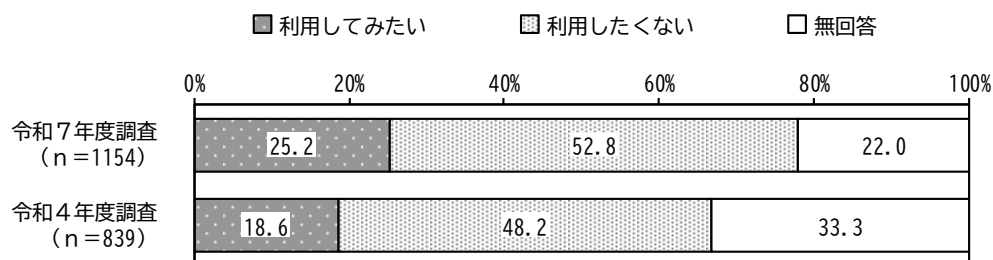
年代別にみると、年代が下がるほど「利用したくない」の割合が高くなっています。



⑥ 認知症サポーター養成講座

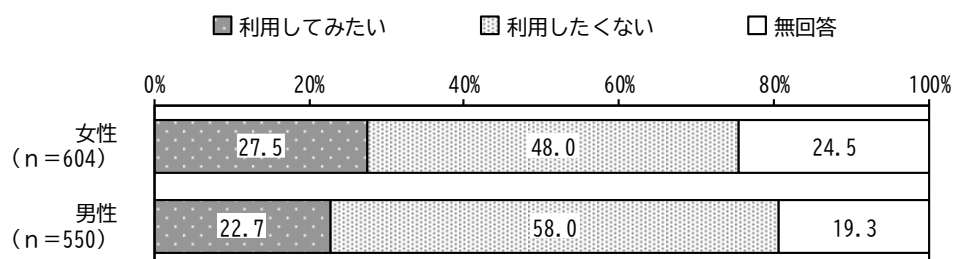
【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、「利用してみたい」の割合が増加しています。



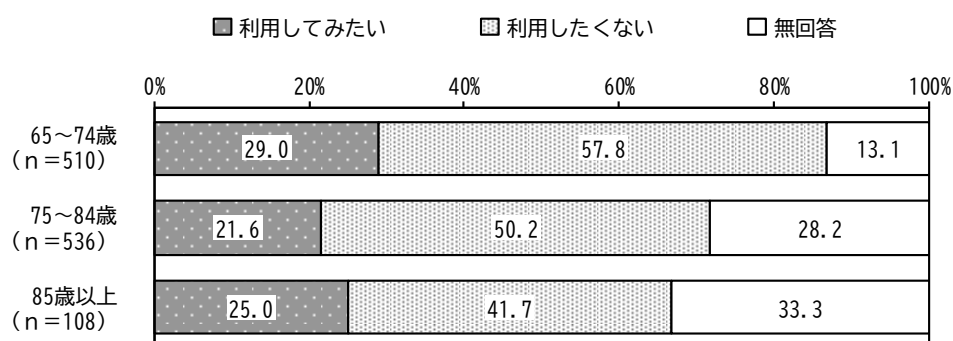
【性別】

性別にみると、男性で「利用したくない」の割合が高くなっています。



【年代別】

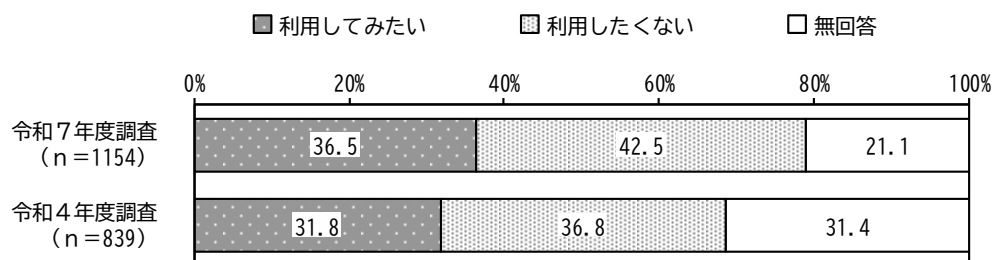
年代別にみると、年代が下がるほど「利用したくない」の割合が高くなっています。



⑦ 認知症ケアパス（ガイドブック）

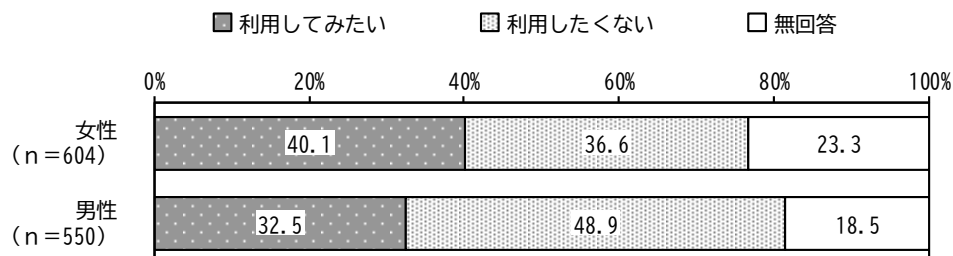
【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



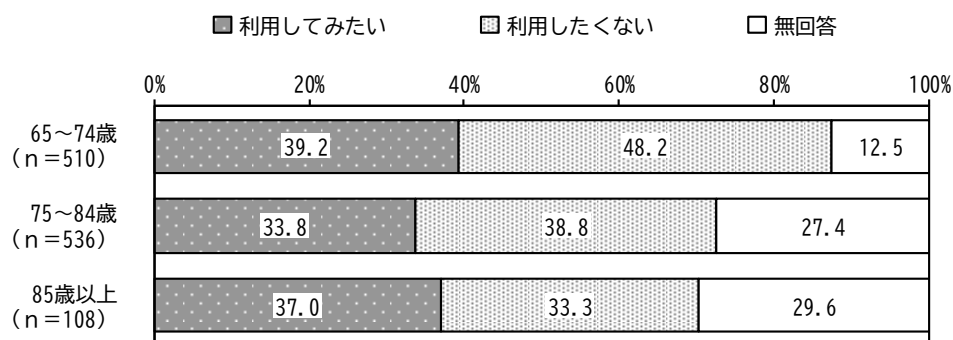
【性別】

性別にみると、男性で「利用したくない」の割合が高くなっています。



【年代別】

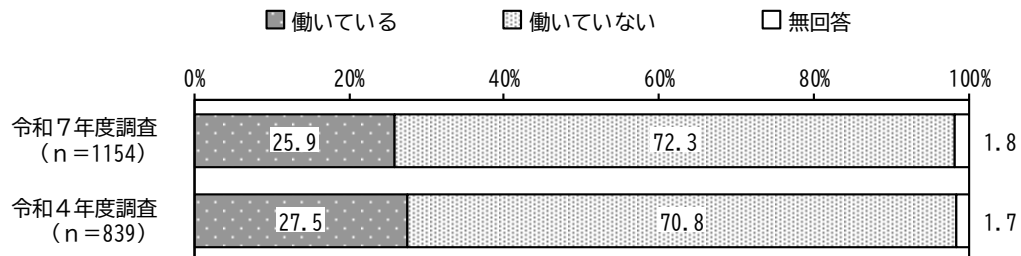
年代別にみると、年代が下がるほど「利用したくない」の割合が高くなっています。



3. 仕事や生きがいについて

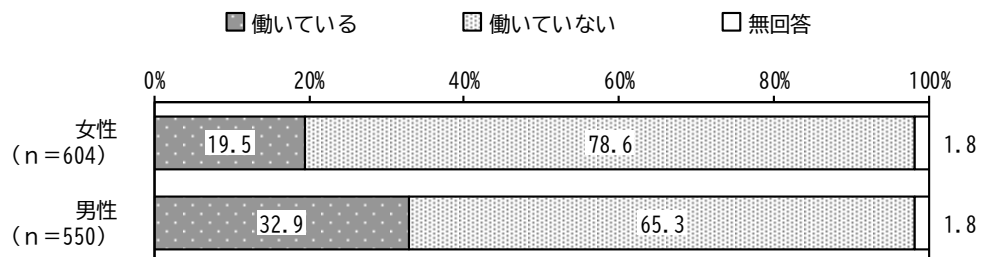
問 10 あなたは現在、仕事をしていますか。(いずれかに○)

「働いている」の割合が25.9%、「働いていない」の割合が72.3%となっています。
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



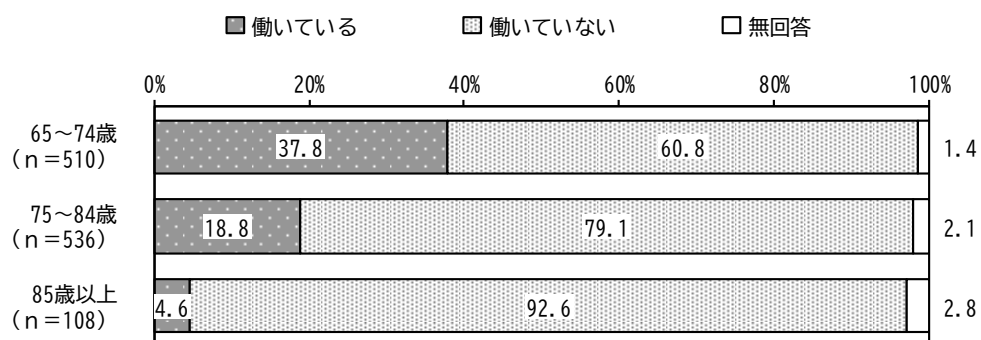
【性別】

性別にみると、男性で「働いている」の割合が高くなっています。



【年代別】

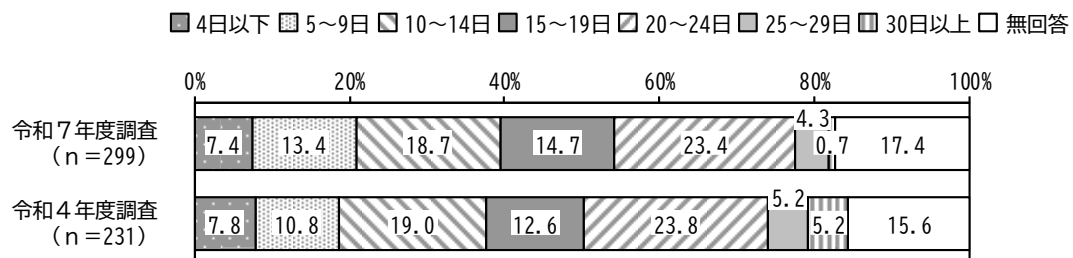
年代別にみると、年代が上がるほど「働いていない」の割合が高くなっています。



月に働いている日数

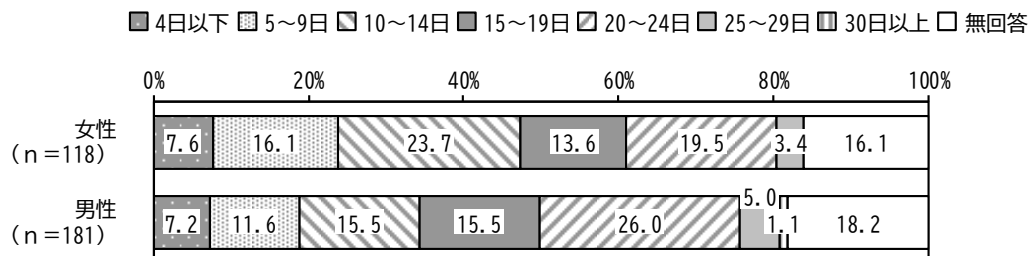
「20～24日」の割合が23.4%と最も高く、次いで「10～14日」の割合が18.7%、「15～19日」の割合が14.7%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



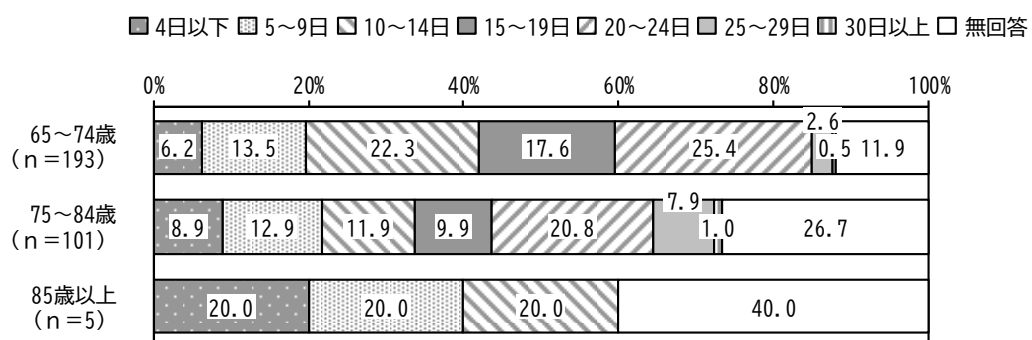
【性別】

性別にみると、女性で「10～14日」の割合が高く、男性で「20～24日」の割合が高くなっています。



【年代別】

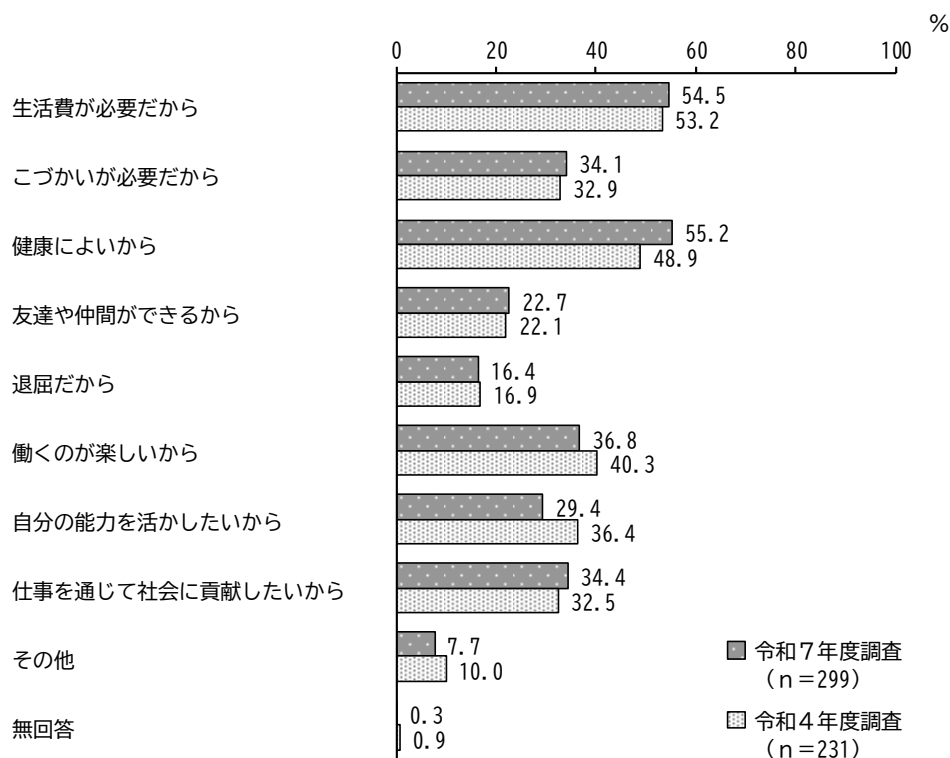
年代別にみると、年代が下がるほど「15～19日」「20～24日」の割合が高くなっています。また、65～74歳、75～84歳で「20～24日」の割合が最も高くなっています。



問10-1 前問で「働いている」と回答された方におたずねします。その理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「健康によいから」の割合が55.2%と最も高く、次いで「生活費が必要だから」の割合が54.5%、「働くのが楽しいから」の割合が36.8%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「健康によいから」の割合が増加しています。一方、「自分の能力を活かしたいから」の割合が減少しています。



【性別】

性別にみると、女性で「友達や仲間ができるから」「働くのが楽しいから」「自分の能力を活かしたいから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	生活費が必要だから	こづかいが必要だから	健康によいから	友達や仲間ができるから	退屈だから	働くのが楽しいから	自分の能力を活かしたいから	仕事を通じて社会に貢献したいから	その他	無回答
全 体	299	54.5	34.1	55.2	22.7	16.4	36.8	29.4	34.4	7.7	0.3
女性	118	53.4	33.9	53.4	28.0	16.9	43.2	33.9	32.2	5.9	0.0
男性	181	55.2	34.3	56.4	19.3	16.0	32.6	26.5	35.9	8.8	0.6

【年代別】

年代別にみると、年代が下がるほど「生活費が必要だから」「こづかいが必要だから」「友達や仲間ができるから」の割合が高くなっています。また、65歳～74歳で「生活費が必要だから」、75歳～84歳で「健康によいから」の割合が最も高くなっています。

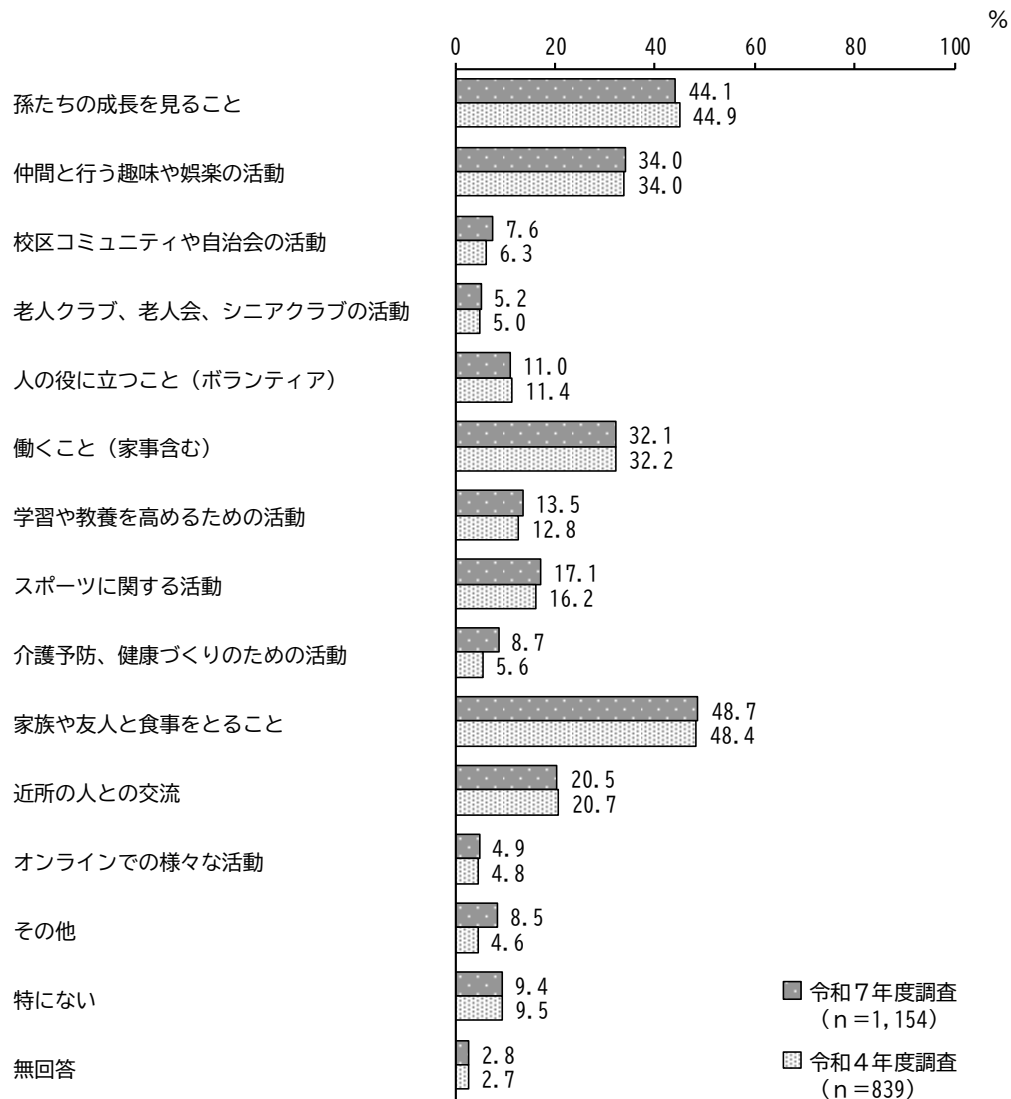
単位：％

区分	回答者数 (件)	生活費が必要だから	こづかいが必要だから	健康によいから	友達や仲間ができるから	退屈だから	働くのが楽しいから	自分の能力を活かしたいから	仕事を通じて社会に貢献したいから	その他	無回答
全 体	299	54.5	34.1	55.2	22.7	16.4	36.8	29.4	34.4	7.7	0.3
65～74歳	193	59.1	37.8	54.4	25.4	14.5	36.8	30.6	37.8	3.6	0.5
75～84歳	101	47.5	27.7	58.4	18.8	20.8	37.6	26.7	27.7	13.9	0.0
85歳以上	5	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	40.0	40.0	40.0	0.0

問 11 あなたが現在やっていることで、生きがいや楽しみを感じるのはどんなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

「家族や友人と食事をとること」の割合が 48.7%と最も高く、次いで「孫たちの成長を見ること」の割合が 44.1%、「仲間と行う趣味や娯楽の活動」の割合が 34.0%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

性別にみると、女性で「仲間と行う趣味や娯楽の活動」「働くこと（家事含む）」「家族や友人と食事をとること」「近所の人との交流」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	孫たちの成長を見ること	仲間と行う趣味や娯楽の活動	校区コミュニティや自治会の活動	老人クラブ、老人会、シニアクラブの活動	人の役に立つこと（ボランティア）	働くこと（家事含む）	学習や教養を高めるための活動
全 体	1,154	44.1	34.0	7.6	5.2	11.0	32.1	13.5
女性	604	45.7	36.9	7.6	6.1	12.3	35.4	14.2
男性	550	42.4	30.7	7.6	4.2	9.6	28.5	12.7

区分	スポーツに関する活動	介護予防、健康づくりのための活動	家族や友人と食事をとること	近所の人との交流	オンラインでの様々な活動	その他	特にない	無回答
全 体	17.1	8.7	48.7	20.5	4.9	8.5	9.4	2.8
女性	15.4	9.6	57.5	27.5	4.1	8.6	7.1	2.5
男性	18.9	7.6	39.1	12.7	5.6	8.4	12.0	3.1

【年代別】

65～74 歳、85 歳以上で「家族や友人と食事をとること」、75 歳～84 歳で「孫たちの成長を見ること」の割合が最も高くなっています。

単位：％

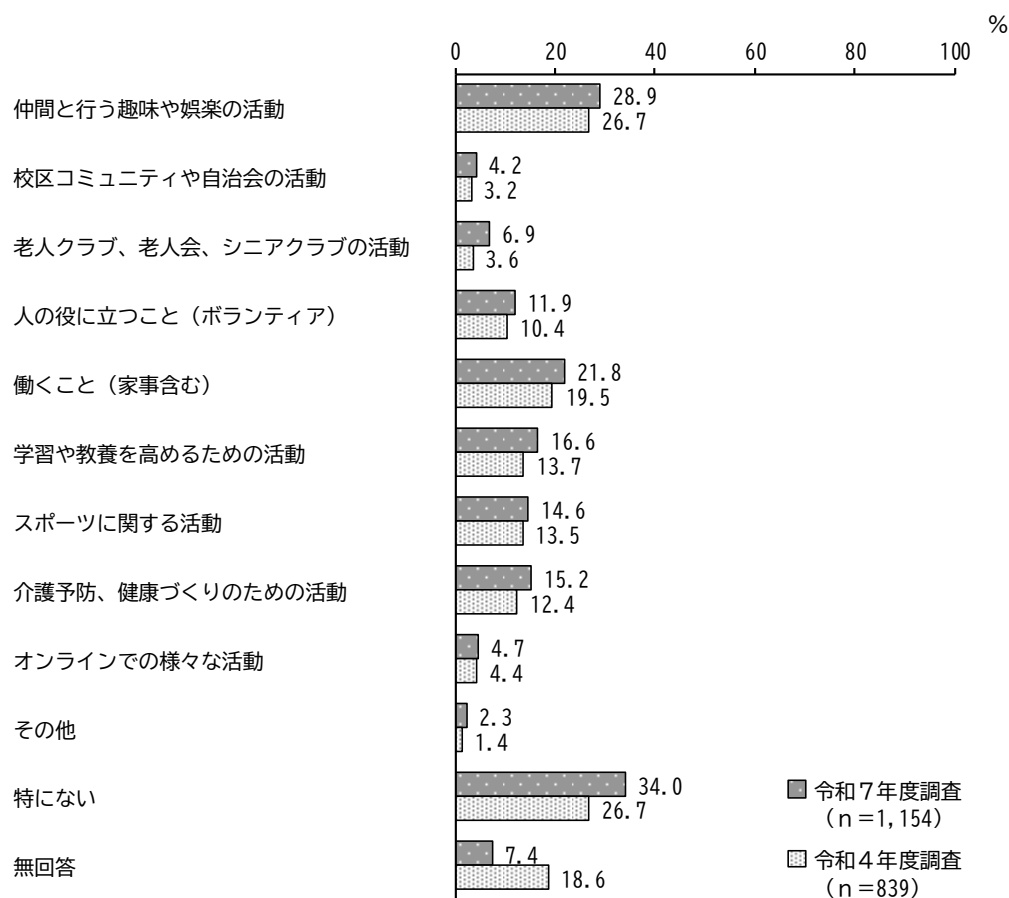
区分	回答者数（件）	孫たちの成長を見ること	仲間と行う趣味や娯楽の活動	校区コミュニティや自治会の活動	老人クラブ、老人会、シニアクラブの活動	人の役に立つこと（ボランティア）	働くこと（家事含む）	学習や教養を高めるための活動
全 体	1,154	44.1	34.0	7.6	5.2	11.0	32.1	13.5
65～74歳	510	45.1	32.9	6.5	1.6	11.4	37.1	17.5
75～84歳	536	45.0	36.8	9.0	8.2	11.6	30.2	11.0
85歳以上	108	35.2	25.0	6.5	7.4	6.5	18.5	7.4

区分	スポーツに関する活動	介護予防、健康づくりのための活動	家族や友人と食事をとること	近所の人との交流	オンラインでの様々な活動	その他	特にない	無回答
全 体	17.1	8.7	48.7	20.5	4.9	8.5	9.4	2.8
65～74歳	18.6	9.2	55.1	14.3	6.5	9.6	9.2	1.8
75～84歳	16.2	8.6	44.8	25.7	3.5	7.8	8.8	3.4
85歳以上	13.9	6.5	38.0	23.1	3.7	6.5	13.9	4.6

問12 今後やってみたいと思う活動は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「仲間と行う趣味や娯楽の活動」の割合が28.9%と最も高く、次いで「働くこと（家事含む）」の割合が21.8%、「学習や教養を高めるための活動」の割合が16.6%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「特にない」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、女性で「仲間と行う趣味や娯楽の活動」「介護予防、健康づくりのための活動」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	仲間と行う趣味や娯楽の活動	校区コミュニティや自治会の活動	老人クラブ、老人会、シニアクラブの活動	人の役に立つこと（ボランティア）	働くこと（家事含む）	学習や教養を高めるための活動	スポーツに関する活動	介護予防、健康づくりのための活動	オンラインでの様々な活動	その他	特にない	無回答
全 体	1,154	28.9	4.2	6.9	11.9	21.8	16.6	14.6	15.2	4.7	2.3	34.0	7.4
女性	604	31.6	4.6	6.8	13.1	23.7	17.5	13.2	18.7	4.6	1.8	32.0	7.9
男性	550	26.0	3.6	7.1	10.5	19.6	15.5	16.2	11.3	4.7	2.7	36.2	6.7

【年代別】

年代別にみると、年代が下がるほど「人の役に立つこと（ボランティア）」「働くこと（家事含む）」「学習や教養を高めるための活動」「スポーツに関する活動」「介護予防、健康づくりのための活動」「オンラインでの様々な活動」の割合が高くなっています。また、どの年代も「特にない」の割合が最も高く、85歳以上では、約半数を占めています。

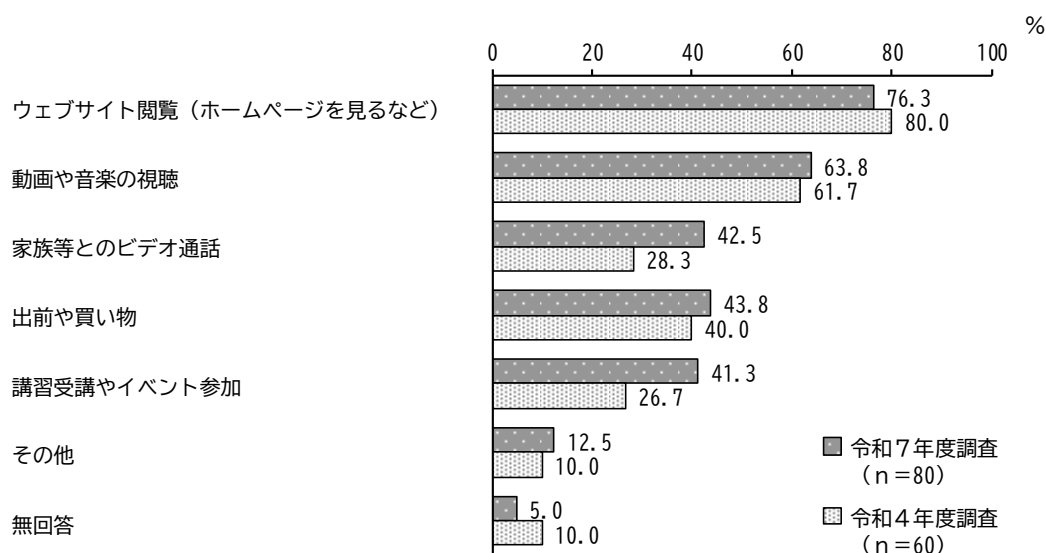
単位：％

区分	回答者数 (件)	仲間と行う 趣味や娯 楽の活動	校区コミュニ ティや 自治会の活動	老人クラブ、老人会、 シニアクラブの活動	人の役に立つこと（ボ ランティア）	働くこと（家事含む）	学習や教養を高める ための活動	スポーツに関する活 動	介護予防、健康づく りのための活動	オンラインでの様々 な活動	その他	特にな い	無回 答
全 体	1,154	28.9	4.2	6.9	11.9	21.8	16.6	14.6	15.2	4.7	2.3	34.0	7.4
65～74歳	510	29.8	3.7	4.5	13.5	27.6	21.8	18.8	16.5	5.9	2.5	29.8	4.5
75～84歳	536	30.2	4.7	9.3	11.2	18.5	13.1	11.9	15.9	3.9	1.7	34.5	9.7
85歳以上	108	18.5	3.7	6.5	7.4	10.2	9.3	8.3	5.6	2.8	3.7	50.9	9.3

問12-2 問11及び問12で「オンラインでの様々な活動」を回答された方におたずねします。主にどのような活動を行っていますか（行いたいですか）。
（あてはまるものすべてに○）

「ウェブサイト閲覧（ホームページを見るなど）」の割合が76.3%と最も高く、次いで「動画や音楽の視聴」の割合が63.8%、「出前や買い物」の割合が43.8%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「家族等とのビデオ通話」「講習受講やイベント参加」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、女性で「家族等とのビデオ通話」の割合が高く、男性で「ウェブサイト閲覧（ホームページを見るなど）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ウェブサイト 閲覧 (ホーム ページを 見るなど)	動画や音楽の 視聴	家族等との ビデオ 通話	出前や買 い物	講習受 講やイ ベン ト参加	その他	無回 答
全 体	80	76.3	63.8	42.5	43.8	41.3	12.5	5.0
女性	39	69.2	61.5	51.3	41.0	38.5	5.1	5.1
男性	41	82.9	65.9	34.1	46.3	43.9	19.5	4.9

【年代別】

年代別にみると、どの年代も「ウェブサイト閲覧（ホームページを見るなど）」の割合が最も高く、65歳～74歳で「動画や音楽の視聴」、75歳～84歳で「講習受講やイベントの参加」の割合が高くなっています。

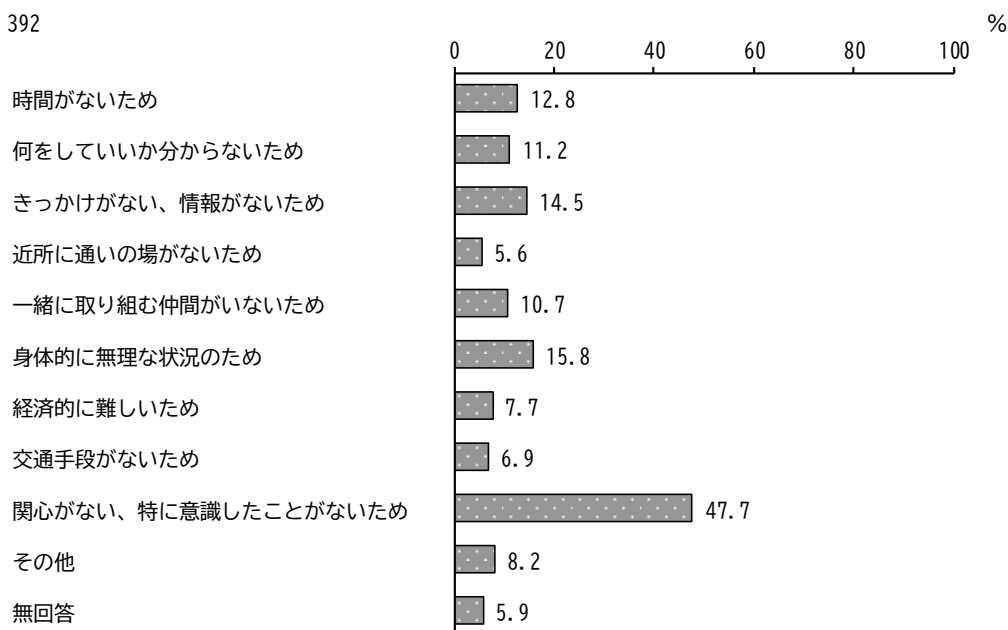
単位：％

区分	回答者数 (件)	ウェブサイト閲覧 (ホームページを 見るなど)	動画や音楽の視聴	家族等とのビデオ 通話	出前や買い物	講習受講やイベン ト参加	その他	無回答
全 体	80	76.3	63.8	42.5	43.8	41.3	12.5	5.0
65～74歳	49	77.6	73.5	40.8	46.9	34.7	12.2	4.1
75～84歳	26	80.8	53.8	50.0	38.5	57.7	11.5	3.8
85歳以上	5	40.0	20.0	20.0	40.0	20.0	20.0	20.0

問12-3 問12で「特にない」を回答された方におたずねします。その理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「関心がない、特に意識したことがないため」の割合が47.7%と最も高く、次いで「身体的に無理な状況のため」の割合が15.8%、「きっかけがない、情報がないため」の割合が14.5%となっています。

n = 392



【性別】

性別にみると、女性で「身体的に無理な状況のため」「交通手段がないため」の割合が高く、男性で「関心がない、特に意識したことがないため」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	時間がないため	何をしたいかわからないため	きつかけがない、情報がないため	近所に通いの場がないため	一緒に取り組む仲間がないため	身体的に無理な状況のため	経済的に難しいため	交通手段がないため	関心がない、特に意識したことがないため	その他	無回答
全 体	392	12.8	11.2	14.5	5.6	10.7	15.8	7.7	6.9	47.7	8.2	5.9
女性	193	15.0	10.9	14.0	7.3	9.8	24.4	7.3	10.4	40.4	9.3	4.7
男性	199	10.6	11.6	15.1	4.0	11.6	7.5	8.0	3.5	54.8	7.0	7.0

【年代別】

年代別にみると、年代が上がるほど「きつかけがない、情報がないため」「一緒に取り組む仲間がないため」「身体的に無理な状況のため」「交通手段がないため」の割合が高くなっています。また、65歳～74歳で「関心がない、特に意識したことがないため」の割合が半数を超えています。

単位：％

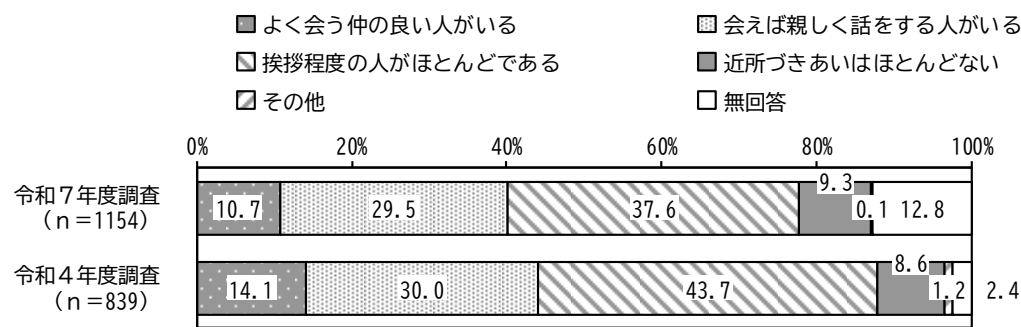
区分	回答者数 (件)	時間がないため	何をしたいかわからないため	きつかけがない、情報がないため	近所に通いの場がないため	一緒に取り組む仲間がないため	身体的に無理な状況のため	経済的に難しいため	交通手段がないため	関心がない、特に意識したことがないため	その他	無回答
全 体	392	12.8	11.2	14.5	5.6	10.7	15.8	7.7	6.9	47.7	8.2	5.9
65～74歳	152	15.8	10.5	11.8	2.6	6.6	9.9	7.2	4.6	55.3	10.5	3.3
75～84歳	185	11.4	11.9	16.2	7.6	13.0	16.8	9.7	8.1	44.9	7.6	6.5
85歳以上	55	9.1	10.9	16.4	7.3	14.5	29.1	1.8	9.1	36.4	3.6	10.9

4. 地域とのかかわり等について

問 13 近所づきあいをどの程度していますか。(あてはまるもの1つに○)

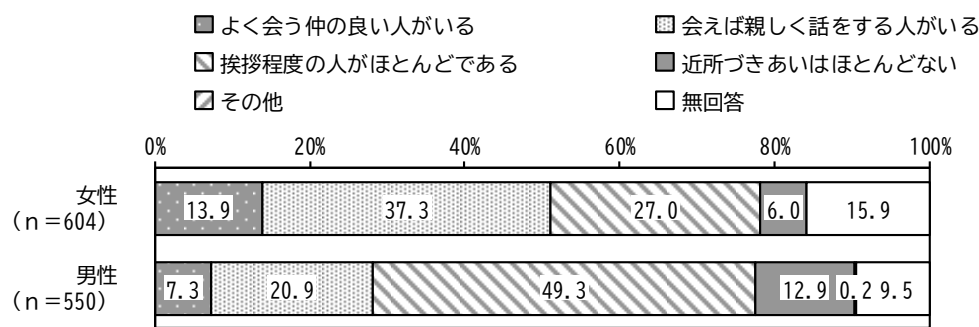
「挨拶程度の人ほとんどである」の割合が 37.6%と最も高く、次いで「会えば親しく話をする人がある」の割合が 29.5%、「よく会う仲の良い人がある」の割合が 10.7%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「挨拶程度の人ほとんどである」の割合が減少しています。



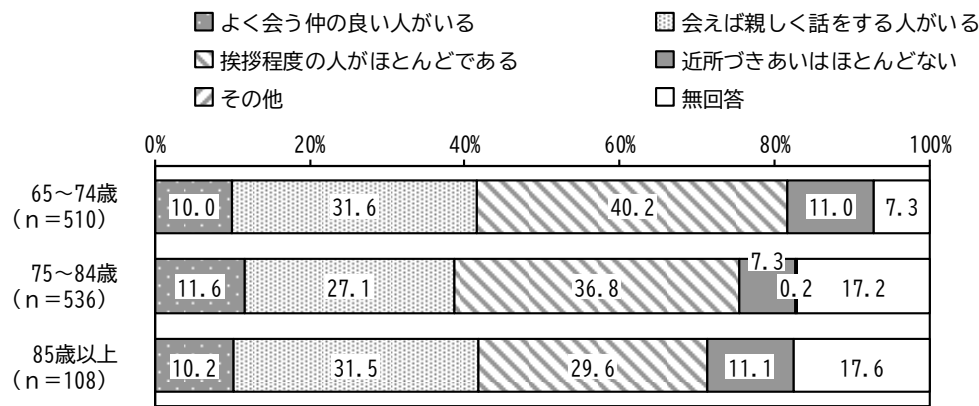
【性別】

性別にみると、女性で「よく会う仲の良い人がある」「会えば親しく話をする人がある」の割合が高く、男性で「挨拶程度の人ほとんどである」「近所づきあいはほとんどない」の割合が高くなっています。



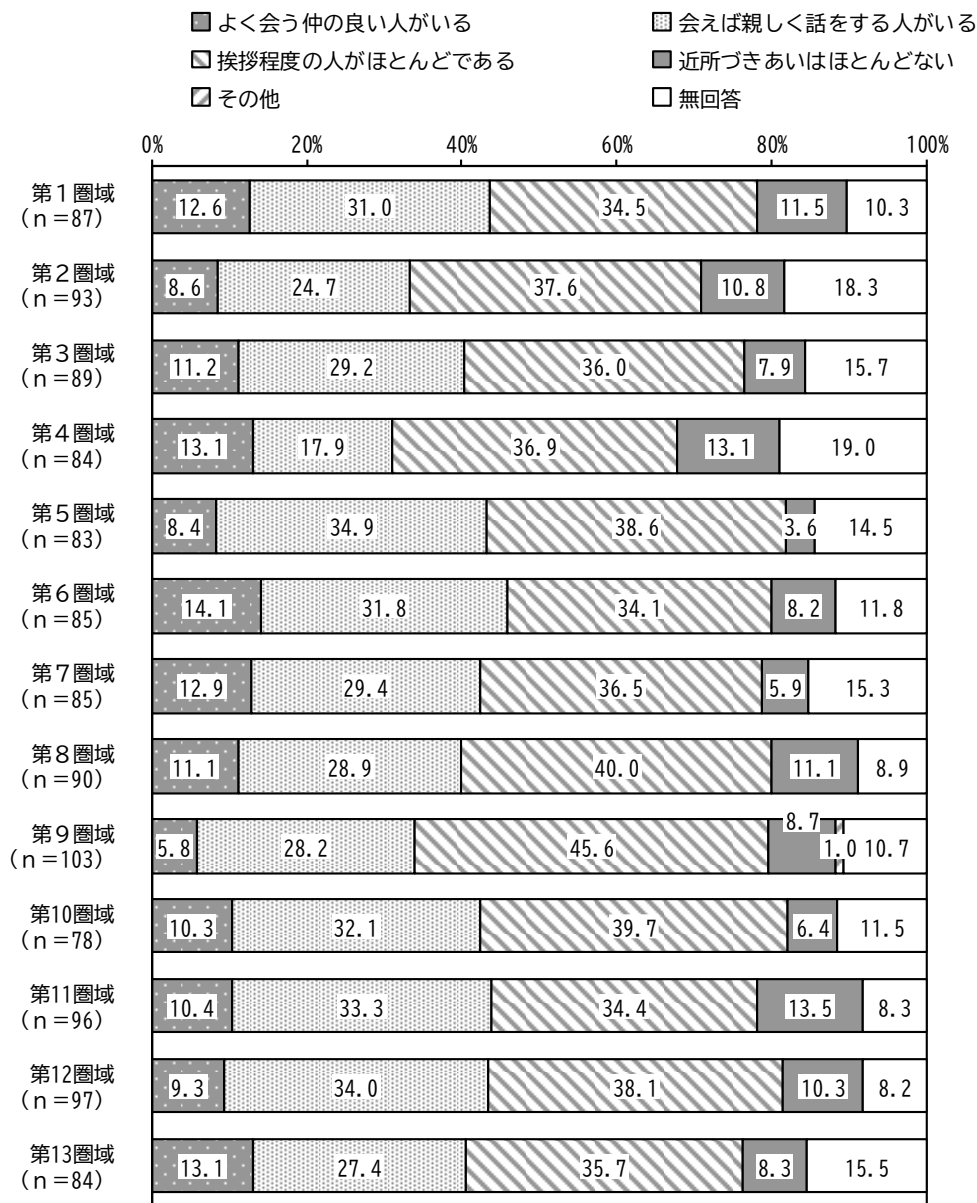
【年代別】

年代別にみると、年代が下がるほど「挨拶程度の人ほとんどである」の割合が高くなっています。



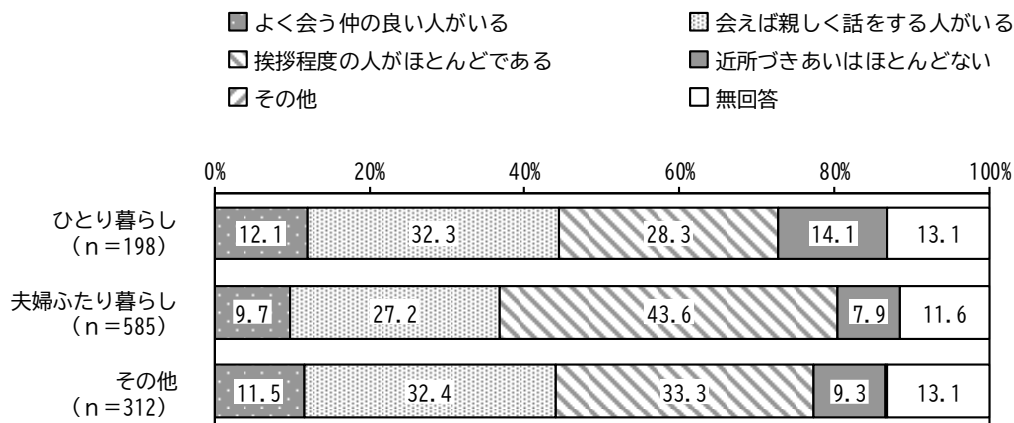
【圏域別】

圏域別にみると、第6圏域で「よく会う仲の良い人がある」「会えば親しく話をする人がある」、第9圏域で「挨拶程度の人ほとんどである」「近所づきあいはほとんどない」の割合が高くなっています。



【家族構成別】

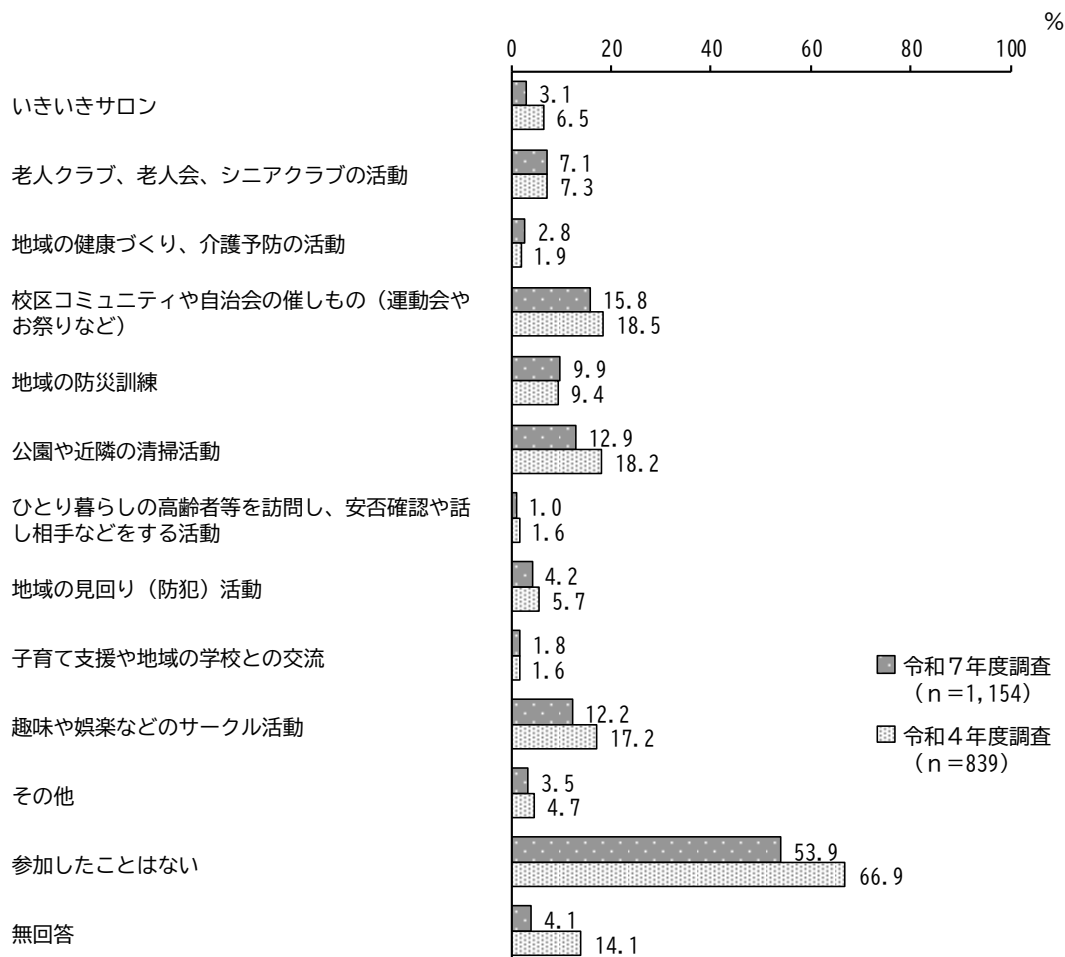
家族構成別にみると、ひとり暮らしで「よく会う仲の良い人がいる」「会えば親しく話をする人がいる」の割合が40%を超えている一方、「近所づきあいはほとんどない」も14.1%となっています。



問14 あなたが参加している地域の行事や活動について教えてください。 (あてはまるものすべてに○)

「校区コミュニティや自治会の催しもの（運動会やお祭りなど）」の割合が15.8%と最も高く、次いで「公園や近隣の清掃活動」の割合が12.9%、「趣味や娯楽などのサークル活動」の割合が12.2%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「参加したことはない」の割合が減少しています。



【性別】

性別にみると、女性で「趣味や娯楽などのサークル活動」の割合が高くなっています。

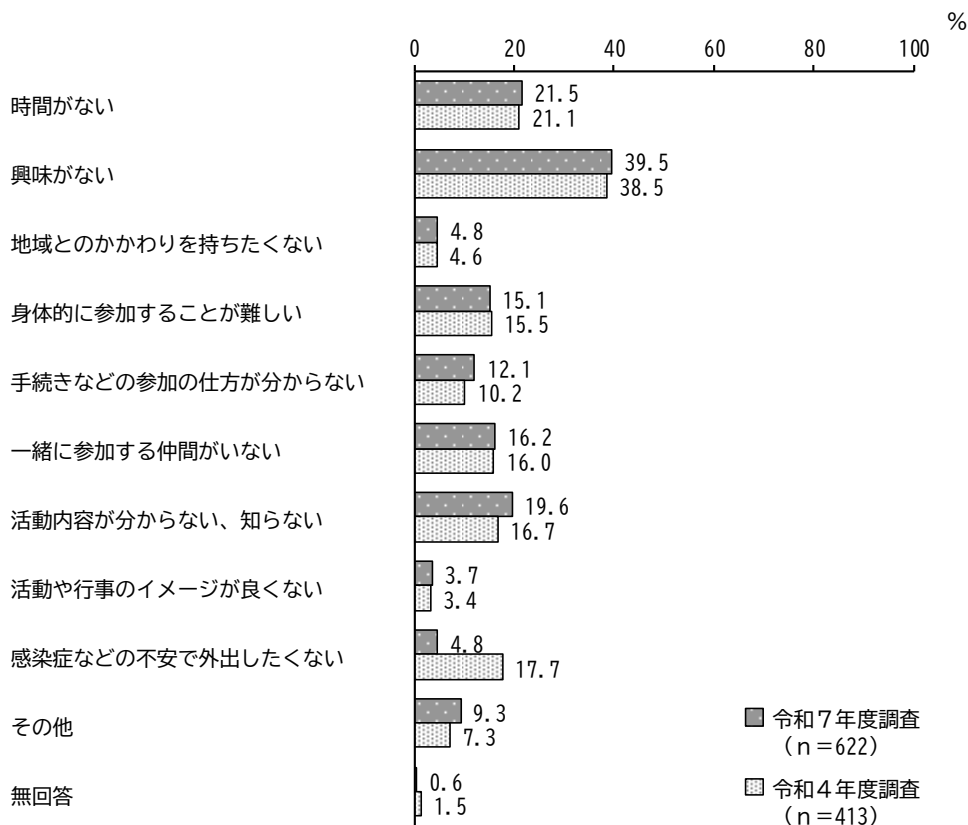
単位：％

区分	回答者数（件）	いきいきサロン	老人クラブ、老人会、シニアクラブの活動	地域の健康づくり、介護予防の活動	校区コミュニティや自治会の催しもの（運動会やお祭りなど）	地域の防災訓練	公園や近隣の清掃活動	ひとり暮らしの高齢者等を訪問し、安否確認や話し相手などをする活動	地域の見回り（防犯）活動	子育て支援や地域の学校との交流	趣味や娯楽などのサークル活動	その他	参加したことはない	無回答
全 体	1,154	3.1	7.1	2.8	15.8	9.9	12.9	1.0	4.2	1.8	12.2	3.5	53.9	4.1
女性	604	4.5	7.9	3.8	15.2	9.1	13.7	1.5	3.1	2.2	15.1	3.5	50.5	4.1
男性	550	1.6	6.2	1.6	16.4	10.7	12.0	0.4	5.3	1.5	9.1	3.5	57.6	4.0

問 14－１ 前問で「参加したことはない」と回答された方におたずねします。
その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「興味がない」の割合が 39.5％と最も高く、次いで「時間がない」の割合が 21.5％、「活動内容が分からない、知らない」の割合が 19.6％となっています。

令和４年度調査と比較すると、「感染症などの不安で外出したくない」の割合が減少しています。



【性別】

性別にみると、女性で「身体的に参加することが難しい」の割合が高く、男性で「興味がない」「活動内容が分からない、知らない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	時間がない	興味がない	地域とのかかわりを 持ちたくない	身体的に参加するこ とが難しい	手続きなどの参加の 仕方が分からない	一緒に参加する仲間 がいない	活動内容が分からな い、知らない	活動や行事のイメー ジが良くない	感染症などの不安で 外出したくない	その他	無回答
全 体	622	21.5	39.5	4.8	15.1	12.1	16.2	19.6	3.7	4.8	9.3	0.6
女性	305	20.0	34.4	5.9	17.7	11.1	15.7	16.4	4.6	6.6	9.8	1.0
男性	317	23.0	44.5	3.8	12.6	12.9	16.7	22.7	2.8	3.2	8.8	0.3

【年代別】

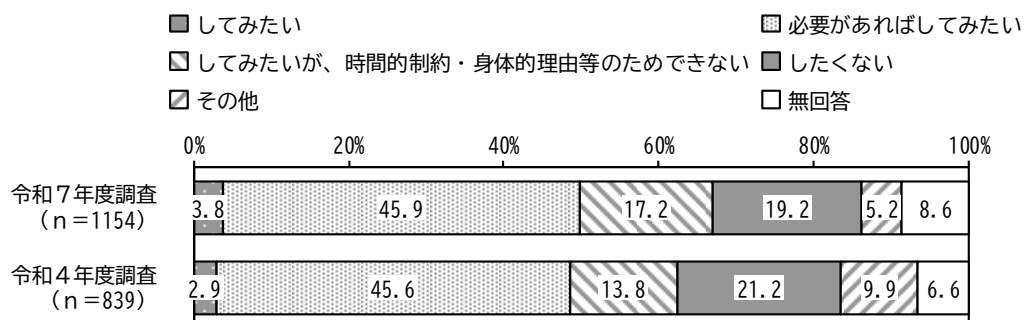
年代別にみると、65歳～74歳、75歳～84歳で「興味がない」、85歳以上で「身体的に参加することが難しい」の割合が最も高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	時間がない	興味がない	地域とのかかわりを 持ちたくない	身体的に参加するこ とが難しい	手続きなどの参加の 仕方が分からない	一緒に参加する仲間 がいない	活動内容が分からな い、知らない	活動や行事のイメー ジが良くない	感染症などの不安で 外出したくない	その他	無回答
全 体	622	21.5	39.5	4.8	15.1	12.1	16.2	19.6	3.7	4.8	9.3	0.6
65～74歳	299	28.4	40.5	6.0	7.4	11.4	17.1	23.4	5.0	3.7	9.4	0.0
75～84歳	258	17.8	39.9	3.9	17.8	14.3	16.7	16.3	3.1	5.0	9.7	0.8
85歳以上	65	4.6	33.8	3.1	40.0	6.2	10.8	15.4	0.0	9.2	7.7	3.1

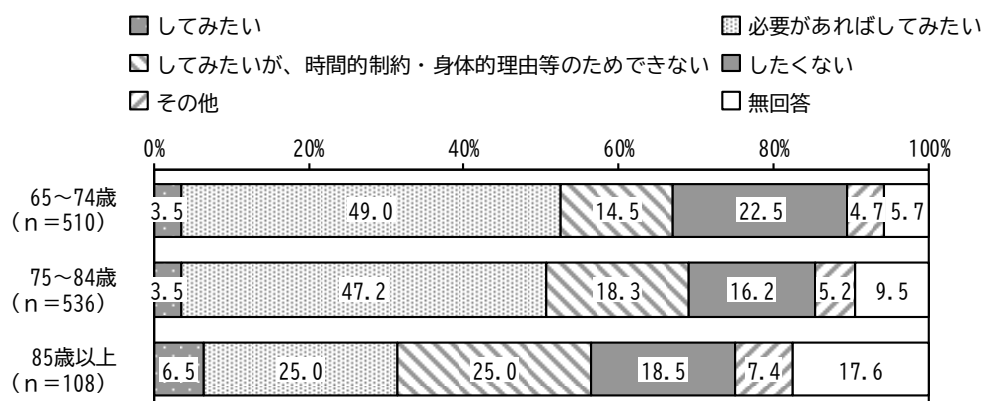
問 15 住みなれた地域で生活続けるために、今後高齢者同士の支え合いによる生活支援活動（掃除・洗濯・ごみ出し・見守り等）が重要になってくると考えられます。あなたは、この活動についてどのように思いますか。（あてはまるもの1つに○）

「必要があればしてみたい」の割合が 45.9%と最も高く、次いで「したくない」の割合が 19.2%、「してみたいが、時間的制約・身体的理由等のためできない」の割合が 17.2%となっています。令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【年代別】

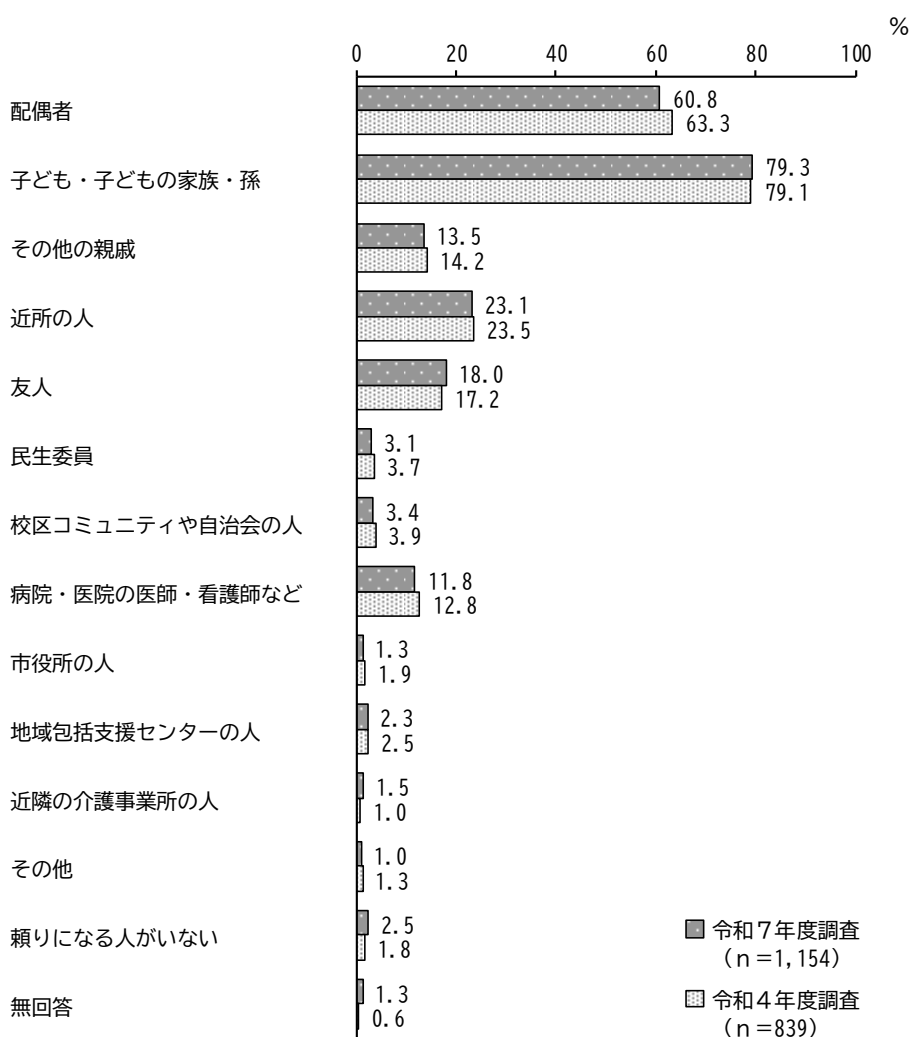
年代別にみると、65～74歳、75～84歳、85歳以上と年代が上がるほど「してみたいが、時間的制約・身体的理由等のためできない」の割合が高く、「必要があればしてみたい」の割合が低くなっています。



問16 緊急時など、何かあったときに頼りになる人はいますか。 (あてはまるものすべてに○)

「子ども・子どもの家族・孫」の割合が79.3%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が60.8%、「近所の人」の割合が23.1%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

性別にみると、女性で「近所の人」「友人」の割合が高く、男性で「配偶者」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	子ども・ 孫	子どもの家	その他の親戚	近所の人	友人	民生委員	校区コミュニティ や自治会の人	病院・医師の医師・ 看護師など	市役所の人	地域包括支援セン ターの人	近隣の介護事業所 の人	その他	頼りになる人がい ない	無回答
全 体	1,154	60.8	79.3	13.5	23.1	18.0	3.1	3.4	11.8	1.3	2.3	1.5	1.0	2.5	1.3	
女性	604	50.0	80.1	13.2	26.0	21.5	3.8	2.8	11.1	0.8	3.1	1.5	1.3	2.5	1.5	
男性	550	72.7	78.4	13.8	19.8	14.2	2.4	4.0	12.5	1.8	1.3	1.5	0.7	2.5	1.1	

【年代別】

年代別にみると、年代が下がるほど「配偶者」「その他の親戚」「友人」の割合が高く、「近所の人」「病院・医師・看護師など」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	子ども・ 孫	その他の親戚	近所の人	友人	民生委員	校区コミュニティ や自治会の人	病院・医師・ 看護師など	市役所の人	地域包括支援セン ターの人	近隣の介護事業所 の人	その他	頼りになる人がい ない	無回答
全 体	1,154	60.8	79.3	13.5	23.1	18.0	3.1	3.4	11.8	1.3	2.3	1.5	1.0	2.5	1.3
65～74歳	510	68.0	78.6	16.3	19.2	22.4	1.6	1.8	9.6	1.0	1.0	0.6	0.8	2.7	0.4
75～84歳	536	56.5	79.3	12.3	25.6	15.7	4.5	5.0	12.7	1.7	3.2	1.9	1.1	2.4	2.1
85歳以上	108	48.1	82.4	6.5	28.7	9.3	3.7	2.8	17.6	0.9	3.7	3.7	1.9	1.9	1.9

【圏域別】

圏域別にみると、第1圏域、第7圏域で「配偶者」、第11圏域、第13圏域で「子ども・子どもの家族・孫」、第1圏域、第8圏域、第13圏域で「近所の人」、第8圏域で「民生委員」、第7圏域で「病院・医院の医師・看護師など」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	子ども・子どもの家族・孫	その他の親戚	近所の人	友人	民生委員	校区コミュニティ や自治会の人	病院・医院の医師・ 看護師など	市役所の人	地域包括支援セン ターの人	近隣の介護事業所 の人	その他	頼りになる人がい ない	無回答
全 体	1,154	60.8	79.3	13.5	23.1	18.0	3.1	3.4	11.8	1.3	2.3	1.5	1.0	2.5	1.3
第1圏域	87	72.4	78.2	12.6	28.7	17.2	1.1	3.4	9.2	0.0	4.6	0.0	1.1	1.1	0.0
第2圏域	93	60.2	77.4	9.7	22.6	17.2	1.1	1.1	15.1	2.2	2.2	3.2	2.2	2.2	2.2
第3圏域	89	51.7	68.5	13.5	21.3	16.9	4.5	1.1	13.5	2.2	4.5	3.4	3.4	3.4	2.2
第4圏域	84	61.9	70.2	19.0	21.4	14.3	3.6	4.8	11.9	0.0	2.4	1.2	0.0	4.8	3.6
第5圏域	83	57.8	77.1	18.1	24.1	25.3	1.2	3.6	10.8	0.0	2.4	2.4	1.2	3.6	2.4
第6圏域	85	54.1	76.5	7.1	23.5	21.2	3.5	1.2	8.2	2.4	2.4	1.2	1.2	2.4	3.5
第7圏域	85	70.6	83.5	18.8	24.7	20.0	2.4	7.1	20.0	2.4	4.7	1.2	1.2	3.5	0.0
第8圏域	90	61.1	75.6	17.8	28.9	25.6	7.8	6.7	15.6	3.3	0.0	1.1	0.0	1.1	0.0
第9圏域	103	54.4	78.6	22.3	18.4	17.5	4.9	2.9	11.7	0.0	3.9	2.9	1.0	3.9	1.0
第10圏域	78	60.3	85.9	9.0	25.6	19.2	1.3	5.1	10.3	1.3	1.3	0.0	0.0	1.3	0.0
第11圏域	96	64.6	87.5	9.4	14.6	17.7	3.1	3.1	9.4	2.1	1.0	2.1	2.1	1.0	1.0
第12圏域	97	64.9	82.5	8.2	17.5	11.3	1.0	0.0	9.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0
第13圏域	84	57.1	89.3	9.5	31.0	11.9	4.8	4.8	8.3	1.2	0.0	0.0	0.0	3.6	1.2

【家族構成別】

家族構成別にみると、夫婦ふたり暮らしで「配偶者」、その他の世帯で「子ども・子どもの家族・孫」の割合が高くなっています。また、ひとり暮らしでは、他の家族構成と比較して、「民生委員」「頼りになる人がいない」の割合が高くなっています。

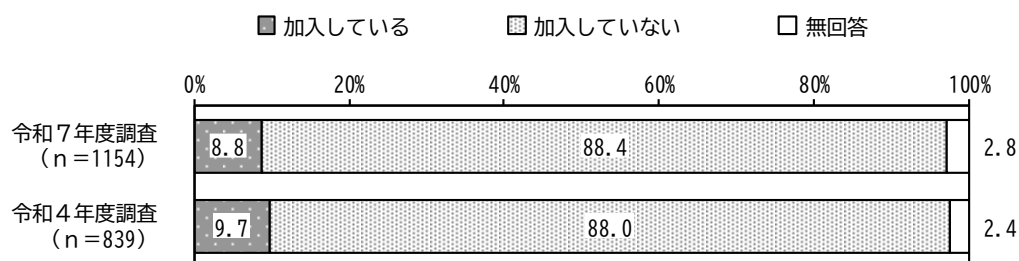
単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	子ども・子どもの家族・孫	その他の親戚	近所の人	友人	民生委員	校区コミュニティ や自治会の人
全 体	1,154	60.8	79.3	13.5	23.1	18.0	3.1	3.4
ひとり暮らし	198	2.5	63.1	19.7	24.7	20.2	7.1	2.5
夫婦ふたり暮らし	585	86.8	80.7	11.8	24.3	18.8	2.6	3.6
その他	312	53.2	87.5	13.8	20.5	15.7	1.9	3.8

区分	病院・医院の医師・ 看護師など	市役所の人	地域包括支援セン ターの人	近隣の介護事業所 の人	その他	頼りになる人がい ない	無回答
全 体	11.8	1.3	2.3	1.5	1.0	2.5	1.3
ひとり暮らし	11.6	2.5	1.5	1.0	2.0	7.6	2.0
夫婦ふたり暮らし	12.8	0.7	2.4	2.1	0.5	1.0	0.9
その他	11.2	1.6	2.6	0.6	1.0	1.6	1.0

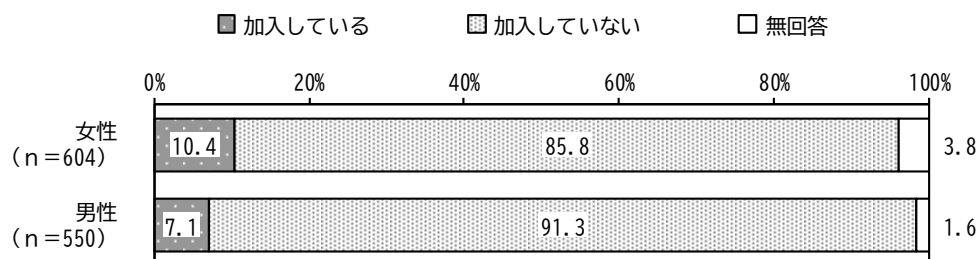
問 17 老人クラブ・老人会・シニアクラブに加入されていますか。(いずれかに○)

「加入している」の割合が 8.8%、「加入していない」の割合が 88.4%となっています。
令和 4 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



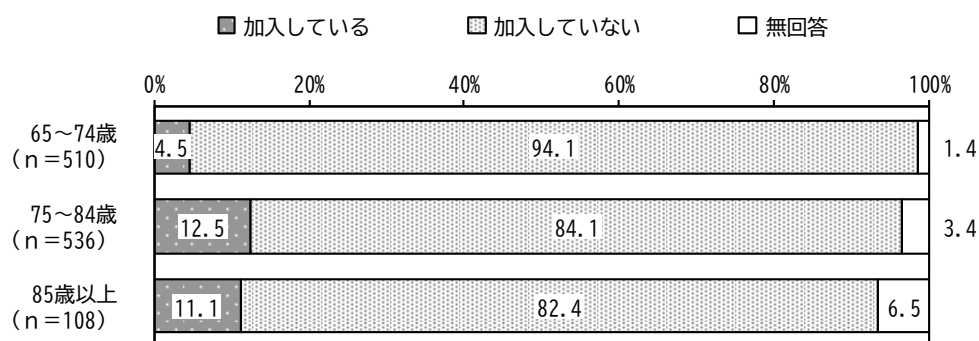
【性別】

性別にみると、男性で「加入していない」の割合が高くなっています。



【年代別】

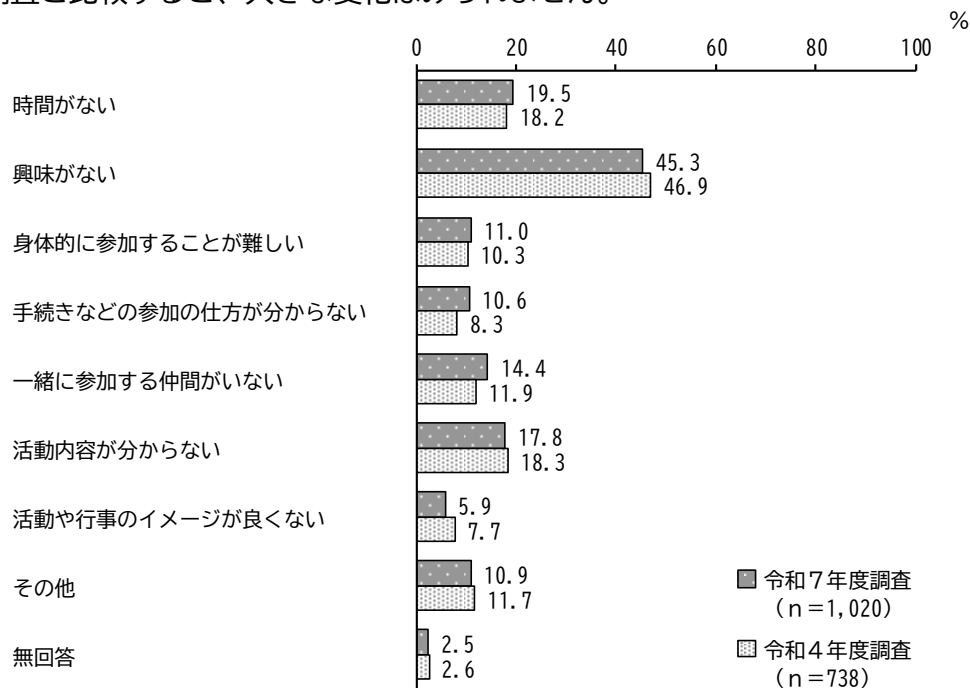
年代別にみると、年代が下がるほど「加入していない」の割合が高くなっています。



問 17-1 前問で「加入していない」と回答された方におたずねします。
その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「興味がない」の割合が 45.3%と最も高く、次いで「時間がない」の割合が 19.5%、「活動内容が分からない」の割合が 17.8%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

性別にみると、男性で「興味がない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	時間がない	興味がない	身体的に参加することが難しい	手続きなどの参加の仕方が分からない	一緒に参加する仲間がいない	活動内容が分からない	活動や行事のイメージが良くない	その他	無回答
全 体	1,020	19.5	45.3	11.0	10.6	14.4	17.8	5.9	10.9	2.5
女性	518	19.3	40.3	11.8	9.8	14.5	17.2	6.8	11.0	3.7
男性	502	19.7	50.4	10.2	11.4	14.3	18.5	5.0	10.8	1.4

【年代別】

年代別にみると、年代が上がるほど「身体的に参加することが難しい」「一緒に参加する仲間がいない」の割合が高く、「時間がない」「興味がない」の割合が低くなっています。

単位：％

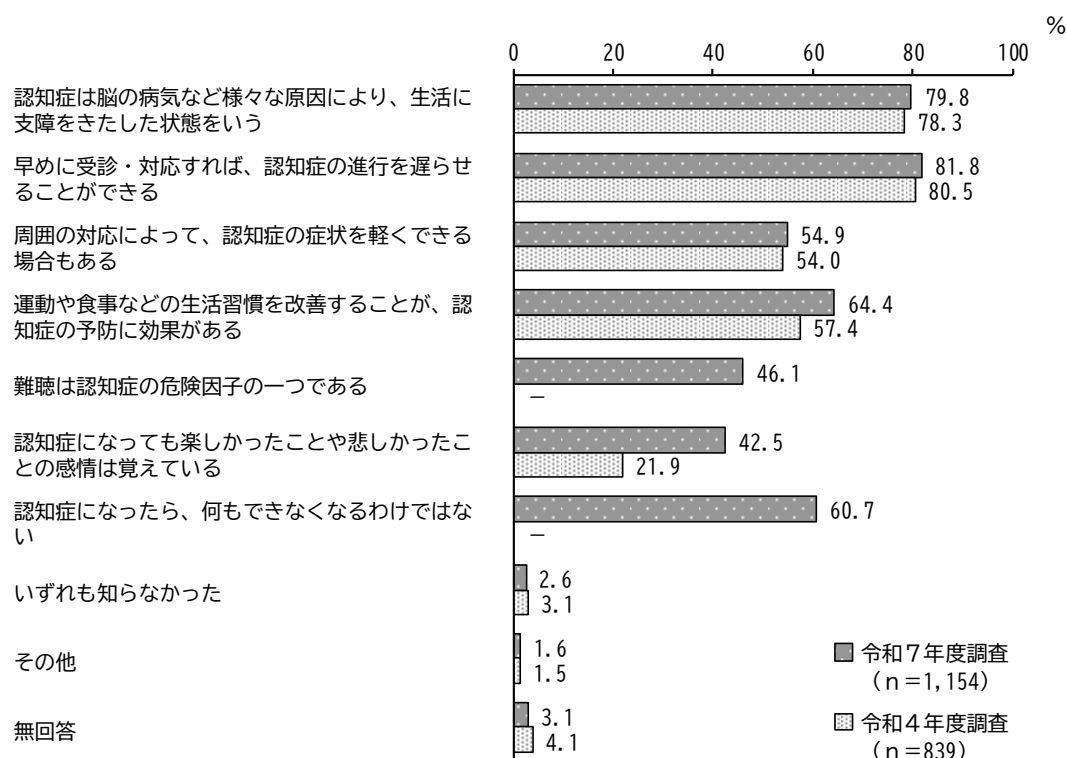
区分	回答者数 (件)	時間がない	興味がない	身体的に参加することが難しい	手続きなどの参加の仕方が分からない	一緒に参加する仲間がいない	活動内容が分からない	活動や行事のイメージが良くない	その他	無回答
全 体	1,020	19.5	45.3	11.0	10.6	14.4	17.8	5.9	10.9	2.5
65～74歳	480	24.6	49.8	6.3	9.6	11.0	18.1	6.7	9.0	1.5
75～84歳	451	16.6	43.0	11.3	11.5	16.9	18.0	5.5	12.9	3.1
85歳以上	89	6.7	32.6	34.8	11.2	20.2	15.7	3.4	11.2	5.6

5. 認知症について

問 18 認知症には以下のような症状等がありますが、知っていることはありましたか。
(あてはまるものすべてに○)

「早めに受診・対応すれば、認知症の進行を遅らせることができる」の割合が 81.8%と最も高く、次いで「認知症は脳の病気など様々な原因により、生活に支障をきたした状態をいう」の割合が 79.8%、「運動や食事などの生活習慣を改善することが、認知症の予防に効果がある」の割合が 64.4%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「運動や食事などの生活習慣を改善することが、認知症の予防に効果がある」「認知症になっても楽しかったことや悲しかったことの感情は覚えている」の割合が増加しています。



※令和4年度調査では、「難聴は認知症の危険因子の一つである」、「認知症になったら、何もできなくなるわけではない」の選択肢はありませんでした。

【性別】

性別にみると、女性で「早めに受診・対応すれば、認知症の進行を遅らせることができる」「周囲の対応によって、認知症の症状を軽くできる場合もある」「難聴は認知症の危険因子の一つである」「認知症になっても楽しかったことや悲しかったことの感情は覚えている」「認知症になったら、何もできなくなるわけではない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	認知症は脳の病気など様々 な原因により、生活に支障 をきたした状態をいう	早めに受診・対応すれば、認 知症の進行を遅らせること ができる	周囲の対応によって、認知 症の症状を軽くできる場合 もある	運動や食事などの生活習慣 を改善することが、認知症 の予防に効果がある	難聴は認知症の危険因子の 一つである	認知症になっても楽しかつ たことや悲しかったことの 感情は覚えている	認知症になったら、何もで きなくなるわけではない	いずれも知らなかった	その他	無回答
全 体	1,154	79.8	81.8	54.9	64.4	46.1	42.5	60.7	2.6	1.6	3.1
女性	604	81.5	87.3	62.1	66.6	52.0	52.0	68.4	1.0	1.7	2.5
男性	550	78.0	75.8	47.1	62.0	39.6	32.0	52.2	4.4	1.5	3.8

【年代別】

すべての年代で「早めに受診・対応すれば、認知症の進行を遅らせることができる」の割合が最も高くなっています。年代が上がるほど「周囲の対応によって、認知症の症状を軽くできる場合もある」「運動や食事などの生活習慣を改善することが、認知症の予防に効果がある」の割合が低くなっています。

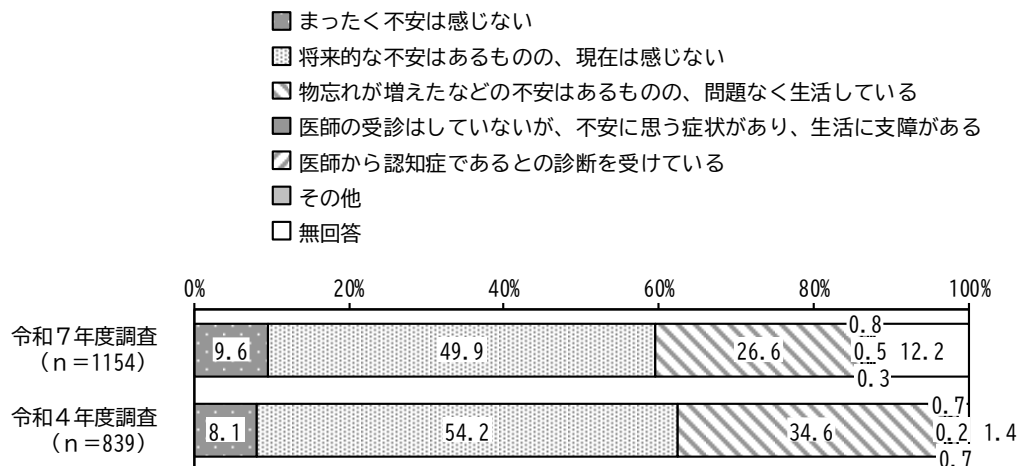
単位：％

区分	回答者数 (件)	認知症は脳の病気など様々 な原因により、生活に支障 をきたした状態をいう	早めに受診・対応すれば、認 知症の進行を遅らせること ができる	周囲の対応によって、認知 症の症状を軽くできる場合 もある	運動や食事などの生活習慣 を改善することが、認知症 の予防に効果がある	難聴は認知症の危険因子の 一つである	認知症になっても楽しかつ たことや悲しかったことの 感情は覚えている	認知症になったら、何もで きなくなるわけではない	いずれも知らなかった	その他	無回答
全 体	1,154	79.8	81.8	54.9	64.4	46.1	42.5	60.7	2.6	1.6	3.1
65～74歳	510	82.9	86.5	59.2	68.6	47.5	45.9	66.1	2.5	1.2	1.8
75～84歳	536	79.1	79.7	54.1	63.1	44.4	40.5	57.5	2.4	1.9	3.7
85歳以上	108	68.5	70.4	38.9	50.9	48.1	36.1	50.9	3.7	1.9	6.5

問 19 普段の生活で、認知症に関して不安を感じたことがありますか。
(あてはまるもの1つに○)

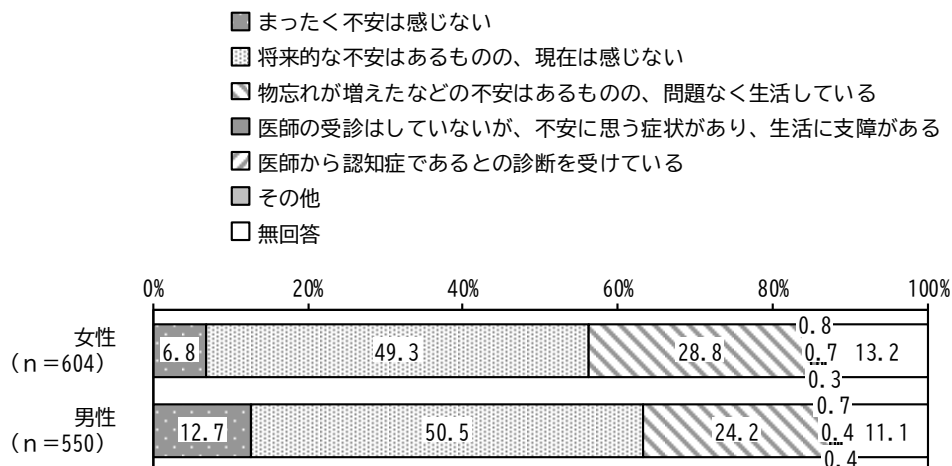
「将来的な不安はあるものの、現在は感じない」の割合が 49.9%と最も高く、次いで「物忘れが増えたなどの不安はあるものの、問題なく生活している」の割合が 26.6%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「物忘れが増えたなどの不安はあるものの、問題なく生活している」の割合が減少しています。



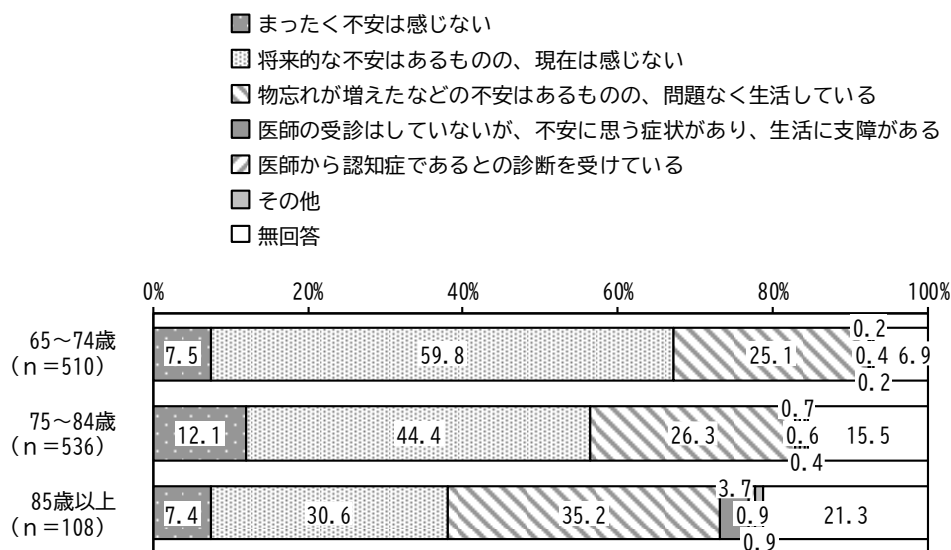
【性別】

性別にみると、男性で「まったく不安は感じない」の割合が高くなっています。



【年代別】

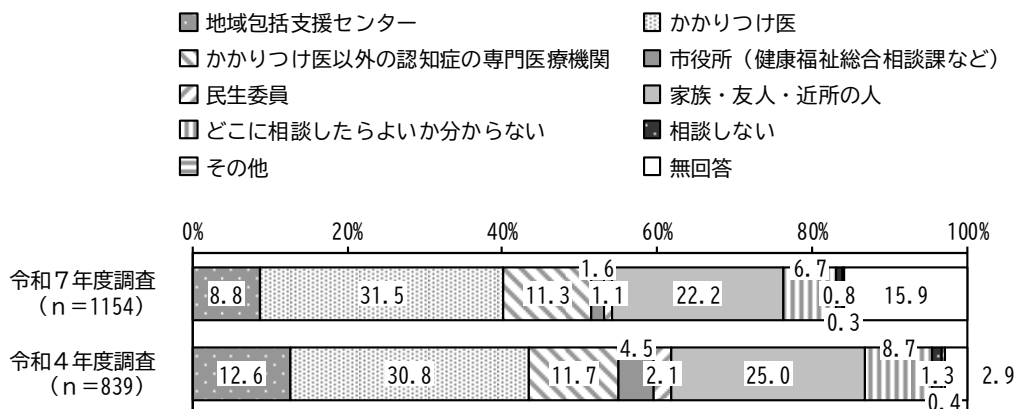
年代別にみると、年代が上がるほど「物忘れが増えたなどの不安はあるものの、問題なく生活している」の割合が高く、「将来的な不安はあるものの、現在は感じない」の割合が低くなっています。



問 20 あなたやまわりの方に認知症の疑いが見られたとき、まず初めにどこに相談しようと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

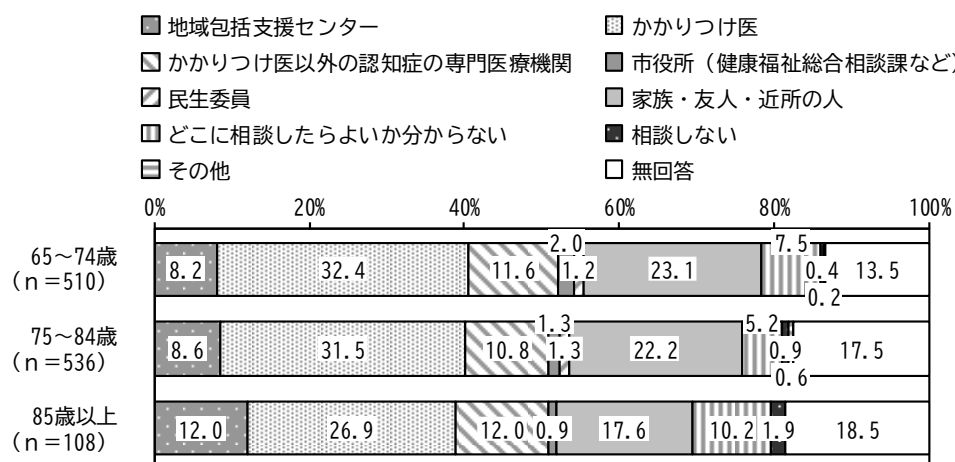
「かかりつけ医」の割合が 31.5%と最も高く、次いで「家族・友人・近所の人」の割合が 22.2%、「かかりつけ医以外の認知症の専門医療機関」の割合が 11.3%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【年代別】

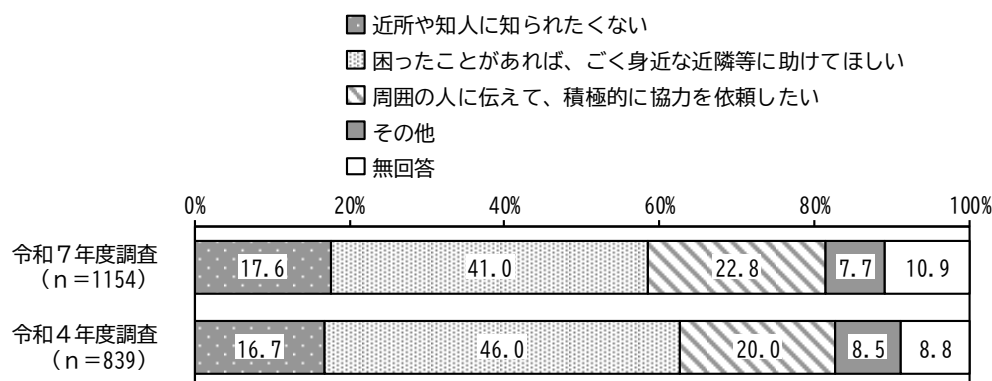
年代別にみると、年代が下がるほど「かかりつけ医」「家族・友人・近所の人」の割合が高くなっています。



問 21 あなたや家族が認知症になった（わかった）とき、近隣の方との関係性はどうしたいと思いますか。（あてはまるもの1つに○）

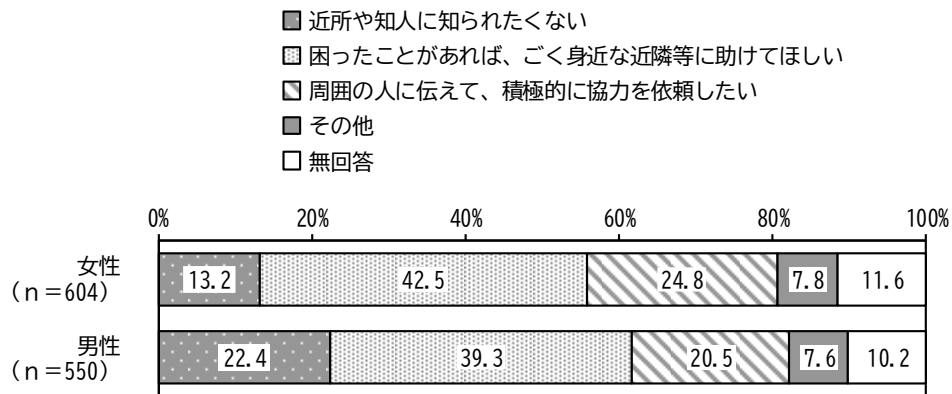
「近所や知人に知られたくない」の割合が17.6%、「困ったことがあれば、ごく身近な近隣等に助けてほしい」の割合が41.0%、「周囲の人に伝えて、積極的に協力を依頼したい」の割合が22.8%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



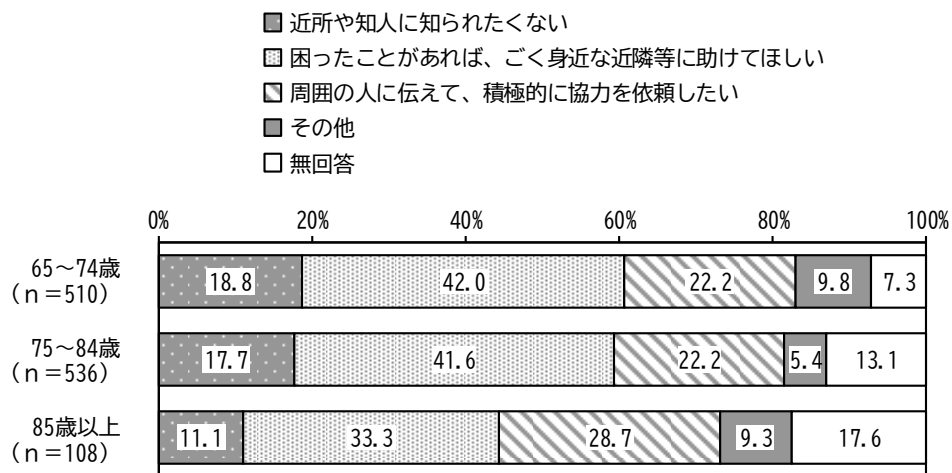
【性別】

性別にみると、男性で「近所や知人に知られたくない」の割合が高くなっています。



【年代別】

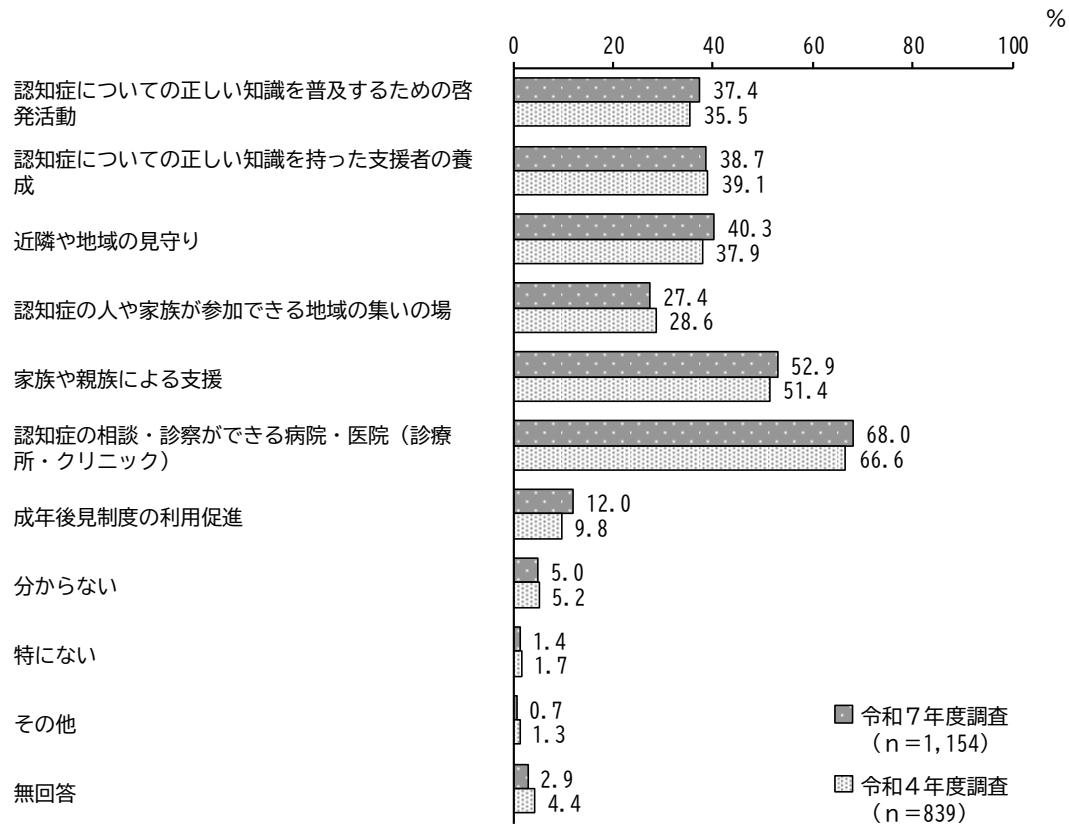
年代別にみると、年代が下がるほど「近所や知人に知られたくない」の割合が高くなっています。



問 22 認知症の人が地域で暮らすためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

「認知症の相談・診察ができる病院・医院（診療所・クリニック）」の割合が 68.0%と最も高く、次いで「家族や親族による支援」の割合が 52.9%、「近隣や地域の見守り」の割合が 40.3%となっています。

令和 4 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

性別にみると、女性で「近隣や地域の見守り」「認知症の人や家族が参加できる地域の集いの場」「家族や親族による支援」の割合が高く、男性で「認知症についての正しい知識を普及するための啓発活動」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	認知症についての正しい知識を普及するための啓発活動	認知症についての正しい知識を持った支援者の養成	近隣や地域の見守り	認知症の人や家族が参加できる地域の集いの場	家族や親族による支援	認知症の相談・診察ができる病院・医院（診療所・クリニック）	成年後見制度の利用促進	分からない	特にない	その他	無回答
全 体	1,154	37.4	38.7	40.3	27.4	52.9	68.0	12.0	5.0	1.4	0.7	2.9
女性	604	34.3	39.1	46.4	32.6	57.1	70.0	13.1	3.8	0.5	0.5	3.0
男性	550	40.9	38.4	33.6	21.6	48.2	65.8	10.9	6.4	2.4	0.9	2.7

【年代別】

すべての年代で「認知症の相談・診察ができる病院・医院（診療所・クリニック）」の割合が最も高くなっています。また、年代が下がるほど、すべての項目で割合が高くなっています。

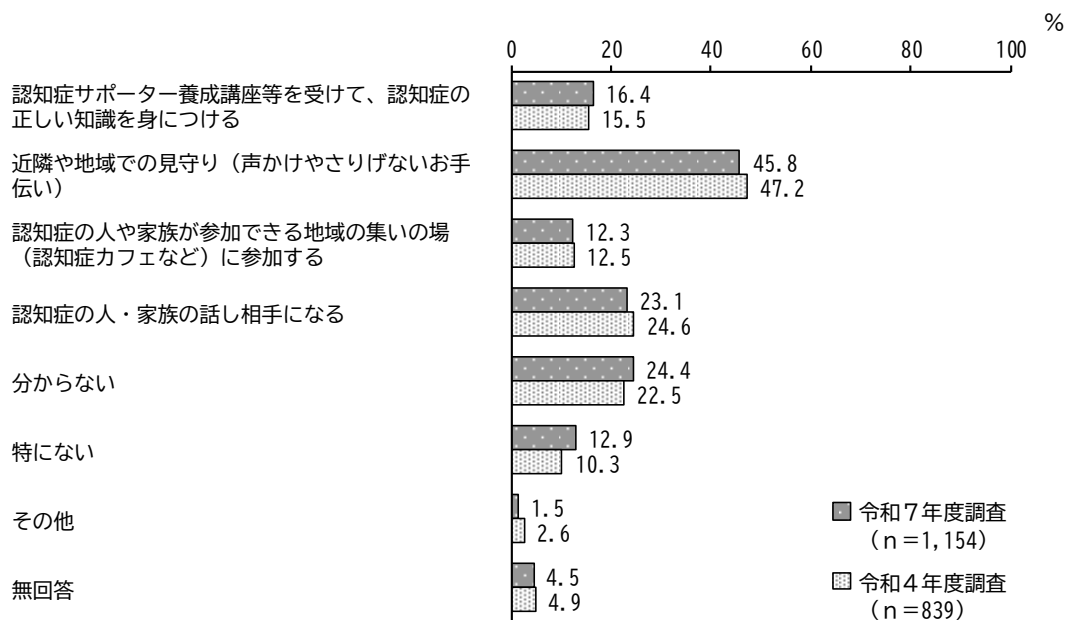
単位：％

区分	回答者数（件）	認知症についての正しい知識を普及するための啓発活動	認知症についての正しい知識を持った支援者の養成	近隣や地域の見守り	認知症の人や家族が参加できる地域の集いの場	家族や親族による支援	認知症の相談・診察ができる病院・医院（診療所・クリニック）	成年後見制度の利用促進	分からない	特にない	その他	無回答
全 体	1,154	37.4	38.7	40.3	27.4	52.9	68.0	12.0	5.0	1.4	0.7	2.9
65～74歳	510	42.2	44.1	44.5	31.2	54.9	73.9	15.3	3.3	1.2	0.6	1.8
75～84歳	536	34.7	34.7	38.6	26.1	52.1	64.2	10.3	6.0	1.7	0.7	4.1
85歳以上	108	28.7	33.3	28.7	15.7	47.2	59.3	5.6	8.3	0.9	0.9	1.9

問 23 認知症の人が地域で暮らすために、あなたができそうなことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

「近隣や地域での見守り（声かけやさりげないお手伝い）」の割合が45.8%と最も高く、次いで「分からない」が24.4%、「認知症の人・家族の話し相手になる」の割合が23.1%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

性別にみると、女性で「近隣や地域での見守り（声かけやさりげないお手伝い）」「認知症の人・家族の話し相手になる」、男性で「分からない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	認知症サポーター養成講座等を受けて、認知症の正しい知識を身につける	近隣や地域での見守り（声かけやさりげないお手伝い）	認知症の人や家族が参加できる地域の集いの場（認知症カフェなど）に参加する	認知症の人・家族の話し相手になる	分からない	特にない	その他	無回答
全 体	1,154	16.4	45.8	12.3	23.1	24.4	12.9	1.5	4.5
女性	604	17.1	51.3	14.4	28.3	19.4	10.4	2.0	5.1
男性	550	15.6	39.6	10.0	17.5	30.0	15.6	0.9	3.8

【年代別】

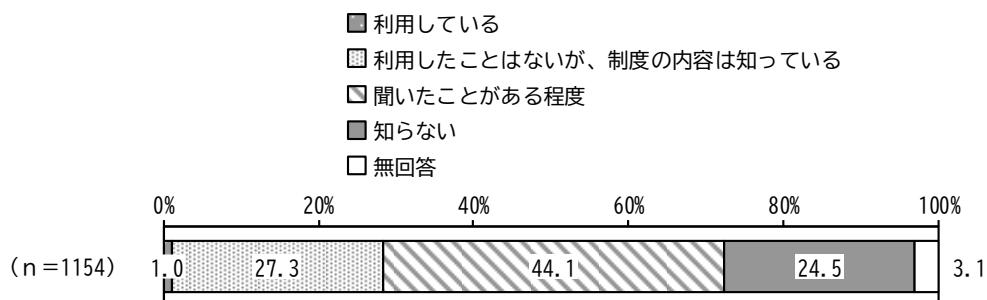
年代別にみると、年代が下がるほど「認知症サポーター養成講座等を受けて、認知症の正しい知識を身につける」「近隣や地域での見守り（声かけやさりげないお手伝い）」の割合が高く、「認知症の人・家族の話し相手になる」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	認知症サポーター養成講座等を受けて、認知症の正しい知識を身につける	近隣や地域での見守り（声かけやさりげないお手伝い）	認知症の人や家族が参加できる地域の集いの場（認知症カフェなど）に参加する	認知症の人・家族の話し相手になる	分からない	特にない	その他	無回答
全 体	1,154	16.4	45.8	12.3	23.1	24.4	12.9	1.5	4.5
65～74歳	510	17.8	50.4	13.1	20.4	25.9	11.2	1.6	2.5
75～84歳	536	16.2	43.7	13.1	25.2	22.0	14.7	1.3	5.2
85歳以上	108	10.2	34.3	4.6	25.9	29.6	12.0	1.9	10.2

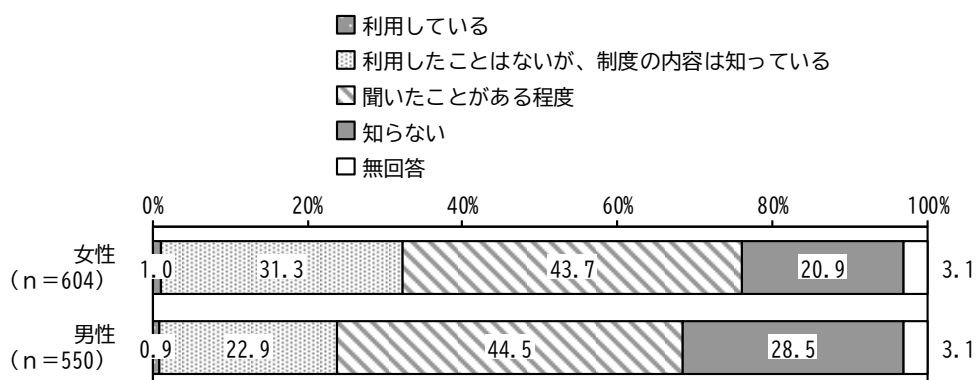
問 24 成年後見制度を知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

「聞いたことがある程度」の割合が 44.1%と最も高く、次いで「利用したことはないが、制度の内容は知っている」の割合が 27.3%、「知らない」の割合が 24.5%となっています。



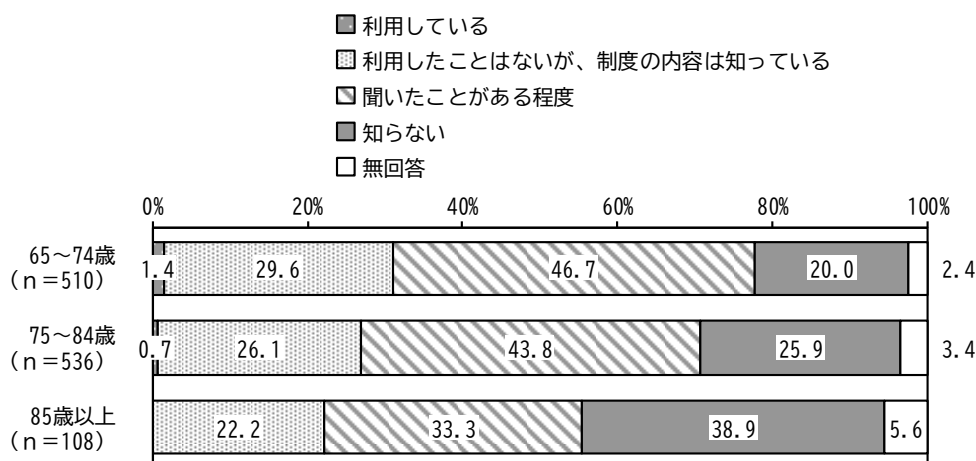
【性別】

性別にみると、女性で「利用したことはないが、制度の内容は知っている」の割合が高く、男性で「知らない」の割合が高くなっています。



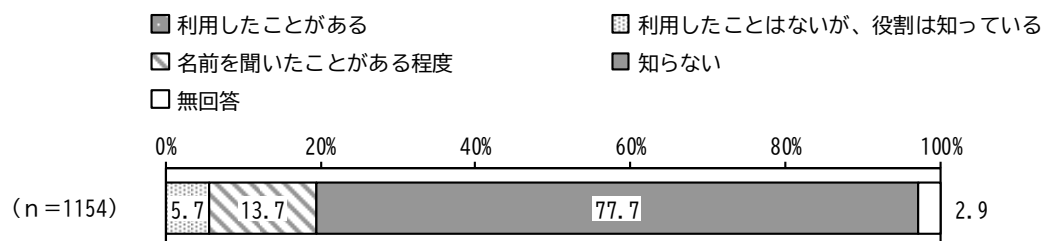
【年代別】

年代別にみると、年代が下がるほど「利用したことはないが、制度の内容は知っている」「聞いたことがある程度」の割合が高く、「知らない」の割合が低くなっています。



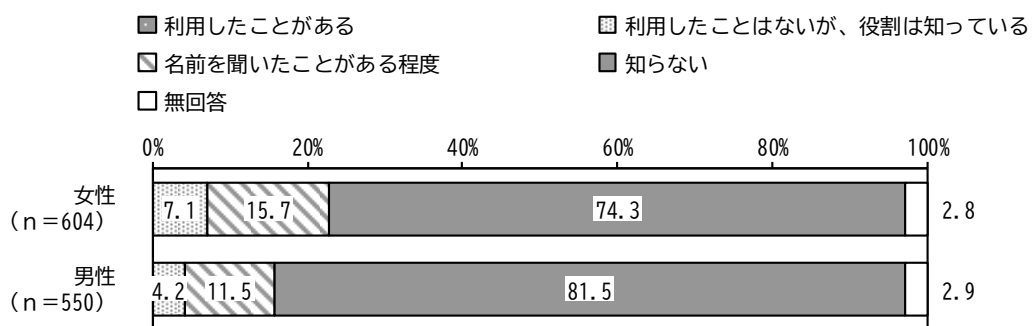
問 25 「ひらかた権利擁護成年後見センター（こうけん ひらかた）」を知っていますか。
（あてはまるもの1つに○）

「知らない」の割合が77.7%と最も高く、次いで「名前を聞いたことがある程度」の割合が13.7%となっています。



【性別】

性別にみると、男性で「知らない」の割合が高くなっています。

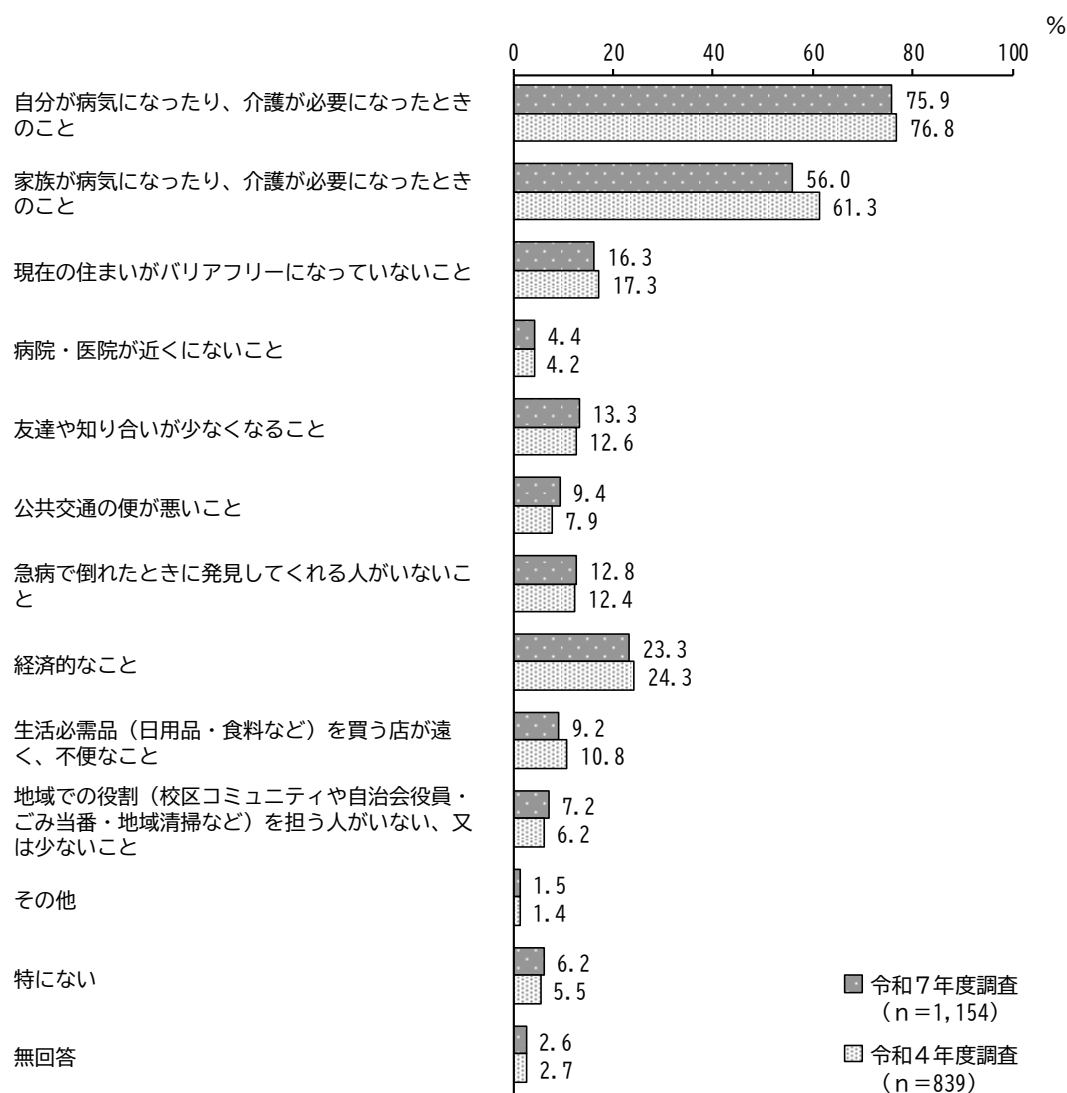


6. 今後の生活について

問 26 今後の生活の中で不安に思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「自分が病気になったり、介護が必要になったときのこと」の割合が 75.9%と最も高く、次いで「家族が病気になったり、介護が必要になったときのこと」の割合が 56.0%、「経済的なこと」の割合が 23.3%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「家族が病気になったり、介護が必要になったときのこと」の割合が減少しています。



【性別】

性別にみると、男性で「家族が病気になったり、介護が必要になったときのこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	自分が病気になったり、介護が必要になったときのこと	家族が病気になったり、介護が必要になったときのこと	現在の住まいがバリアフリーになっていないこと	病院・医院が近くにないこと	友達や知り合いが少なくなること	公共交通の便が悪いこと
全 体	1,154	75.9	56.0	16.3	4.4	13.3	9.4
女性	604	77.5	48.8	16.9	5.3	14.1	11.8
男性	550	74.2	63.8	15.6	3.5	12.4	6.9

区分	急病で倒れたときに発見してくれる人がいないこと	経済的なこと	生活必需品（日用品・食料など）を買う店が遠く、不便なこと	地域での役割（校区・コミュニティや自治会役員・ごみ当番・地域清掃など）を担う人がいない、又は少ないこと	その他	特にない	無回答
全 体	12.8	23.3	9.2	7.2	1.5	6.2	2.6
女性	14.1	22.7	9.9	8.4	1.0	5.8	2.2
男性	11.5	24.0	8.4	5.8	2.0	6.5	3.1

【年代別】

年代別にみると、年代が上がるほど「現在の住まいがバリアフリーになっていないこと」「友達や知り合いが少なくなること」「生活必需品（日用品・食料など）を買う店が遠く、不便なこと」の割合が高く、「家族が病気になったり、介護が必要になったときのこと」「経済的なこと」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	自分が病気になったり、介護が必要になったときのこと	家族が病気になったり、介護が必要になったときのこと	現在の住まいがバリアフリーになっていないこと	病院・医院が近くにないこと	友達や知り合いが少なくなること	公共交通の便が悪いこと
全 体	1,154	75.9	56.0	16.3	4.4	13.3	9.4
65～74歳	510	78.0	61.4	15.3	3.7	11.6	9.0
75～84歳	536	73.7	51.9	16.6	5.2	14.4	9.7
85歳以上	108	76.9	50.9	19.4	3.7	15.7	10.2

区分	急病で倒れたときに発見してくれる人がいないこと	経済的なこと	生活必需品（日用品・食料など）を買う店が遠く、不便なこと	地域での役割（校区・コミュニティや自治会役員・ごみ当番・地域清掃など）を担う人がいない、又は少ないこと	その他	特にない	無回答
全 体	12.8	23.3	9.2	7.2	1.5	6.2	2.6
65～74歳	12.0	25.7	5.9	6.9	1.4	5.7	1.6
75～84歳	13.8	22.8	10.6	7.6	1.5	6.7	3.5
85歳以上	12.0	14.8	17.6	6.5	1.9	5.6	2.8

【家族構成別】

家族構成別にみると、夫婦ふたり暮らしで「家族が病気になったり、介護が必要になったときのこと」、ひとり暮らしで「急病で倒れたときに発見してくれる人がいないこと」の割合が高くなっています。

単位：％

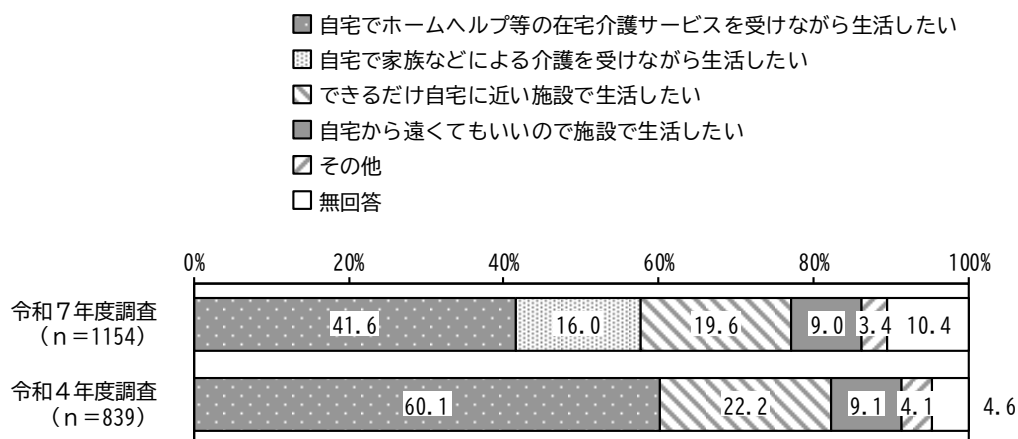
区分	回答者数（件）	自分が病気になったり、介護が必要になったときのこと	家族が病気になったり、介護が必要になったときのこと	現在の住まいがバリアフリーになっていないこと	病院・医院が近くにないこと	友達や知り合いが少なくなること	公共交通の便が悪いこと
全 体	1,154	75.9	56.0	16.3	4.4	13.3	9.4
ひとり暮らし	198	74.2	6.1	11.1	6.1	17.7	11.1
夫婦ふたり暮らし	585	79.5	75.7	16.6	4.3	11.8	9.7
その他	312	71.5	54.8	18.6	3.8	13.8	8.7

区分	急病で倒れたときに発見してくれる人がいないこと	経済的なこと	生活必需品（日用品・食料など）を買う店が遠く、不便なこと	地域での役割（校区・コミュニティや自治会役員・ごみ当番・地域清掃など）を担う人がいない、又は少ないこと	その他	特にない	無回答
全 体	12.8	23.3	9.2	7.2	1.5	6.2	2.6
ひとり暮らし	50.0	26.8	12.1	5.1	1.5	5.1	3.0
夫婦ふたり暮らし	5.1	21.9	8.5	8.5	1.4	4.3	2.6
その他	3.8	24.0	9.3	6.1	1.6	10.3	1.6

問 27 あなたは、介護が必要となった場合、どのように生活したいと考えますか。
(あてはまるもの1つに○)

「自宅でホームヘルプ等の在宅介護サービスを受けながら生活したい」の割合が41.6%と最も高く、次いで「できるだけ自宅に近い施設で生活したい」の割合が19.6%、「自宅で家族などによる介護を受けながら生活したい」の割合が16.0%となっています。

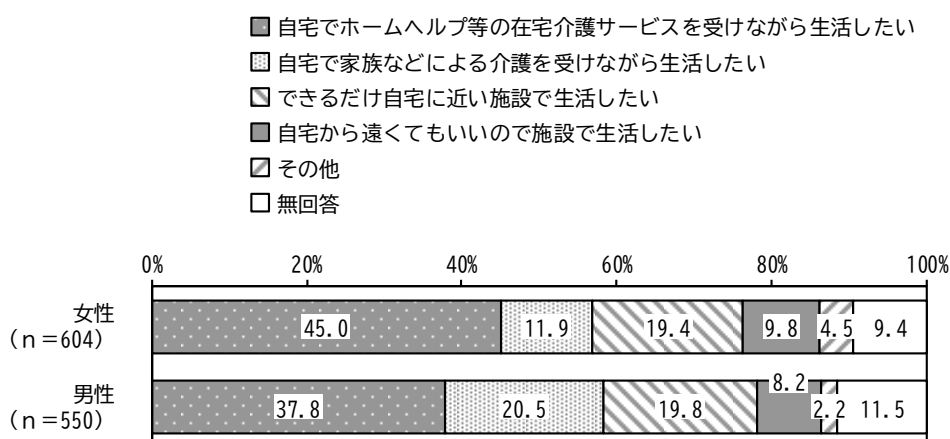
令和4年度調査と比較すると、「自宅で生活したい」と「施設で生活したい」の割合に大きな変化はみられません。



※令和4年度調査では、「自宅で家族などによる介護を受けながら生活したい」の選択肢はありませんでした。

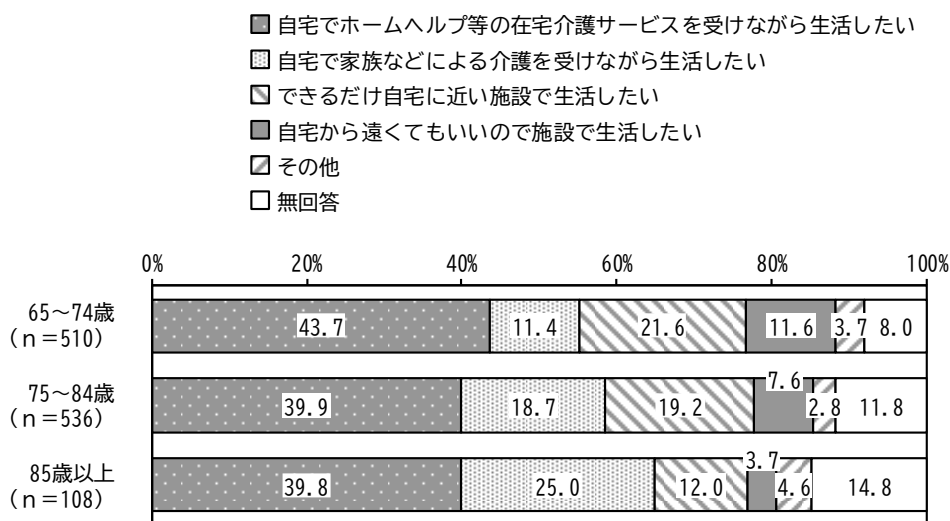
【性別】

性別にみると、女性で「自宅でホームヘルプ等の在宅介護サービスを受けながら生活したい」の割合が高く、男性で「自宅で家族などによる介護を受けながら生活したい」の割合が高くなっています。



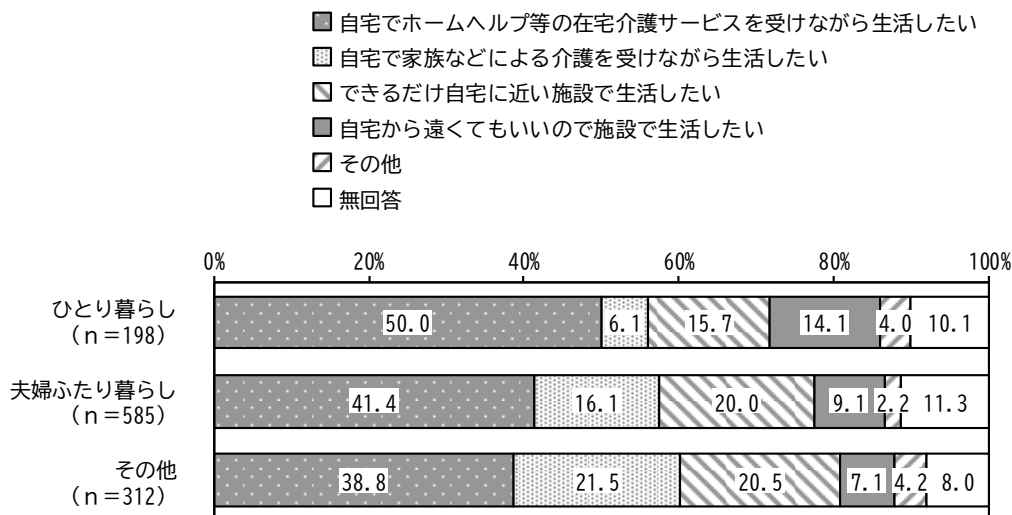
【年代別】

年代別にみると、年代が下がるほど「できるだけ自宅に近い施設で生活したい」「自宅から遠くてもいいので施設で生活したい」の割合が高く、「自宅で家族などによる介護を受けながら生活したい」の割合が低くなっています。



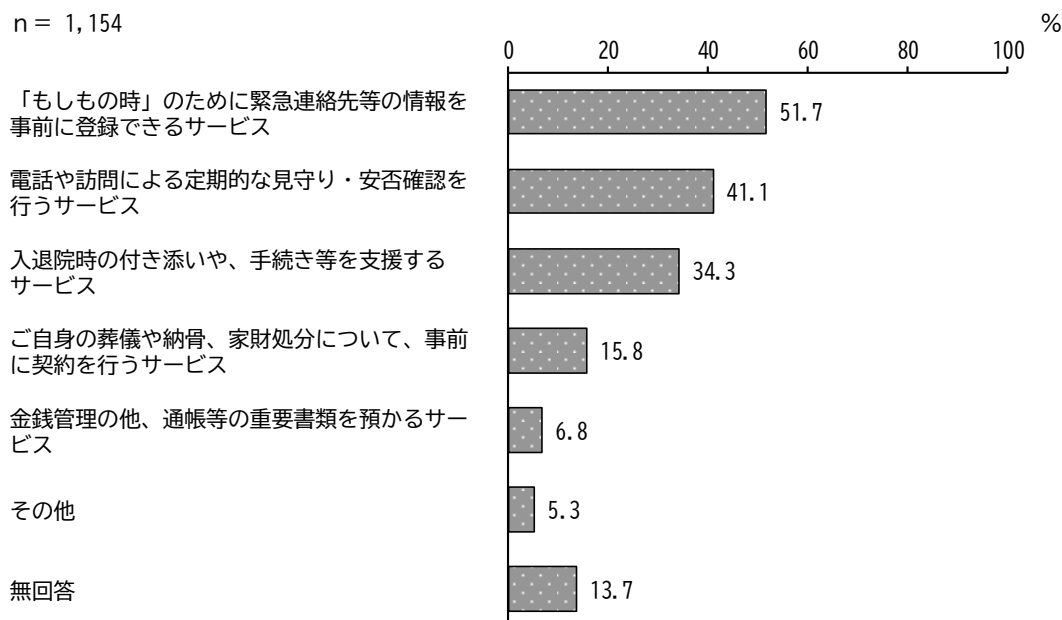
【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり暮らしで「自宅でホームヘルプ等の在宅介護サービスを受けながら生活したい」「自宅から遠くてもいいので施設で生活したい」の割合が高くなっています。



問 28 安心して歳を重ねることができるために、あなたが今後必要と思うサービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「もしもの時」のために緊急連絡先等の情報を事前に登録できるサービス」の割合が 51.7%と最も高く、次いで「電話や訪問による定期的な見守り・安否確認を行うサービス」の割合が 41.1%、「入退院時の付き添いや、手続き等を支援するサービス」の割合が 34.3%となっています。



【年代別】

年代別にみると、年代が下がるほど「電話や訪問による定期的な見守り・安否確認を行うサービス」「入退院時の付き添いや、手続き等を支援するサービス」「ご自身の葬儀や納骨、家財処分について、事前に契約を行うサービス」の割合が高くなっています。

単位：%

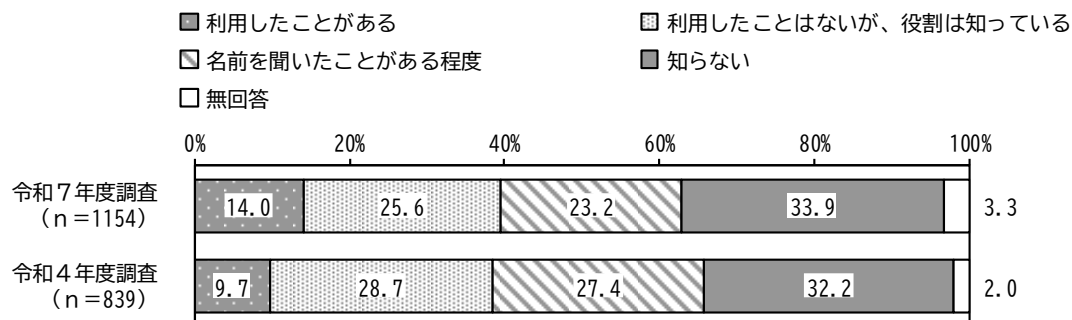
区分	回答者数(件)	「もしもの時」のために緊急連絡先等の情報を事前に登録できるサービス	電話や訪問による定期的な見守り・安否確認を行うサービス	入退院時の付き添いや、手続き等を支援するサービス	ご自身の葬儀や納骨、家財処分について、事前に契約を行うサービス	金銭管理の他、通帳等の重要書類を預かるサービス	その他	無回答
全 体	1,154	51.7	41.1	34.3	15.8	6.8	5.3	13.7
65～74歳	510	55.1	44.3	38.0	18.4	7.8	5.7	8.2
75～84歳	536	48.5	40.7	32.3	14.6	6.5	4.7	17.7
85歳以上	108	51.9	27.8	26.9	9.3	2.8	6.5	19.4

7. 保健・福祉サービスや介護に対するお考えについて

問 29 あなたは高齢者の相談窓口である地域包括支援センターを知っていますか。
(あてはまるもの1つに○)

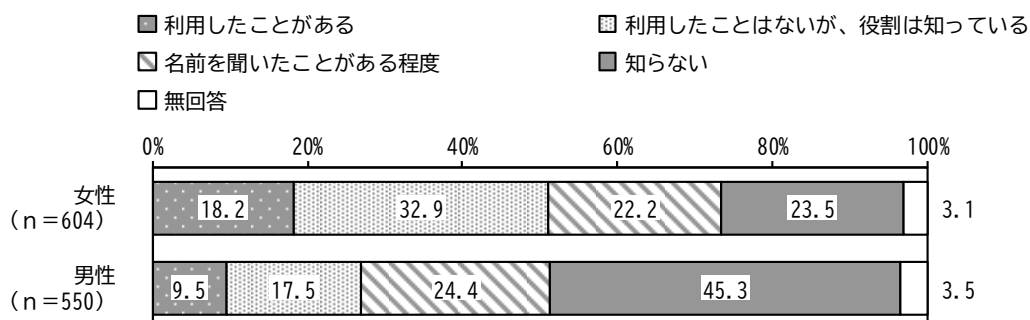
「知らない」の割合が33.9%と最も高く、次いで「利用したことはないが、役割は知っている」の割合が25.6%、「名前を聞いたことがある程度」の割合が23.2%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



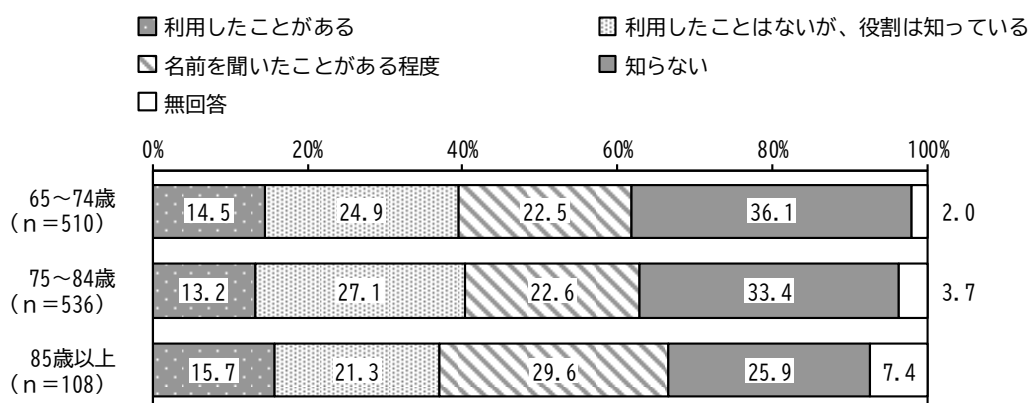
【性別】

性別にみると、女性で「利用したことがある」「利用したことはないが、役割は知っている」の割合が高く、男性で「知らない」の割合が高くなっています。



【年代別】

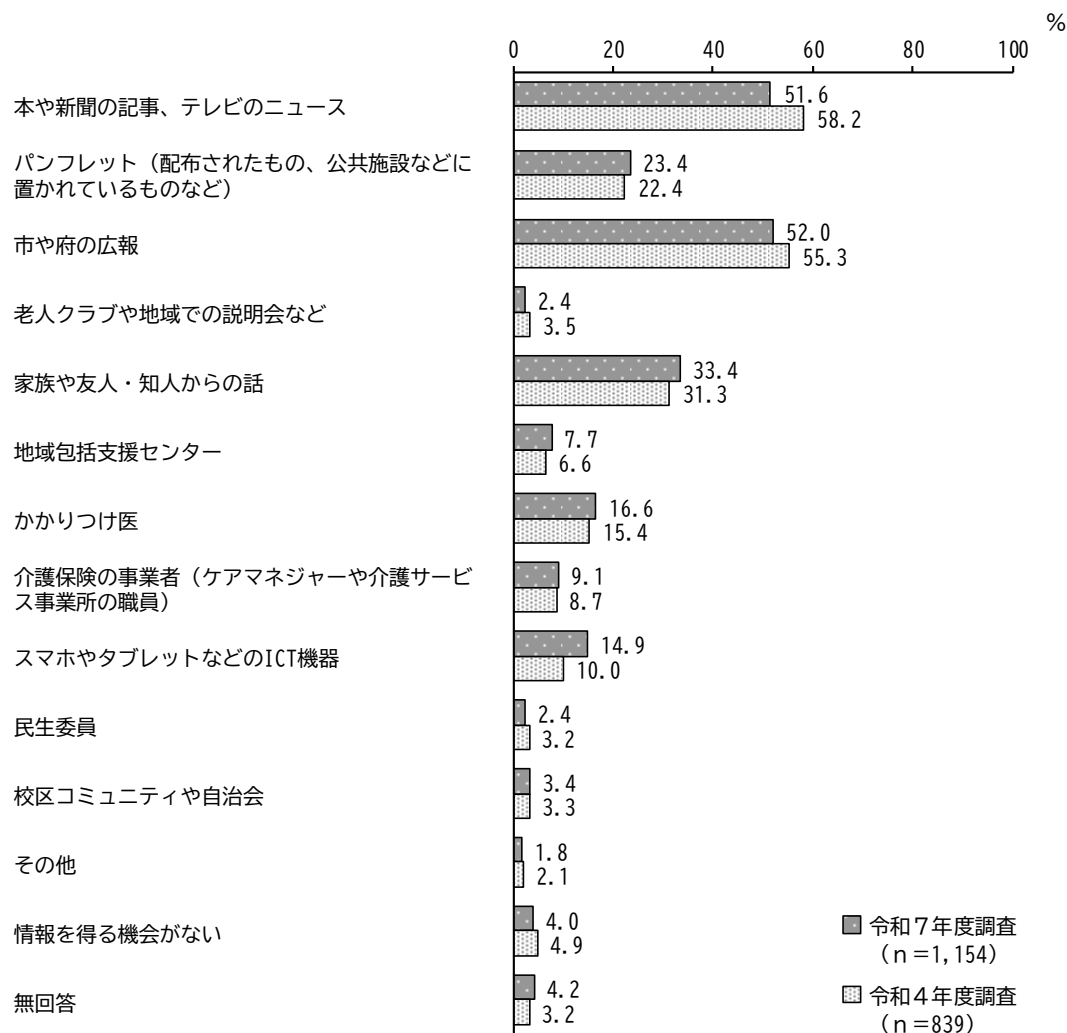
年代別にみると、年代が上がるほど「名前を聞いたことがある程度」の割合が高く、「知らない」の割合が低くなっています。



問 30 あなたは、介護や保健、医療等に関する情報を、どのような手段で得ていますか。
(あてはまるものすべてに○)

「市や府の広報」の割合が 52.0%と最も高く、次いで「本や新聞の記事、テレビのニュース」の割合が 51.6%、「家族や友人・知人からの話」の割合が 33.4%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「本や新聞の記事、テレビのニュース」の割合が減少しています。



【性別】

性別にみると、女性で「市や府の広報」「家族や友人・知人からの話」の割合が高く、男性で「スマホやタブレットなどの ICT 機器」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	本や新聞の記事、テレビのニュース	パンフレット（配布されたもの、公共施設などに置かれているものなど）	市や府の広報	老人クラブや地域での説明会など	家族や友人・知人からの話	地域包括支援センター	かかりつけ医
全 体	1,154	51.6	23.4	52.0	2.4	33.4	7.7	16.6
女性	604	52.0	23.3	56.5	2.5	39.1	9.4	14.4
男性	550	51.3	23.5	47.1	2.4	27.3	5.8	18.9

区分	介護保険の事業者（ケアマネジャーや介護サービス事業所の職員）	スマホやタブレットなどの ICT 機器	民生委員	校区コミュニティや自治会	その他	情報を得る機会がない	無回答
全 体	9.1	14.9	2.4	3.4	1.8	4.0	4.2
女性	11.4	11.9	3.0	3.1	2.5	3.1	4.0
男性	6.5	18.2	1.8	3.6	1.1	4.9	4.4

【年代別】

年代別にみると、年代が下がるほど「介護保険の事業者（ケアマネジャーや介護サービス事業所の職員）」「スマホやタブレットなどの ICT 機器」の割合が高く、「かかりつけ医」の割合が低くなっています。

単位：％

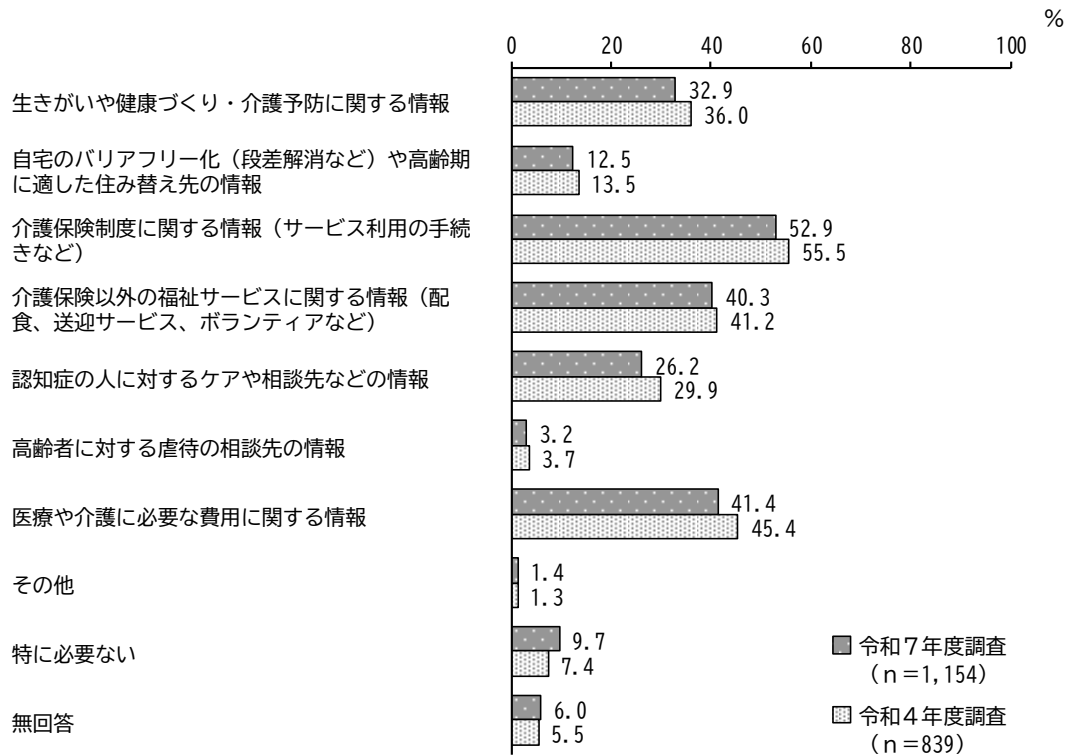
区分	回答者数 (件)	本や新聞の記事、テレビ のニュース	パンフレット（配布され たもの、公共施設などに 置かれているものなど）	市や府の広報	老人クラブや地域での 説明会など	家族や友人・知人からの 話	地域包括支援センター	かかりつけ医
全 体	1,154	51.6	23.4	52.0	2.4	33.4	7.7	16.6
65～74歳	510	52.2	22.7	51.6	1.0	30.8	7.5	14.7
75～84歳	536	51.7	24.3	54.1	3.7	36.2	7.5	17.4
85歳以上	108	49.1	22.2	43.5	2.8	32.4	10.2	21.3

区分	介護保険の事業者（ケア マネジャーや介護サ ービス事業所の職員）	スマホやタブレットな どの ICT 機器	民生委員	校区コミュニティや自 治会	その他	情報を得る機会がない	無回答
全 体	9.1	14.9	2.4	3.4	1.8	4.0	4.2
65～74歳	10.6	22.7	1.6	2.4	2.4	4.3	2.0
75～84歳	8.4	9.3	3.0	4.5	1.3	3.5	5.2
85歳以上	5.6	5.6	3.7	2.8	1.9	4.6	9.3

問 31 あなたは、介護や保健、医療等に関する事で、どのような情報がほしいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「介護保険制度に関する情報（サービス利用の手続きなど）」の割合が 52.9%と最も高く、次いで「医療や介護に必要な費用に関する情報」の割合が 41.4%、「介護保険以外の福祉サービスに関する情報（配食、送迎サービス、ボランティアなど）」の割合が 40.3%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

性別にみると、女性で「介護保険以外の福祉サービスに関する情報（配食、送迎サービス、ボランティアなど）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	生きがいや健康づくり・介護予防に関する情報	自宅のバリアフリー化（段差解消など）や高齢者に適した住み替え先の情報	介護保険制度に関する情報（サービス利用の手続きなど）	介護保険以外の福祉サービスに関する情報（配食、送迎サービス、ボランティアなど）	認知症の人に対するケアや相談先などの情報
全 体	1,154	32.9	12.5	52.9	40.3	26.2
女性	604	34.3	13.9	51.2	44.4	25.3
男性	550	31.5	10.9	54.7	35.8	27.1

区分	高齢者に対する虐待の相談先の情報	医療や介護に必要な費用に関する情報	その他	特に必要ない	無回答
全 体	3.2	41.4	1.4	9.7	6.0
女性	3.5	41.9	1.7	7.8	6.6
男性	2.9	40.9	1.1	11.8	5.3

【年代別】

年代別にみると、年代が下がるほど「生きがいや健康づくり・介護予防に関する情報」「介護保険制度に関する情報（サービス利用の手続きなど）」「介護保険以外の福祉サービスに関する情報（配食、送迎サービス、ボランティアなど）」「認知症の人に対するケアや相談先などの情報」の割合が高くなっています。

単位：％

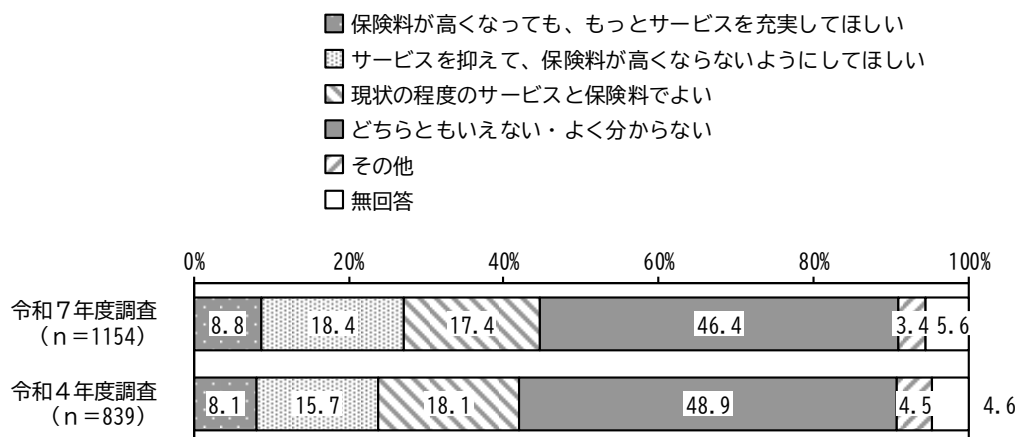
区分	回答者数 (件)	生きがいや健康づくり・ 介護予防に関する 情報	自宅のバリアフリー化 (段差解消など)や高 齢期に適した住み替え 先の情報	介護保険制度に関する 情報(サービス利用の 手続きなど)	介護保険以外の福祉サ ービスに関する情報 (配食、送迎サービス、 ボランティアなど)	認知症の人に対するケ アや相談先などの情報
全 体	1,154	32.9	12.5	52.9	40.3	26.2
65～74歳	510	34.5	13.1	56.1	43.7	28.0
75～84歳	536	33.4	13.1	50.4	38.4	26.1
85歳以上	108	23.1	6.5	50.0	33.3	17.6

区分	高齢者に対する虐待の 相談先の情報	医療や介護に必要な費 用に関する情報	その他	特に必要ない	無回答
全 体	3.2	41.4	1.4	9.7	6.0
65～74歳	3.7	41.8	1.4	9.6	3.3
75～84歳	2.8	41.8	1.5	9.7	6.9
85歳以上	2.8	38.0	0.9	10.2	13.9

問 32 介護保険は、入所施設を増やしたり、サービスの利用が多くなるなど、サービスが充実すると、介護保険料も高くなります。あなたは、今後の介護サービスと介護保険料についてどのように考えますか。(あてはまるもの1つに○)

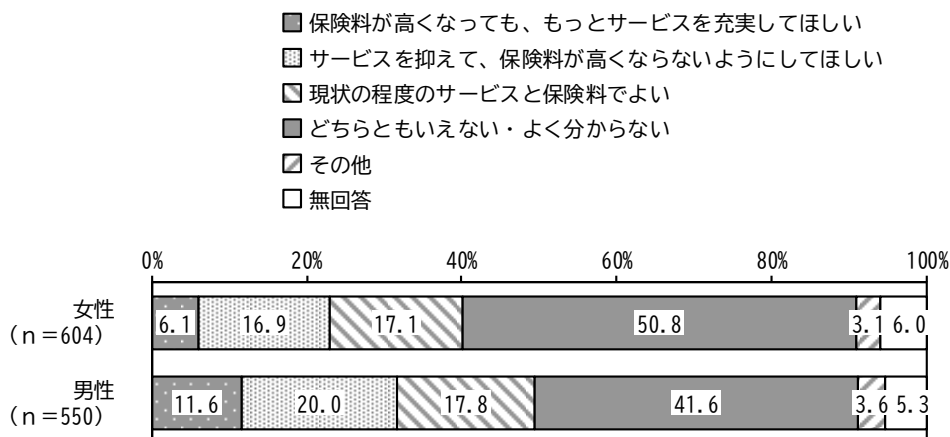
「どちらともいえない・よく分からない」の割合が46.4%と最も高く、次いで「サービスを抑えて、保険料が高くならないようにしてほしい」の割合が18.4%、「現状の程度のサービスと保険料でよい」の割合が17.4%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



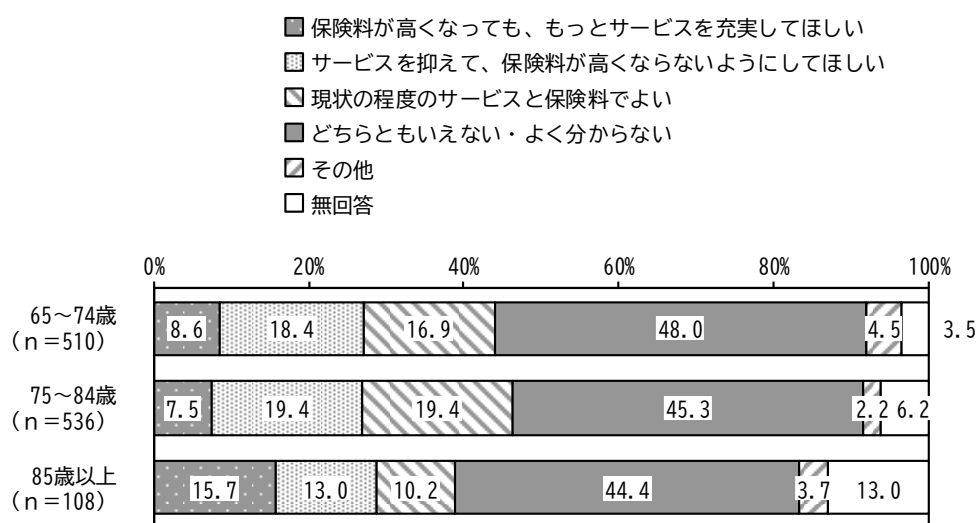
【性別】

性別にみると、女性で「どちらともいえない・よく分からない」の割合が高く、男性で「保険料が高くなっても、もっとサービスを充実してほしい」の割合が高くなっています。



【年代別】

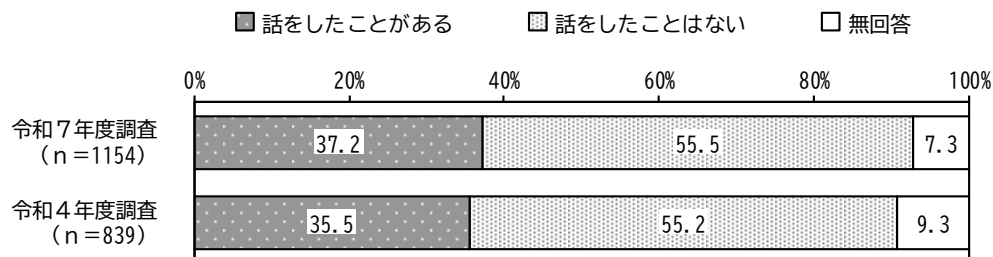
年代別にみると、85 歳以上で「保険料が高くなっても、もっとサービスを充実してほしい」の割合が高く、「サービスを抑えて、保険料が高くないようにしてほしい」「現状の程度のサービスと保険料でよい」の割合が低くなっています。



8. 看取り（みとり）について

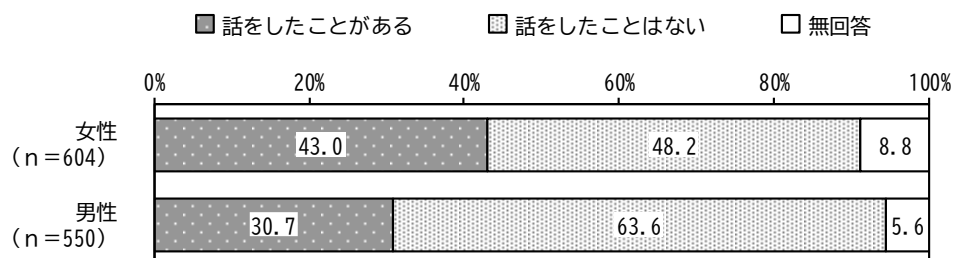
問 33 あなたは最期（さいご）の過ごし方について、家族や身近な友人、医療や介護のスタッフ等と話をしたことがありますか。（あてはまるもの1つに○）

「話をしたことがある」の割合が 37.2%、「話をしたことはない」の割合が 55.5%となっています。
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



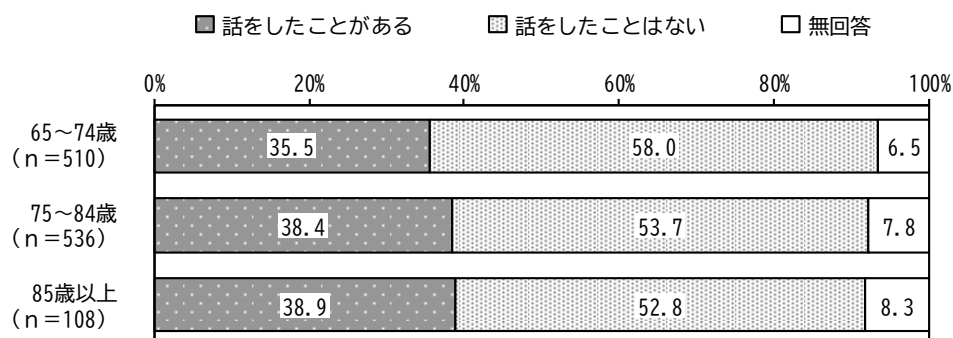
【性別】

性別にみると、男性で「話をしたことはない」の割合が高くなっています。



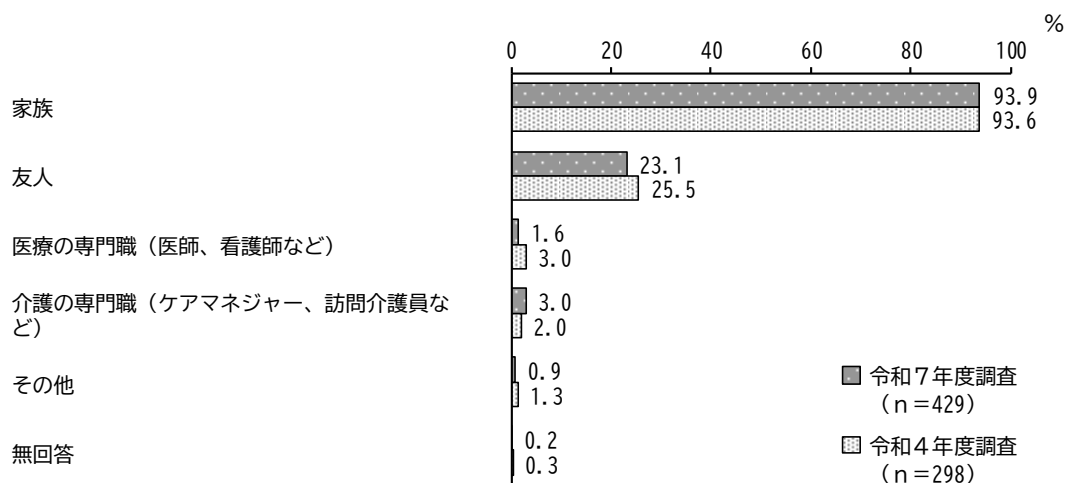
【年代別】

年代別にみると、年代が下がるほど「話をしたことはない」の割合が高くなっています。



話をしたことがある場合、誰と話をしましたか。(あてはまるものすべてに○)

「家族」の割合が93.9%と最も高く、次いで「友人」の割合が23.1%となっています。
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

性別にみると、女性で「友人」の割合が高く、男性で「家族」の割合が高くなっています。

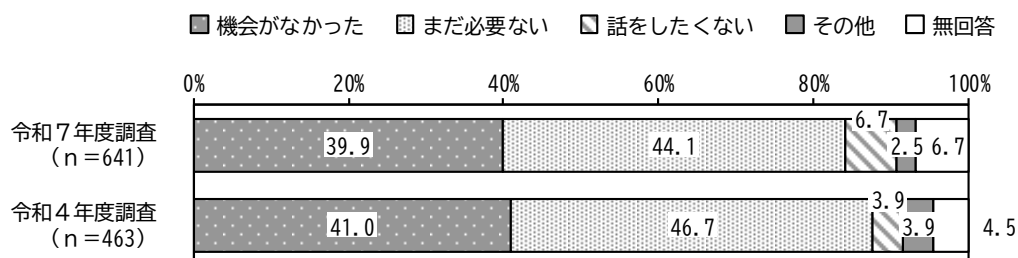
単位：%

区分	回答者数 (件)	家族	友人	医療の専門職 (医師、看護師など)	介護の専門職 (ケアマネジャー、訪問介護員など)	その他	無回答
全 体	429	93.9	23.1	1.6	3.0	0.9	0.2
女性	260	91.5	30.8	1.9	2.7	0.4	0.4
男性	169	97.6	11.2	1.2	3.6	1.8	0.0

話をしたことはない場合、どのような理由ですか。(あてはまるもの1つに○)

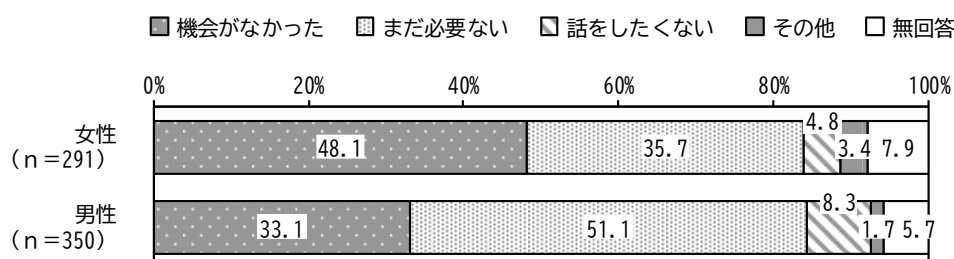
「機会がなかった」の割合が39.9%、「まだ必要ない」の割合が44.1%、「話をしたくない」の割合が6.7%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



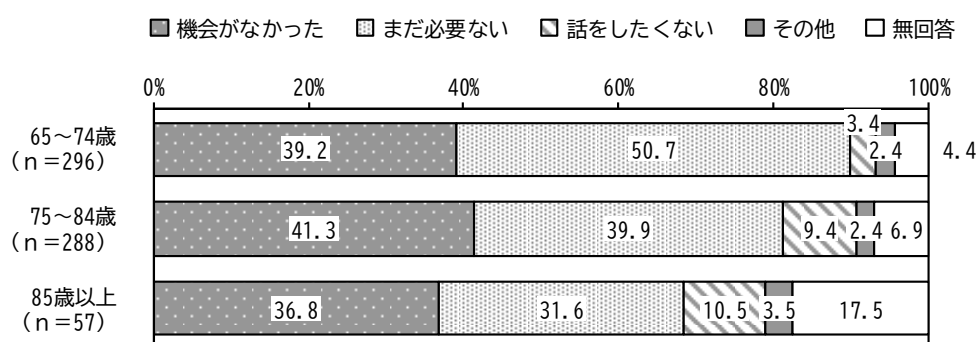
【性別】

性別にみると、女性で「機会がなかった」の割合が高く、男性で「まだ必要ない」の割合が高くなっています。



【年代別】

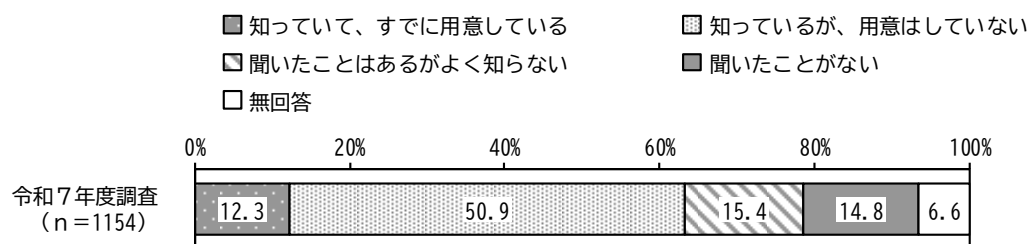
年代別にみると、年代が上がるほど「話をしたくない」の割合が高く、「まだ必要ない」の割合が低くなっています。



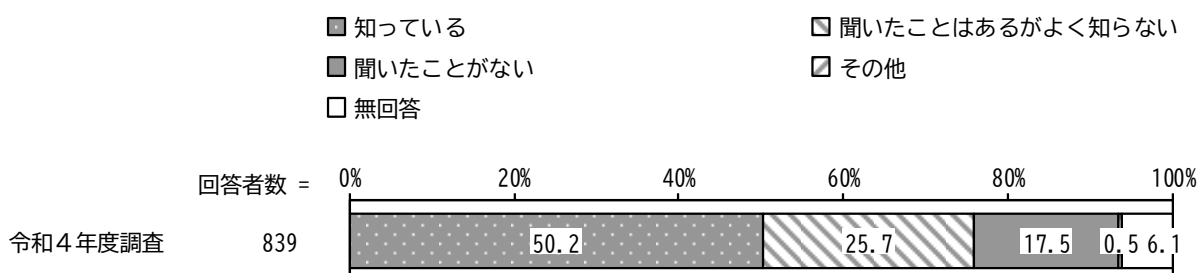
問 34 エンディングノートを知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

「知っているが、用意はしていない」の割合が 50.9%と最も高く、次いで「聞いたことはあるがよく知らない」の割合が 15.4%、「聞いたことがない」の割合が 14.8%となっています。

参考として、令和4年度調査と比較すると、「知っている」の割合が増加しています。一方、「聞いたことはあるがよく知らない」の割合が減少しています。

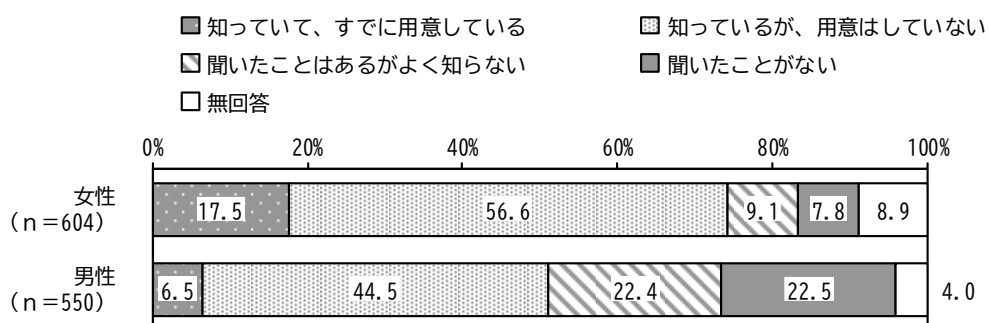


【参考】



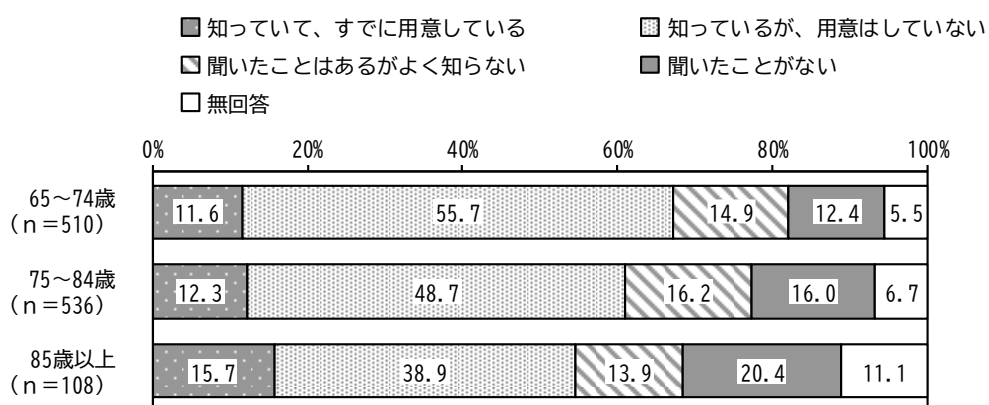
【性別】

性別にみると、女性で「知っていて、すでに用意している」「知っているが、用意はしていない」の割合が高く、男性で「聞いたことはあるがよく知らない」「聞いたことがない」の割合が高くなっています。



【年代別】

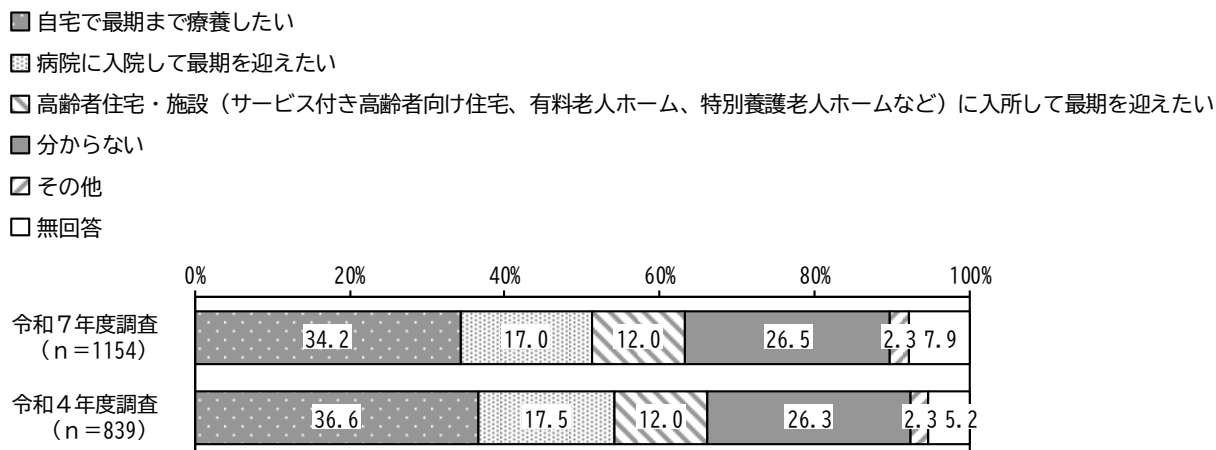
年代別にみると、年代が上がるほど「知っていて、すでに用意している」の割合が高くなっています。一方で、85歳以上で「聞いたことがない」が20.4%となっています。



問 35 あなたは最期（さいご）まで自分らしく過ごすために、人生の最期をどこで迎えたい
と思いますか。（あてはまるもの1つに○）

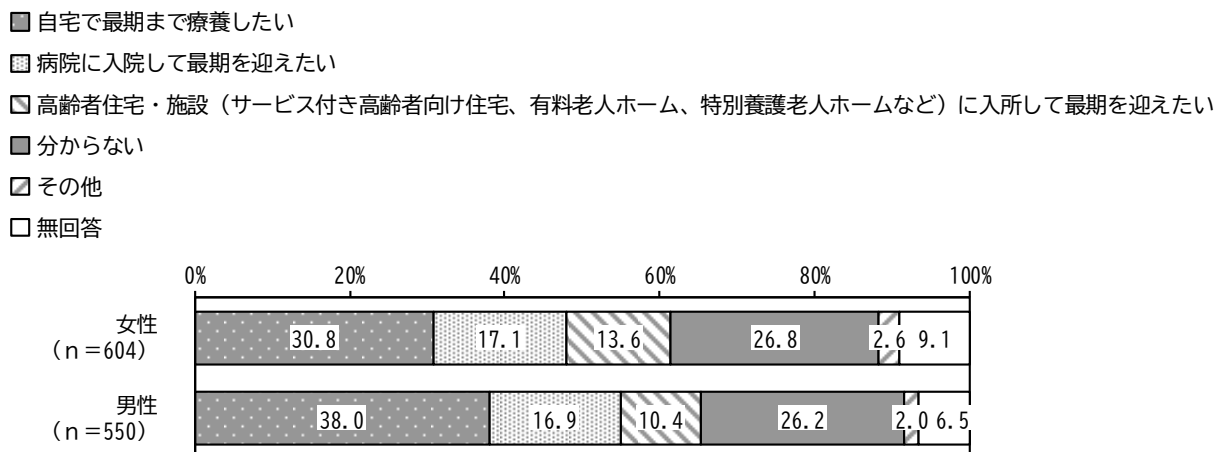
「自宅で最期まで療養したい」の割合が34.2%、「病院に入院して最期を迎えたい」の割合が17.0%、「高齢者住宅・施設（サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム、特別養護老人ホームなど）に入所して最期を迎えたい」の割合が12.0%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

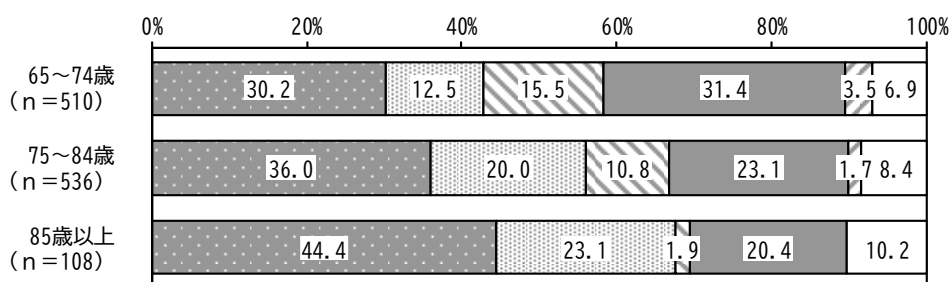
性別にみると、男性で「自宅で最期まで療養したい」の割合が高くなっています。



【年代別】

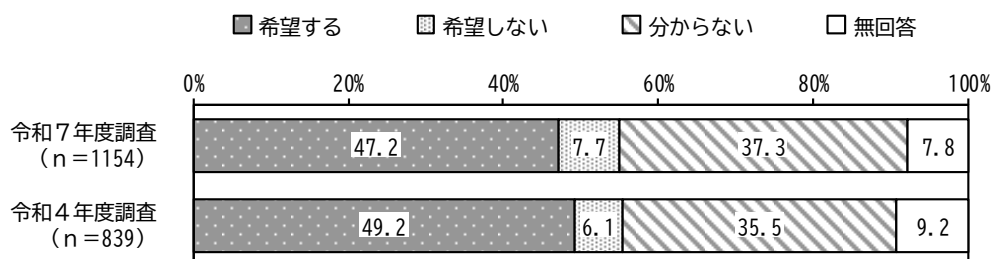
年代別にみると、年代が上がるほど「自宅で最期まで療養したい」「病院に入院して最期を迎えたい」の割合が高く、「高齢者住宅・施設（サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム、特別養護老人ホームなど）に入所して最期を迎えたい」の割合が低くなっています。

- 自宅で最期まで療養したい
- 病院に入院して最期を迎えたい
- 高齢者住宅・施設（サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム、特別養護老人ホームなど）に入所して最期を迎えたい
- 分からない
- その他
- 無回答



問 36 最期（さいご）を迎えることができる環境（訪問診療、訪問看護、緊急時の対応など）が整っていれば、病院以外の生活の場で最期を迎えたいと希望しますか。（あてはまるもの1つに○）

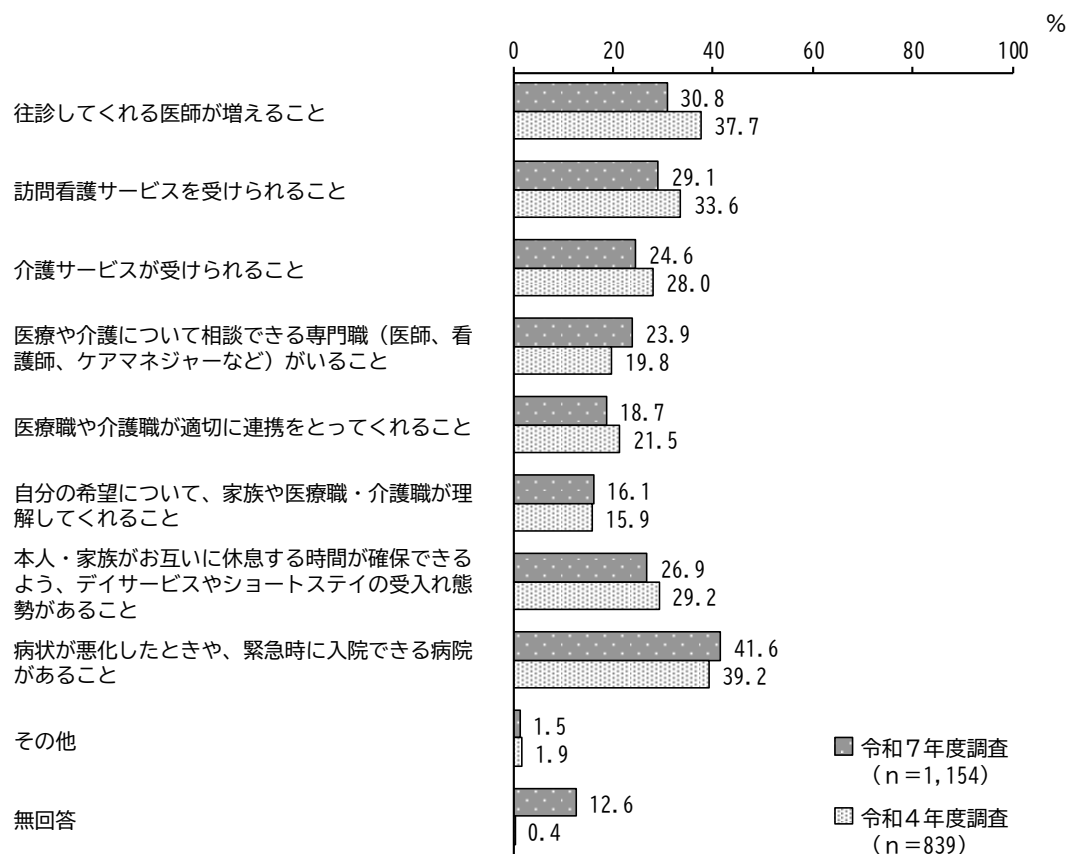
「希望する」の割合が47.2%、「希望しない」の割合が7.7%となっています。
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 37 今後、病院以外での最期（さいご）を迎えるためには、ということが整っていれば可能になると思いますか。（複数回答 3つ以内）

「病状が悪化したときや、緊急時に入院できる病院があること」の割合が 41.6%と最も高く、次いで「往診してくれる医師が増えること」の割合が 30.8%、「訪問看護サービスを受けられること」の割合が 29.1%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「往診してくれる医師が増えること」の割合が減少しています。



【性別】

性別にみると、女性で「本人・家族がお互いに休息する時間が確保できるよう、デイサービスやショートステイの受入れ態勢があること」「病状が悪化したときや、緊急時に入院できる病院があること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	往診してくれる医師が増えること	訪問看護サービスを受けられること	介護サービスが受けられること	医療や介護について相談できる専門職（医師、看護師、ケアマネジャーなど）がいること	医療職や介護職が適切に連携をとってくれること
全 体	1,154	30.8	29.1	24.6	23.9	18.7
女性	604	32.6	29.3	23.8	24.2	18.0
男性	550	28.7	28.9	25.5	23.6	19.5

区分	自分の希望について、家族や医療職・介護職が理解してくれること	本人・家族がお互いに休息する時間が確保できるよう、デイサービスやショートステイの受入れ態勢があること	病状が悪化したときや、緊急時に入院できる病院があること	その他	無回答
全 体	16.1	26.9	41.6	1.5	12.6
女性	15.6	30.6	45.5	1.3	13.7
男性	16.7	22.7	37.3	1.6	11.3

【年代別】

年代別にみると、年代が上がるほど「往診してくれる医師が増えること」「病状が悪化したときや、緊急時に入院できる病院があること」の割合が高く、「医療職や介護職が適切に連携をとってくれること」「本人・家族がお互いに休息する時間が確保できるよう、デイサービスやショートステイの受入れ態勢があること」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	往診してくれる医師が増えること	訪問看護サービスを受けられること	介護サービスが受けられること	医療や介護について相談できる専門職（医師、看護師、ケアマネジャーなど）がいること	医療職や介護職が適切に連携をとってくれること
全 体	1,154	30.8	29.1	24.6	23.9	18.7
65～74歳	510	29.2	30.2	26.5	23.3	22.2
75～84歳	536	30.0	28.2	22.6	24.4	16.6
85歳以上	108	41.7	28.7	25.9	24.1	13.0

区分	自分の希望について、家族や医療職・介護職が理解してくれること	本人・家族がお互いに休息する時間が確保できるよう、デイサービスやショートステイの受入れ態勢があること	病状が悪化したときや、緊急時に入院できる病院があること	その他	無回答
全 体	16.1	26.9	41.6	1.5	12.6
65～74歳	16.5	28.8	35.7	1.2	13.3
75～84歳	16.6	27.1	44.4	1.9	11.8
85歳以上	12.0	16.7	55.6	0.9	13.0